

第一次笛吹市総合計画



ふえふき協奏曲 第1番

実施計画書
(平成24年度～平成26年度)



笛吹市

目 次

I	実施計画の概要	1
1	実施計画の目的	1
2	実施計画の性格及び期間	1
3	総合計画上の位置付け	1
4	実施計画の対象事業	2
5	実施計画の対象事業の事業費	3
第1節 実り多い産業と、人々の集うまちづくり		4
§ 1 適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり		
	地籍管理事業	5
	地籍調査事業	6
§ 2 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり		
	道整備交付金事業	7
	社会資本整備総合交付金事業	8
	市営バス運行事業	9
	リニア対策事業	10
	砂原橋架替事業	11
	(仮称)笛吹スマートI・C 設置促進事業	12
§ 3 機能的で魅力ある市街地づくり		
	石和温泉駅周辺整備事業	13
	笛吹川都市計画事業石和駅前土地区画整理事業	14
§ 4 人々の交流を盛んにするしくみづくり		
	友好都市親善交流事業	15
	石和地域間交流事業	16
	地域環境資源活用推進事業	17
	多機能アリーナ建設事業	18
	特産農産物開発・販売促進事業(過疎対策)	19
	交流施設整備事業(過疎対策)	20
	上芦川地域原風景復活保存事業(過疎対策)	21
	すずらん群生地保護調査事業(過疎対策)	22
	地域間交流促進事業(過疎対策)	23
§ 5 もてなしの心があふれる観光地づくり		
	観光イベント事業	24
	ハイキングコース整備事業	25
	観光宣伝事業	26
	市長トップセールス事業	27

§ 6	魅力的で安定性のある農林業づくり	
	県営畑地帯総合整備事業	28
	県営基幹農道整備事業	29
	県営中山間地域総合整備事業	30
	農地・水・環境保全向上対策事業	31
	農業施設整備事業	32
	農地資源保全事業	33
	鳥獣害防止対策強化事業	34
	バイオマスの郷づくり事業	35
	地産地消推進事業	36
	農地流動化地域総合推進事業	37
	林道事業	38
	農道保全対策事業	39
	芦川農産物直売所管理事業	40
	特産品開発事業（芦川ブランド化推進事業）	41
	新規就農者支援事業	42
§ 7	桃・ぶどう日本一を誇れる郷づくり	
	農産物等消費拡大宣伝事業	43
	地域ブランド化推進事業	44
§ 8	活力ある地域経済づくり	
	企業立地推進助成金事業	45
	商工業活性化事業	46
	小規模企業者小口資金融資促進事業	47
	中小企業者緊急経済対策資金利子補給事業	48
§ 9	安定した就業環境づくり	
	シルバー人材センター負担金事業	49
	労働総務事務	50
第2節	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	51
§ 1	安全・安心のための備えづくり	
	防災体制整備事業	52
	本庁舎耐震改修事業	53
	火災予防啓発事務	54
	備蓄品整備事業	55
	耐震性貯水槽施設整備事業	56
	消防団施設管理事業	57
	青色防犯パトロールカー事業	58
	通信施設管理事務	59
	非常備消防支援事務	60

交通安全対策事業	61
救急隊研修事務	62
救急通信事業	63
消防職員研修事業	64
浸水対策事業	65

§ 2 便利で暮らしやすい生活環境づくり

上水道総務事務	66
水道使用料徴収事業	67
使用料徴収事業(集落・簡易)	68
上水道第一次拡張事業	69
簡易水道事業総務事務	70
上水道配水管布設事業	71
道路・水路維持管理事業	72
道路新設改良事業	73
道路境界線境界調査事業	74

§ 3 快適で美しい都市づくり

下水道受益者負担金徴収事業	75
公共下水道整備事業	76
下水道維持管理事業	77
合併処理浄化槽設置促進事業	78
下水道加入促進事業	79
環境美化事業	80

§ 4 限りある資源を大切にす循環型社会づくり

ごみ減量化推進事業	81
資源物回収事業	82
ミックスペーパー・その他プラ回収事業	83
ごみ収集事業	84
ごみ処理事業	85
バイオディーゼル事業	86
バイオマスセンター建設事業	87

§ 5 憩いと癒しの空間づくり

緑化推進事業	88
花のまちづくり推進事業	89
景観計画策定事業	90
八代ふるさと公園整備事業	91
花・木植栽事業(過疎対策)	92

§ 6 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり

食育推進事業	93
特定健康診査等事業	94

がん検診事業	95
温泉活用健康づくり事業	96
シルバートレーニング指導員養成事業	97
歯周疾患検診事業	98

§ 7 安心して生み育てられる環境づくり

保育所運営事業	99
石和第五保育所建設事業	100
地域子育て支援センター事業	101
地域ぐるみ子育て支援事業	102
ファミリーサポートセンター事業	103
放課後児童健全育成事業	104
妊婦一般健康診査	105
不妊治療費支援事業	106
マタニティスクール事業	107
子どもの予防接種事業	108
子どもすこやか医療費助成事業	109

§ 8 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり

二次予防事業対象者把握事業	110
通所型介護予防事業	111
地域介護予防活動支援事業	112
長寿敬老事業	113
認知高齢者対策事業	114
生きがいデイサービス事業	115
介護相談員派遣事業	116
介護給付費適正化事業	117

§ 9 障害者の自立を支援する環境づくり

障害者地域生活支援事業	118
発達障害支援体制サポート事業	119
障害者介護給付・訓練等給付事業	120
障害者基本計画・障害福祉計画進行管理事業	121

§ 10 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり

国民健康保険賦課徴収事業	122
生活保護費支給事業	123
生活援護者就労促進事業	124

第3節 個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり 125

§ 1 子どもたちの個性を尊重する学校づくり

学校教育ビジョン具現化事業	126
小中学校市費負担教職員配置事業	127

教育相談事業	128
教育委員運営事業	129
学校教育学生ボランティア活用事業	130
学校調理業務委託事業	131
学校給食調理施設整備事業	132
石和中学校校舎等改築事業	133
小学校施設整備事業	134
中学校施設整備事業	135
小中学校教室空調設備設置事業	136
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	137
芦川小学校屋内運動場等改築改修事業	138

§ 2 子どもの健やかな成長を支える環境づくり

放課後子ども教室事業	139
青少年育成事業	140

§ 3 いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり

市民講座事業	141
俳句会事業	142
社会教育施設整備事業	143
図書館事業	144
いちのみや桃の里ふれあい文化館管理運営事業	145
スコレーセンター・パリオ管理運営事業	146
文化振興事業	147
公民館事業	148
国民文化祭事業	149

§ 4 身近にスポーツを楽しむ環境づくり

社会体育団体支援事業	150
身近なスポーツ推進事業	151
体育施設整備事業	152

§ 5 地域の文化を育み伝える環境づくり

文化財保護事業	153
文化財活用事業	154
史跡甲斐国分寺跡整備事業	155
博物館特別展開催事業	156

第4節 将来像実現に向けた取り組み

§ 1 市民の主体的な活動を支えるしくみづくり

男女共同参画推進事業	158
まちづくり推進事業	159

§ 2	市民と行政のパートナーシップづくり	
	市民ミーティング事業	160
	市民活動支援事業	161
§ 3	親しみやすく機能的な市役所づくり	
	広報発行事務	162
	ホームページ管理事務	163
	行政放送事業	164
	情報セキュリティ対策事業	165
	電子市役所構築事業	166
	住基カード普及促進事業	167
	公有財産管理事業	168
	南館改修事業	169
§ 4	健全で安定した行財政基盤づくり	
	議会運営事業	170
	公平委員会事務	171
	監査委員事務	172
	行政改革推進事業	173
	住民税管理事務	174
	資産税管理事務	175
	市税等徴収事業	176
	指定選挙事業	177
	契約事務	178
	財務管理事業	179

施策の体系

4. 実施計画の対象事業

実施計画の対象事業は、平成 24 年度～平成 26 年度の 3 年間に於いて、基本計画に基づき、実施が見込まれる主要事業及び達成目標を実現するための事業を対象とします。

なお、人件費、公債費など経常的経費については、除いています。

また、平成 25, 26 年度における予算額については、確定したものではありません。

前期基本計画における実施期間は、平成 20 年度から平成 24 年度の 5 年間と定めてありますが、平成 25 年度以降の後期基本計画策定については、前期基本計画の検証を行い、平成 24 年度中に策定を行います。

本実施計画書においては、事業の継続性の観点から平成 25 年度・平成 26 年度実施予定事業を含めていますが、平成 24 年度に行う前期基本計画の見直し及び策定する後期基本計画に掲げる施策体系により、見直されることもあります。

5. 実施計画の対象事業の事業費

(単位：千円)

まちづくりの方向及び施策		計画期間中の事業費
第1節	実り多い産業と、人々が集うまちづくり	14,570,857
	§ 1 適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり	94,393
	§ 2 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	3,226,847
	§ 3 機能的で魅力ある市街地づくり	3,596,646
	§ 4 人々の交流を盛んにするしくみづくり	4,611,309
	§ 5 もてなしの心があふれる観光地づくり	436,224
	§ 6 魅力的で安定性のある農林業づくり	2,410,092
	§ 7 桃・ぶどう日本一を誇れる郷づくり	19,448
	§ 8 活力ある地域経済づくり	137,467
	§ 9 安定した就業環境づくり	38,431
第2節	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	28,966,406
	§ 1 安全・安心のための備えづくり	1,732,180
	§ 2 便利で暮らしやすい生活環境づくり	7,364,882
	§ 3 快適で美しい都市づくり	1,689,993
	§ 4 限りある資源を大切に作る循環型社会づくり	2,658,945
	§ 5 憩いと癒しの空間づくり	382,797
	§ 6 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	511,861
	§ 7 安心して生み育てられる環境づくり	7,860,528
	§ 8 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	333,615
	§ 9 障害者の自立を支援する環境づくり	2,728,819
	§ 10 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	3,702,786
第3節	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	3,639,229
	§ 1 子どもたちの個性を尊重する学校づくり	2,570,149
	§ 2 子どもの健やかな成長を支える環境づくり	93,807
	§ 3 いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	663,727
	§ 4 身近にスポーツを楽しめる環境づくり	56,118
	§ 5 地域の文化を育み伝える環境づくり	255,428
第4節	将来像実現に向けた取り組み	885,839
	§ 1 市民の主体的な活動を支えるしくみづくり	48,849
	§ 2 市民と行政のパートナーシップづくり	1,338
	§ 3 親しみやすく機能的な市役所づくり	509,459
	§ 4 健全で安定した行財政基盤づくり	326,193
合 計		48,062,331

第1節

実り多い産業と、 人々の集うまちづくり

調和のとれた土地利用や機能的な都市基盤の整備、果樹や温泉をはじめとした産業の振興など各施策が有機的に結びつき、活力あるまちをつくります。

のばす Develop

にぎわい つなぐ
Network

やすらぎある快適な生活環境の向上や健康・福祉などの各施策につなげ、相乗効果を高めます。

支える
Assist

きらめきある人材育成、文化の伝承・創造のための活動を支えます。

総合計画実施計画

事業名	道整備交付金事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	幹線道路網の整備

当該事業の概要	市内への交通のアクセス性を向上するため、幹線道路網の整備を行う交付金事業で2路線を整備します。 市道1-12号線(石和8号線)の用地取得、改良工事等を進め、歩道のある安全な道路整備を行います。 L=395m、W=5.5m(10.0m)
	市道1-26号線(御坂950号線)の拡幅工事と歩道のある道路整備を行います。 L=500m、W=5.5m(9.75m)

目標・手段・スケジュール	(目標) ・地元説明会を開催し、地権者や関係機関との協議調整を行い、平成25年度完成を目指します。 ・笛吹市へのアクセス向上、幹線道路網の整備をする。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th></th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市道1-12号線(石和8号線)</td> <td>用地補償・工事</td> <td>工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市道1-26号線(御坂950号線)</td> <td>用地補償・工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度		備考	市道1-12号線(石和8号線)	用地補償・工事	工事							市道1-26号線(御坂950号線)	用地補償・工事						
手段	平成24年度	平成25年度		備考																			
市道1-12号線(石和8号線)	用地補償・工事	工事																					
市道1-26号線(御坂950号線)	用地補償・工事																						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	45,000 千円	
市		債	52,000 千円	30,400 千円	千円
そ		の他	千円	千円	千円
一		般財源	2,800 千円	1,600 千円	千円
事		業費計	99,800 千円	47,000 千円	千円
					道整備交付金

総合計画実施計画

事業名	社会資本整備総合交付金事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	幹線道路網の整備

当該事業の概要	<p>・市内への交通のアクセス性を向上するため、幹線道路網の整備を行う補助事業であり、市道1-22号線(塩田金沢線)の用地取得、改良工事等を進め、市民の交通の利便性を高め、幹線道路網の整備を行う事業です。</p> <p>中央道一宮御坂インターから主要地方道白井甲州線とを結ぶ道路であり、森林公園「金川の森」へ通じる道路としても活用していきます。</p> <p>L=650m、W=12m(車道6m)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <p>・基幹的な交通体系の形成に取り組むとともに、平成25年度完成を目指します。(平成12年度より第2期工事として工事着手)</p>																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手段</th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> <th style="width: 20%;">平成25年度</th> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市道1-22号線(塩田金沢線)</td> <td>積算・工事・検査</td> <td>積算・工事・検査</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>←————→</td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度		備考	市道1-22号線(塩田金沢線)	積算・工事・検査	積算・工事・検査				←————→	←————→																	
手段	平成24年度	平成25年度		備考																											
市道1-22号線(塩田金沢線)	積算・工事・検査	積算・工事・検査																													
	←————→	←————→																													

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度		補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	41,250 千円	千円	千円		
		市 債	55,800 千円	7,600 千円	千円		
		そ の 他	千円	千円	千円		
		一 般 財 源	3,190 千円	400 千円	千円		
	事業費計	100,240 千円	8,000 千円	千円			

総合計画実施計画

事業名	市営バス運行事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	公共交通網の整備

当該事業の概要	<p>市営バスは、一宮町内と石和温泉駅を結ぶ「一宮循環バス」、境川町内を巡回する「境川巡回バス」、芦川町と石和温泉駅を結ぶ「芦川バス」の3路線を運行しています。</p> <p>また、平成22年10月から、市内の一部地域(公共交通空白地域)をモデル地域として「笛吹市デマンド交通」の実証運行を行ってきました。その結果、市民のニーズに応じた効率的、効果的な運行手段としてデマンドタクシーを平成24年度から「みさかルート」「ふじみルート」の2路線において本格運行します。</p> <p>また、JR、民営幹線バス路線、他の市営バスなどの接続機能を高め、市内交通ネットワークサービスを確立し、市内全域での効率の良い公共交通網の構築に向けて取り組みます。</p> <p>○現在の市営バス路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一宮循環バス ・境川巡回バス ・芦川バス <p>○H24年度からのデマンドタクシー路線</p> <p>①「みさかルート」(御坂町若宮～石和温泉駅) ②「ふじみルート」(石和町河内～石和温泉駅)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標						
		単位	基準		24	25	26
	市営バスの利用者数	人	18	31,000	37,000	40,000	40,000
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考		
	① 一宮循環バス	運行状況の調査・検証	改善案の検討	運行再編			
	② 境川巡回バス	運行状況の調査・検証	改善案の検討	運行再編			
	③ 芦川バス	運行状況の調査・検証	改善案の検討	運行再編			
	④ デマンド交通	本格運行	本格運行	本格運行			
生活交通ネットワーク計画を策定(H24年度)し、JR、民営路線バス等と連携した機能的かつ利便性の高い公共交通網の構築を目指します。							

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	5,028 千円	5,000 千円	5,000 千円	
		一 般 財 源	28,976 千円	29,000 千円	29,000 千円	
事業費計		34,004 千円	34,000 千円	34,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	リニア対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	公共交通網の整備

当該事業の概要	<p>これまで市は、地元行政区・対策協議会等との調整、工事用道路の建設、関連公共事業の推進、安全対策、環境対策実施のための協議を行ってきました。笛吹市内全線で工事が着手され、トンネル区間については、全線貫通しており、今後は引き続き明かり橋脚や新規でガイドウェイの建設が着手になります。引き続き地元住民の立場にたった事業展開がなされるよう事業主体・山梨県等と充分協議を行ない、平成25年までの山梨リニア実験線全線工事の円滑な完成に努めていきます。</p> <p>また、地元では大きな問題であります飲料水・農業用水・河川・自家井戸等の恒久対策や、日陰による日照問題が現時点で発生しており、地元でもかなりの深刻な問題になっているため、工事完成後に地元でトラブル等を残さないよう、今まで以上の慎重な対応をする時期に来ています。</p>
	<p>事業主体により発注されたリニア本線工事及び関連公共事業の円滑な推進を図るとともに、当該工事の影響により市民の安全・安心な生活に支障がないよう、関係機関と協議調整を行ない、的確な対応を行ないます。</p>

目標・手段・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①リニア工事用道路建設</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②減濁水による緊急・恒久対策対応</td> <td>協議調整</td> <td>調査・工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③日陰対策調査協議調整</td> <td></td> <td>調査</td> <td>協議調整</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④各種事項の関係団体との協議</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">随時必要に応じ開催</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	①リニア工事用道路建設	工事				②減濁水による緊急・恒久対策対応	協議調整	調査・工事			③日陰対策調査協議調整		調査	協議調整		④各種事項の関係団体との協議	随時必要に応じ開催			
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																					
	①リニア工事用道路建設	工事																								
	②減濁水による緊急・恒久対策対応	協議調整	調査・工事																							
	③日陰対策調査協議調整		調査	協議調整																						
④各種事項の関係団体との協議	随時必要に応じ開催																									

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		407 千円	407 千円		407 千円
事業費計			407 千円	407 千円	407 千円		

総合計画実施計画

事業名	砂原橋架替事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	幹線道路網の整備

当該事業の概要	<p>市内への交通のアクセス性を向上するため、幹線道路網の整備を行う交付金事業で整備します。老朽化した砂原橋の架け替えと周辺道路の整備を行を行います。 L=1,400m、W=5.5m(10.0m)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) ・地元説明会を開催し、地権者や関係機関との協議調整を行い、平成26年度完成を目指します。 ・笛吹市へのアクセス向上、幹線道路網の整備を行います。</p>														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市道1-13号線(砂原橋)</td> <td>用地補償・委託・工事</td> <td>用地補償・工事・委託</td> <td>委託・工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>←————→</td> <td>←————→</td> <td>←————→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	市道1-13号線(砂原橋)	用地補償・委託・工事	用地補償・工事・委託	委託・工事			←————→	←————→	←————→	
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考											
市道1-13号線(砂原橋)	用地補償・委託・工事	用地補償・工事・委託	委託・工事												
	←————→	←————→	←————→												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	455,000 千円	432,500 千円	
市		債	656,800 千円	547,600 千円	367,100 千円	
そ		の他	32,737 千円	千円	千円	
一		般財源	6,155 千円	77,345 千円	67,845 千円	
事		業費計	1,150,692 千円	1,057,445 千円	537,445 千円	

総合計画実施計画

事業名	石和温泉駅周辺整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	機能的で魅力ある市街地づくり
	具体的な施策	市街地の整備

当該事業の概要	<p>石和温泉駅は、「桃・ぶどう日本一と温泉の郷」の鉄道玄関口であり、多くの観光客の交流拠点となっています。</p> <p>しかしながら、駅舎は築70年を経過し、老朽化が進んでいると同時に駐車場も不足し、パークアンドライド対応もできない状況です。</p> <p>またバリアフリーに対応していないほか、駅北口からの交通結節機能がまったくない状況にあります。</p> <p>このため、石和温泉駅舎の改築、南北自由通路、北口駅前広場等の整備を行い、機能的で美しい街並の形成とともに、市民の利便性の向上や今後増加が期待される観光客等交流拠点の充実化を進めていくものとします。</p> <p>平成21年度～平成26年度事業。</p>

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺整備検討委員会の開催 ・駅北口の開設と広場の整備及び国道140号からのアクセス道路の整備 ①南北自由通路・駅舎整備 ②下水道整備 ③道路・駅前広場整備 																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南北自由通路・駅舎整備</td> <td>← 実施設計 →</td> <td>← 工事 →</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下水道整備</td> <td>← 工事 →</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路・駅前広場整備</td> <td>← 工事 →</td> <td></td> <td>← 工事 →</td> <td>平成26年度まで</td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	南北自由通路・駅舎整備	← 実施設計 →	← 工事 →			下水道整備	← 工事 →				道路・駅前広場整備	← 工事 →		← 工事 →
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																
南北自由通路・駅舎整備	← 実施設計 →	← 工事 →																		
下水道整備	← 工事 →																			
道路・駅前広場整備	← 工事 →		← 工事 →	平成26年度まで																

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	120,000 千円	431,000 千円	
市		債	305,500 千円	651,100 千円	1,183,500 千円	
そ		の他	43,348 千円	千円	千円	
一		般財源	841 千円	273,564 千円	67,335 千円	
	事業費計		469,689 千円	1,355,664 千円	1,730,120 千円	

総合計画実施計画

事業名	笛吹川都市計画事業石和温泉駅前土地区画整理事業		
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり	
	施策	機能的で魅力ある市街地づくり	
	具体的な施策	市街地の整備	

当該事業の概要	石和温泉駅前土地区画整理事業は、石和温泉駅南側の約13haを施行地区とし、平成4年4月に事業認可を受け、都市計画道路3路線、石和温泉駅前広場、区画道路11路線、歩行者専用道路5路線、公園2箇所などの公共施設を計画的に整備し、環境の整った健全かつ良好なる市街地の形成を目的として、平成24年度の完成を目途に施行しています。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準		24		
		単位	年度				
	市街地のバリアフリー化された歩道延長	m	23	1,800	1,800		
	手段	平成24年度					備考
	事業計画変更	縦覧・認可					縦覧準備 認可申請
	実施計画変更	承認					
	換地計画認可	準備・協議・認可					関係図書整理 縦覧準備
	換地処分	準備他 換地処分・公告					関係図書整理 換地計画縦覧他
	公共施設管理者引継ぎ	準備・協議 通知					事前協議 通知等資料作成
	大字名変更 地番整理	変更整理					関係機関協議 関係者お知らせ
区画整理登記他	準備・手続 登記通知					関係機関協議 (登記所他)	
清算金徴収交付	関係図書作成他準備・徴収交付					清算金調書 基準作成他	

財源	実施年度		平成24年度			補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		市 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	6,000 千円	千円	千円		
		一 般 財 源	35,173 千円	千円	千円		
事業費計		41,173 千円	千円	千円			

総合計画実施計画

事業名	友好都市親善交流事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	内外の交流促進

当該事業の概要	<p>合併以前より友好関係にある、ドイツ、バート・メルгентハイム市、フランス、ニュー・サンジョルジュ市、中国、肥城市と相互に特産品のPRなど産業面の発展を視野に入れた国際交流を行っています。</p> <p>肥城市とは「備忘録」を、バート・メルгентハイム市とは「友好交流約定書」を取り交し、各分野での民間レベルでの交流を促進することを確認しました。また、平成21年4月には、合併後初めてバート市の公式使節団を迎え、4カ国による国際交流絵画展を開催するなど交流の輪を広げています。ニュー・サンジョルジュ市とは、友好継続の意向を確認済みなので、今後は調印を含めた交流方針についての検討を進めます。さらに関係部署との連携を図りながら民間の主体性が発揮できるような事業展開を目指します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>友好都市交流者数</td> <td>人</td> <td>19</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>650</td> <td>650</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・使節団派遣・受入れ ・民間交流を基本に相互交流の促進 ・特産品、景勝地の紹介 ・国際化推進指針に基づく事業推進 	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	友好都市交流者数	人	19	600	650	650	650
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	24	25	26												
友好都市交流者数	人	19	600	650	650	650											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		1,134 千円	7,000 千円		1,134 千円
事業費計			1,134 千円	7,000 千円	1,134 千円		

総合計画実施計画

事業名	石和地域間交流事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	内外の交流促進

当該事業の概要	<p>石和町地区老人クラブが館山市の老人クラブを訪問したことを発端に、昭和47年、旧石和町と千葉県館山市は姉妹都市として締結し、以後各種の交流を行っています。</p> <p>館山市立那古小学校修学旅行団の受入れ、館山市産業まつりへの出店、笛吹市ボランティアまつりへの館山市による海産物の出店、スポーツ少年団による交流などを行っています。</p> <p>また、平成19年7月「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。</p> <p>那古小学校修学旅行団の受入れについては、平成14年から行っており、平成20年の受入れの折には石和北小学校の児童との交流会も行われるなど交流の広がりを見せています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・那古小学校修学旅行の受入れ。(ぶどう狩り体験、庁内各担当との調整)(8月～10月) ・市内研修先の紹介(4月～8月) 												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流者数(人)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>市内研修箇所数</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	24	25	26	交流者数(人)	100	100	100	市内研修箇所数	12	12	12
年 度	24	25	26										
交流者数(人)	100	100	100										
市内研修箇所数	12	12	12										

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
	市 債		千円	千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		100 千円	100 千円	100 千円	
	事業費計		100 千円	100 千円	100 千円	

総合計画実施計画

事業名	地域環境資源活用推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流機会の充実

当該事業の概要	<p>桃・ぶどうなどの優れた農産物の一層なイメージアップと消費拡大並びに観光客の増加を図るため、生産基盤周辺の豊かな自然環境や農村環境の資源活用を行い、笛吹市八代町岡地内 四ツ沢川の河川敷へホテル水路や観賞用歩道等を整備してホテルの里づくり事業を進めます。また、本事業の実施にあわせ、四季を通じて美しい農村地帯や、多くの山々を有する自然豊かな本市を紹介することにより、県内外からの観光客の増加に繋がります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	ホテル観察者数※	人	19	100	4000	5,000	6,000
	※四ツ沢川のホテルの里における観察者数						
	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館組合等関係機関と連携 ・ホテルの育成、生息できる環境の整備を市民グループと協働 ・間近で観察できるように、ほたるの水路、観賞用歩道、調整池の整備 						
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考		
	地元・市民グループ会議	会議開催 ○ ○	会議開催 ○ ○	会議開催 ○ ○			
	ホテル鑑賞、交流	ホテル鑑賞 ↔	ホテル鑑賞 ↔	ホテル鑑賞 ↔			
	四ツ沢川管理	↔		↔		↔	

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	1,452 千円	1,500 千円	1,500 千円	
		事 業 費 計	1,452 千円	1,500 千円	1,500 千円	

総合計画実施計画

事業名	多機能アリーナ建設事業(人づくり、健康づくり、交流づくりの拠点施設整備)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々の集うまちづくり
	施 策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	市の中核となる拠点施設の建設・運営

当該事業の概要	<p>スポーツ活動や市民活動、市内外の交流を促進し、「人づくり」「健康づくり」「交流づくり」の拠点となり、また災害発生時の拠点となりうる施設としての多機能アリーナを建設します。</p> <p>施設の概要につきましては、各種屋内スポーツに主軸をおき、1,200人規模の集会、イベント、コンサートなどが開催可能な多機能な施設とし、敷地面積は約40,000㎡、延床面積は約9,200㎡の計画です。この建設事業には合併特例債を活用します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ◇実施設計業務 ◇建設予定地にある地権者の代替地の確保 ◇事業認定等の手続きに向けた各種協議 ◇建設委員会の開催 ◇ワークショップの開催 ◇市民の合意形成を図るための諸事業の実施
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	680,000 千円
		市 債	千円	807,500 千円	2,726,500 千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般 財 源	千円	72,500 千円	193,500 千円
	事業費計		千円	880,000 千円	3,600,000 千円

総合計画実施計画

事業名	過疎対策事業 特産農産物開発・販売促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々の集うまちづくり
	施策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流機会の充実

当該事業の概要	<p>芦川農産物直売所での加工品売り上げは、全体の約20%を占めていますが、野菜が不足する冬季の営業状況から判断すると、目玉商品になる加工品のさらなる開発が必要不可欠です。このようなことから地域に伝統的に伝わる「芦川の味」を研究し、より多くの豊富な地域資源を生かした加工品開発へと結びつけます。さらに芦川地区の冷涼な気候を活かした農業を展開するため、山梨県と合同で新規作物(夏秋イチゴ)の普及栽培実験も行います。</p> <p>また、周辺施設整備や定期的なイベント、PR活動を実施することで、集客や売上増加の促進も図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>芦川農産物直売所を中心に、新商品・加工品開発や新規の作物の導入実験を実施し、地区全体の活性化を目指します。</p> <p>農産物直売所のPR活動を実施します。</p>																														
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特産品開発</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>先進地視察研修会</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規作物普及栽培実験</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>集客用案内看板設置</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イベントの実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	特産品開発	←→	←→			先進地視察研修会	→	→			新規作物普及栽培実験	←→	←→			集客用案内看板設置	←→				イベントの実施	→	→	→	→
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																											
特産品開発	←→	←→																													
先進地視察研修会	→	→																													
新規作物普及栽培実験	←→	←→																													
集客用案内看板設置	←→																														
イベントの実施	→	→	→	→																											

財源		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	千円	
	市 債		900 千円	1,500 千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		249 千円	千円	千円	
	事業費計		1,149 千円	1,500 千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	過疎対策事業 交流施設整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々の集うまちづくり
	施 策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流施設基盤整備

当該事業の概要	<p>芦川農産物直売所・活性化交流施設の完成により、芦川地域の農産物の販路拡大や加工品開発等を行なっていることで、地域活性化に繋がってきています。今後より一層の芦川地域のPRや販路拡大を図るため、定期的なイベントを開催していくことも必要であります。</p> <p>しかし、現状の駐車場では50台程度しか駐車できず渋滞や混乱を招いている状況であり、このようなことから、隣接地を買収し駐車場として整備していく必要があります。</p> <p>また、将来的に公衆用トイレも設置することで、来客者のさらなる利便性を確保します。(緊急時の避難場所としても利用します。)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	用地買収及び実施設計書作成 造成工事の実施 公衆用トイレの設置															
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成工事</td> <td colspan="2">←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>公衆用トイレ設置</td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	造成工事	←————→				公衆用トイレ設置		←————→		
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考												
造成工事	←————→															
公衆用トイレ設置		←————→														

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		67,300 千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		5 千円	千円		千円
事業費計			67,305 千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	過疎対策事業 上芦川地域原風景復活保存事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々の集うまちづくり
	施 策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流基盤整備・交流機会の充実

当該事業の概要	<p>上芦川地区に点在する資源(茅葺の古民家、水車小屋、道水路等)を整備し、独特の風土の中で築き上げてきた原風景を復活させることにより、地域内外の人に広くPRすることで、人々に安らぎの気持ちを与えながら、併せて芦川地域のさらなる活性化に繋がります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>茅葺の古民家の実施設計及び改修工事 水車小屋の実施設計 駐車場の用地を確保及び実施設計</p>																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古民家の改修</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水車小屋の新設・改修</td> <td colspan="2">← 工事 →</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石畳の散策路</td> <td>← 設計 →</td> <td colspan="2">← 工事 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水路改修</td> <td></td> <td colspan="2">← 工事 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駐車場・トイレの整備</td> <td>← 設計 →</td> <td colspan="2">← 工事 →</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	古民家の改修					水車小屋の新設・改修	← 工事 →				石畳の散策路	← 設計 →	← 工事 →			水路改修		← 工事 →			駐車場・トイレの整備	← 設計 →	← 工事 →		
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																											
古民家の改修																															
水車小屋の新設・改修	← 工事 →																														
石畳の散策路	← 設計 →	← 工事 →																													
水路改修		← 工事 →																													
駐車場・トイレの整備	← 設計 →	← 工事 →																													

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	31,000 千円	千円	千円	
		そ の 他	1,865 千円	6,300 千円	千円	
		一 般 財 源	355 千円	千円	千円	
	事業費計	33,220 千円	6,300 千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	過疎対策事業 すずらん群生地保護調査事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々の集うまちづくり
	施 策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流機会の充実

当該事業の概要	<p>芦川地域には、全国的にも珍しい「ニホンスズラン」の群生地が広がっており、山梨県の自然記念物に指定されています。すずらんの時季には「すずらんの里祭り」を開催し、県内外から多くの人々が訪れます。しかし、近年は環境の変化等によりすずらんが減少傾向にあります。将来にわたり地域の財産として保護していけるよう、専門機関への調査委託を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>本州随一を誇るすずらんの群生地について、群生地の維持、特徴ある美しい里山景観の保全のため、専門的な調査を実施します。</p>										
	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査設計</td> <td style="text-align: center;">調査、検証 →</td> <td style="text-align: center;">調査、検証 →</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備 考	調査設計	調査、検証 →	調査、検証 →		
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備 考							
調査設計	調査、検証 →	調査、検証 →									
	<p>【調査設計】 山梨県環境科学研究所(山梨県の自然に関する調査専門機関であり、県内の自然記念物を守るという観点から2年間無償で調査をしていただける。)</p>										

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		千円	千円		千円
	事業費計		千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	過疎対策事業 地域間交流促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々の集うまちづくり
	施 策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流機会の充実

当該事業の概要	<p>農業体験や農村交流体験活動を実施することで、さらなる地域間交流の促進を図ります。このことにより農村環境への理解や関心を深めてもらい、将来的には二地域居住や移住者の増加に繋がります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>地域間交流促進事業、農業体験交流事業を実施します。</p>																					
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域間交流</td> <td>企画 募集 実施</td> <td>企画 募集 実施</td> <td>企画 募集 実施</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>→ → →</td> <td>→ → →</td> <td>→ → →</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">農業体験交流</td> <td>企画 実施</td> <td>企画 実施</td> <td>企画 実施</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>→ → →</td> <td>→ → →</td> <td>→ → →</td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	地域間交流	企画 募集 実施	企画 募集 実施	企画 募集 実施		→ → →	→ → →	→ → →	農業体験交流	企画 実施	企画 実施	企画 実施		→ → →	→ → →	→ → →
手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																		
地域間交流	企画 募集 実施	企画 募集 実施	企画 募集 実施																			
	→ → →	→ → →	→ → →																			
農業体験交流	企画 実施	企画 実施	企画 実施																			
	→ → →	→ → →	→ → →																			

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		1,600 千円	3,000 千円		3,000 千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		215 千円	千円		千円
事業費計			1,815 千円	3,000 千円	3,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	観光イベント事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	もてなしの心があふれる観光地づくり
	具体的な施策	交流機会の充実

当該事業の概要	<p>豊かな資源を活かして個性溢れた様々なイベントを開催します。4月の桃の花まつりに始まり、7月～8月にかけての笛吹川石和鶉飼、8月には石和温泉花火大会や甲斐一宮大文字焼きなどを開催いたします。2月には日本一早いハウス桃園で花見が開園するなど、本事業を通して県内外より大勢のお客様が本市を訪れることにより、石和、春日居温泉郷の宿泊客の増加、日本一のもも、ぶどうなど特産品の消費に繋がっていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準					
		単位	年度	24	25	26		
	観光客数	万人	20	180	190	200	200	
	宿泊客数	万人	20	100	100	105	105	
	<p>笛吹市観光物産連盟によるイベント開催や旅館協同組合やJRとの連携を図り誘客に努めます。4月には観光客が各花見会場等を連絡するため二次交通の「桃の花バス」を運行します。</p>							
	手段	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
	ハウス桃園杷花見、桃の花まつり	花祭り実施、検証	ハウス花見	花祭り実施、検証	ハウス花見	花祭り実施、検証	ハウス花見	
	笛吹川石和鶉飼、石和温泉夏まつり	会議 開催、検証		会議 開催、検証		会議 開催、検証		
	芦川すずらん祭り、甲斐一宮大文字焼	開催 開催		開催 開催		開催 開催		

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	22,000 千円	22,000 千円	22,000 千円	
		一 般 財 源	91,067 千円	91,000 千円	91,000 千円	
事業費計		113,067 千円	113,000 千円	113,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	ハイキングコース整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	もてなしの心があふれる観光地づくり
	具体的な施策	資源を活かした観光メニューづくり

当該事業の概要	<p>本市は、58パーセントを山林で占められており、その美しい山々は、大勢の観光客が訪れ、美しい自然を満喫しています。市内の9つの山梨百名山を中心としたハイキングコースを計画的に整備を行い、安全なハイキングを楽しんでいただくために、本事業を進めるものです。</p> <p>登山道の整備、下草刈り、案内板の設置等を実施し、素晴らしい富士山の眺望や甲府盆地、南アルプスを堪能していただきます。また、観光客、宿泊客の増加に繋げていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度		24	25	26
	ハイキングコース整備・修理数	コース	20	4	10	10	10
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングコースの紹介 市のホームページによる林道情報やマップによるコースの紹介をします。 JRとの連携で行う「JRいっしょに小さな旅トレッキング事業」により県外の登山者に笛吹市の山の紹介をします。 ・トレッキングマップの配布 観光案内所、旅館組合、各支所、山梨県観光物産連盟等の関係機関にマップを設置します。 観光キャンペーン時に配布します。 ・案内板の設置、修繕、下刈り 安全なトレッキングを体験していただくために、年次計画により案内板を設置、修繕をします。 ・点検 定期的にコース点検し、安心・安全なハイキングコースの整備を進めます。 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	30 千円	30 千円	30 千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	20 千円	20 千円	20 千円	
		一 般 財 源	1,193 千円	1,190 千円	1,190 千円	
事 業 費 計	1,243 千円	1,240 千円	1,240 千円			

総合計画実施計画

事業名	観光宣伝事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	もてなしの心があふれる観光地づくり
	具体的な施策	プロモーション活動の展開

当該事業の概要	<p>ラジオ・テレビなどのマスコミを活用したCM放送や、旅行雑誌や新聞におけるPRを進めます。また、首都圏などで桃の枝配りキャンペーン事業を展開するとともに、イベントポスターを作製し、市内各所や首都圏、JR各駅など観光スポット等に掲出することにより四季折々変化に富んだ本市の魅力のPRします。また都内旅行エージェントを招へいしてエキスカーションを開催し、果実狩り、温泉郷などを盛り込んだ旅行商品のPRを進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	観光ボランティア登録者数	人	20	20	25	25	25
	フィルムコミッションによる誘致件数	件	20	3	4	4	4
	<p>マスコミ、雑誌・新聞を活用した宣伝活動。年間を通してのキャンペーン活動。JR各駅へのポスター掲出や、観光エージェントへの観光商品の提供や情報発信。</p>						
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度		備考	
	観光スポットへの啓蒙、宣伝	啓蒙、宣伝					
	観光キャンペーン	実施	実施	実施			

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		市 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	9,450 千円	9,450 千円	9,450 千円		
		一 般 財 源	20,584 千円	20,000 千円	20,000 千円		
		事業費計	30,034 千円	29,450 千円	29,450 千円		

総合計画実施計画

事業名	市長トップセールス事業(観光総務事務)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	もてなしの心があふれる観光地づくり
	具体的な施策	プロモーション活動の展開

当該事業の概要	<p>市長がトップセールスマンとして、日本一の桃・ぶどうなどの農産物の消費宣伝や石和・春日居温泉郷の紹介などの観光宣伝を行います。また近年は東アジアにおいても、桃・ぶどうなどの果実の消費、需要が高まっていることや、インバウンド対策として、海外におけるトップセールスも予定されています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	観光客数	万人	20	180	190	200	200
	宿泊客数	万人	20	100	100	105	105
	国内の観光エージェントを訪問し、観光商品のセールスを行う他、観光情報を提供します。						
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度		備考	
	トップセールス企画、立案	企画、立案 ↔ ↔	企画、立案 ↔ ↔	企画、立案 ↔ ↔			
	トップセールス実施	実施 ↔ ↔	実施 ↔ ↔	実施 ↔ ↔			

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		市 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	千円	千円	千円		
		一 般 財 源	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円		
事業費計		1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円			

総合計画実施計画

事業名	県営畑地帯総合整備事業		
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり	
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり	
	具体的な施策	農業基盤の整備	

当該事業の概要	<p>活力ある農業を振興するため、県営土地改良事業を積極的に導入し、農業の生産基盤の充実を図り、農業の活性化に努めるとともに、樹園地内の農道・水路・ほ場整備等の改修・整備を行います。</p> <p>事業主体は山梨県であり、市は事業費の25%を負担いたします。また、ほ場整備は事業費の6.5%を地権者から負担して頂きます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	(目標)	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図ります。 			
	(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 地権者の説明会の開催及び土地買収など契約内容の理解を求めます。 			
		整備地区	事業実施年度	全体事業費(千円)	受益面積(ha)
		御坂大野寺地区	(H11～H25)	1,254,000	66
		一宮北部地区	(H14～H27)	2,304,000	122
		春日居第1地区	(H17～H25)	853,000	54
		笛吹川左岸地区	(H20～H25)	1,797,000	360
		黒駒西地区	(H23～H28)	2,200,000	98.3
	藤袋地区	(H24～H29)	1,365,000	39.6	

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		県営担い手育成畑地帯総合整備事業
		市 債	137,000 千円	245,800 千円	167,400 千円		
		そ の 他	3,886 千円	千円	千円		
		一 般 財 源	7,212 千円	12,988 千円	8,850 千円		
事 業 費 計	148,098 千円	258,788 千円	176,250 千円				

総合計画実施計画

事業名	県営基幹農道整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>生産性の高い農業を確立するため、県営土地改良事業を積極的に導入し、農業の生産基盤の充実を図り、活性化に努めます。山梨県が計画を進めている高規格農道整備で、山間地域の優良農地を結ぶ基幹農道建設により、地域農産物の広域・高速出荷を可能とさせる農道整備事業で市の負担割合は事業費の1/6です。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) ・農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図ります。</p> <p>(手段) ・高規格農道の整備が円滑に実施できるよう山梨県、地元関係者、工事請負業者等連携を図ります。 ・事業説明会の開催及び契約内容の理解を求めます。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備地区</th> <th>事業実施年度</th> <th>全体事業費(千円)</th> <th>受益面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東八中央東地区</td> <td>(H8～H27)</td> <td style="text-align: right;">2,384,000</td> <td style="text-align: center;">155</td> </tr> <tr> <td>釈迦堂地区</td> <td>(H11～H27)</td> <td style="text-align: right;">2,289,100</td> <td style="text-align: center;">377</td> </tr> </tbody> </table>	整備地区	事業実施年度	全体事業費(千円)	受益面積(ha)	東八中央東地区	(H8～H27)	2,384,000	155	釈迦堂地区	(H11～H27)	2,289,100	377
整備地区	事業実施年度	全体事業費(千円)	受益面積(ha)										
東八中央東地区	(H8～H27)	2,384,000	155										
釈迦堂地区	(H11～H27)	2,289,100	377										

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名 県営基幹農道整備事業
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	12,600 千円	9,500 千円	15,800 千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	734 千円	500 千円	867 千円	
	事 業 費 計	13,334 千円	10,000 千円	16,667 千円		

総合計画実施計画

事業名	県営中山間地域総合整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>県が市の要望に基づき、地理的条件が悪く農業の生産条件が不利な地域を対象に、農業生産基盤と農村生活環境基盤の整備を総合的に行う事業であり、市は事業費の15%を負担します。また、ほ場整備は事業費の6.5%を地権者から負担して頂きます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) ・農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図ります。</p> <p>(手段) ・地権者の説明会の開催及び土地買収など契約内容の理解を求めます。 ・本事業が円滑に実施できるよう山梨県、地元関係者、工事請負業者等連携を図ります。</p>								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">整備地区</th> <th style="width: 25%;">事業実施地区</th> <th style="width: 25%;">全体事業費(千円)</th> <th style="width: 35%;">受益面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八代地区</td> <td>(H16～H25)</td> <td style="text-align: right;">1,314,000</td> <td style="text-align: center;">61.7</td> </tr> </tbody> </table>	整備地区	事業実施地区	全体事業費(千円)	受益面積(ha)	八代地区	(H16～H25)	1,314,000	61.7
整備地区	事業実施地区	全体事業費(千円)	受益面積(ha)						
八代地区	(H16～H25)	1,314,000	61.7						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名 県営中山間地域総合整備事業
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	21,100 千円	25,400 千円	千円	
		そ の 他	927 千円	927 千円	千円	
		一 般 財 源	1,200 千円	1,400 千円	千円	
事業費計		23,227 千円	27,727 千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>食糧の安定供給や多面的機能の発揮の基盤となる社会共通の資本である農地、農業用水路等の資源を、将来にわたり適切に保全し質的向上を図るため、市内の14の活動組織が市と協定を結び、施設の保守等環境保全に取り組めます。又、営農支援活動実施地域2地区では、減農薬、減化学肥料、除草剤を用いない機械除草などの環境負荷の軽減に対する取り組みを進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・農業用水路等の資源が、将来にわたって保全されるように整備します。 ・環境保全に貢献する有機・特別栽培農産物等の産地形成、農産物のブランド化を進めます。 																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協定の締結</td> <td colspan="3"> <div style="text-align: center;">締結</div> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動組織への指導、助言</td> <td colspan="3"> <div style="text-align: center;">指導、助言</div> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付金の支払い</td> <td> <div style="text-align: center;">支払い</div> </td> <td> <div style="text-align: center;">支払い</div> </td> <td> <div style="text-align: center;">支払い</div> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	協定の締結	<div style="text-align: center;">締結</div>				活動組織への指導、助言	<div style="text-align: center;">指導、助言</div>				交付金の支払い	<div style="text-align: center;">支払い</div>	<div style="text-align: center;">支払い</div>	<div style="text-align: center;">支払い</div>	
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																	
協定の締結	<div style="text-align: center;">締結</div>																				
活動組織への指導、助言	<div style="text-align: center;">指導、助言</div>																				
交付金の支払い	<div style="text-align: center;">支払い</div>	<div style="text-align: center;">支払い</div>	<div style="text-align: center;">支払い</div>																		

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国	県支出金	180 千円	180 千円		180 千円
市		債	千円	千円	千円		
そ		の	他	千円	千円	千円	
一		般	財	源	8,000 千円	8,000 千円	8,000 千円
事業費計			8,180 千円	8,180 千円	8,180 千円		

総合計画実施計画

事業名	農業施設整備事業(農道・用排水路の維持管理及び新設事業)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>活力ある農業を振興するため、行政区からの要望事項・管理上必要とする農道・水路を改修を目的に政策的に整備の必要な箇所を精査し、その緊急性・費用対効果等も考えながら年次的に農業基盤を整備していきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市農道整備総延長(市単独)</td> <td>m</td> <td>19</td> <td>6,900</td> <td>11,900</td> <td>12,900</td> <td>13,900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(目標) 農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業を進めていきます。</p> <p>(手段) 農業・用排水路の適切な管理、地域整備を行います。(地区要望の受付、関係部局との調整、現地での状況確認、工法検討、設計積算、住民との協議、調整、施工管理、検査、引渡)</p>	基本計画の指標	単位	基準				年度	24	25	26	市農道整備総延長(市単独)	m	19	6,900	11,900	12,900	13,900
基本計画の指標	単位			基準														
		年度	24	25	26													
市農道整備総延長(市単独)	m	19	6,900	11,900	12,900	13,900												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		40,000 千円	40,000 千円	
市 債			335,000 千円	335,000 千円	335,000 千円	
そ の 他			千円	千円	千円	
一 般 財 源			19,732 千円	19,732 千円	19,732 千円	
事業費計			394,732 千円	394,732 千円	394,732 千円	

総合計画実施計画

事業名	鳥獣害防止対策強化事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>有害鳥獣から農作物への被害を防止するため、各地区猟友会と密に連携を図るとともに、檻等の設置による捕獲を行います。さらには、農家へ獣害防止柵の原材料の支給、電気柵等の設置などを実施することにより、優良農地の確保、遊休農地の解消及び生産性の高い農業の確立を図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・猪、鹿、カラスなどによる農産物の被害量の減少 ・鳥獣害被害地帯の実態調査 ・各地区猟友会への有害鳥獣捕獲の委託 ・原材料支給による獣害防止柵の設置 ・電気柵等の設置に対する補助金交付
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	580 千円	580 千円	580 千円
		市 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般 財 源	9,613 千円	9,613 千円	9,613 千円
	事業費計		10,193 千円	10,193 千円	10,193 千円

総合計画実施計画

事業名	バイオマスの郷づくり事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>バイオマスタウンを形成すべく、従来の取り組みをベースとして、バイオマスの出し手、受け手の双方に新たな参加者を取り込み、より大きな取り組みへと発展させることを基本方針とする「バイオマスタウン構想」を活用します。目指すべき将来像を、『農と食と微生物を活かした地域ぐるみで取り組むバイオマスの郷づくり』として、バイオマスである生ごみや果樹せん定枝を堆肥化し、農業資源として農家、一般家庭へ提供するなど循環型社会の構築を図るとともに、有用微生物の活用による土づくり(無化学肥料有機栽培)を中心とした環境保全型農業を推進します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ◇ボランティア団体による学習会の開催 3回 ◇せん定枝粉碎機共同購入補助 10台 5,000,000円 ◇一般家庭生ごみ収集システムの構築 2地区(300戸) ◇大型生ごみ処理機の設置による堆肥製造 ◇農業用廃プラスチックの処理 																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ボランティア団体による学習会</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成24年度 ←→</td> <td>平成25年度 ←→</td> <td>平成26年度 ←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん定枝粉碎機共同購入補助</td> <td colspan="3">補助</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般家庭生ごみ収集システムの構築</td> <td colspan="3">システムの構築</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生ごみ・堆肥・EM活性液の配布</td> <td colspan="3">配布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	ボランティア団体による学習会	開催	開催	開催		平成24年度 ←→	平成25年度 ←→	平成26年度 ←→		せん定枝粉碎機共同購入補助	補助				一般家庭生ごみ収集システムの構築	システムの構築				生ごみ・堆肥・EM活性液の配布	配布			
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																										
ボランティア団体による学習会	開催	開催	開催																											
	平成24年度 ←→	平成25年度 ←→	平成26年度 ←→																											
せん定枝粉碎機共同購入補助	補助																													
一般家庭生ごみ収集システムの構築	システムの構築																													
生ごみ・堆肥・EM活性液の配布	配布																													

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	千円	千円	
	市	債	千円	千円	千円	
	そ	の	千円	千円	千円	
	一	般	17,126 千円	17,126 千円	17,126 千円	
	財	源				
	事業費計		17,126 千円	17,126 千円	17,126 千円	

総合計画実施計画

事業名	地産地消推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>市民の「食」に対する関心が高まるにつれ地産地消が注目されていますが、市では地域農業の活性化と新たな販売ルートの確保のため、地元で収穫された安全で安心な農産物を地元の消費者に提供することを目的に、市内に農産物直売所を4箇所、農産物加工センターを2箇所設置して「食」の地産地消事業を推進しています。</p> <p>また、平成21年度に笛吹市地産地消推進協議会を設置して策定した、笛吹市地産地消推進計画に沿った事業を展開するとともに、市内にある農産物直売所、加工センターと連携した「食のイベント」による地産地消の推進と、市内にある各種産業との連携を模索しながら、新たな地産地消を推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>基本計画の指標</td> <td>単位</td> <td>基準 年度</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>直売所での売上高</td> <td>百万円</td> <td>18</td> <td>83</td> <td>300</td> <td>310</td> <td>320</td> </tr> </table> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進協議会の開催 2回 ・市内農産物直売所での地産地消推進イベントを開催して地産地消の推進をします。 年2回 ・地元農産物を使用した料理教室の開催 年2回 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>地産地消推進会議開催</td> <td colspan="3">開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イベントの開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>料理教室</td> <td colspan="3">開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td></td> </tr> </table>	基本計画の指標	単位	基準 年度	24	25	26	直売所での売上高	百万円	18	83	300	310	320	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	地産地消推進会議開催	開催				イベントの開催	開催	開催	開催			○ ○	○ ○	○ ○		料理教室	開催					○ ○	○ ○	○ ○	
基本計画の指標	単位	基準 年度	24	25	26																																							
直売所での売上高	百万円	18	83	300	310	320																																						
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																																								
地産地消推進会議開催	開催																																											
イベントの開催	開催	開催	開催																																									
	○ ○	○ ○	○ ○																																									
料理教室	開催																																											
	○ ○	○ ○	○ ○																																									

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	8,400 千円	3,000 千円	3,000 千円	
事業費計		8,400 千円	3,000 千円	3,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	農地流動化地域総合推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>認定農家及び担い手の育成及び遊休農地の解消を図るため、農用地の流動化を推進するとともに、借り手農家に対して奨励金を交付します。農業の規模拡大を目指す借り手農業者の登録、遊休農地の掘り起こし、農地の斡旋などを行い、利用権の設定を進めます。</p> <p>また、遊休農地の減少に努め、生産性の高い農業経営を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度		24	25	26
	認定農業者数	人	18	478	500	510	520
	農地流動化率	%	18	5.4	6.7	6.9	7
	遊休農地面積	ha	19	157	143	140	140
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地調査、台帳作成 ・認定農業者絞込み ・遊休農地認定農業者、担い手農家への斡旋 ・流動化の推進、遊休農地解消、農村地帯自然景観の保全 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		市 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	千円	千円	千円		
		一 般 財 源	7,000 千円	7,000 千円	7,000 千円		
	事業費計	7,000 千円	7,000 千円	7,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	林道事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	林業の新たな展開

当該事業の概要	<p>平成5年度旧芦川村鶯宿及び中芦川を結ぶ連絡道として地元要望の林道開設事業に着手しました。林業就業者などから間伐、伐採などの作業や木材の搬出のために林道の整備が強く求められています。芦川地区の林野率は90%を超えているとともに、当地区の主要産業である林業を振興するため、計画的に林道の整備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備計画延長L=6,350m 幅員4.0m ・補助金/国50%、県15%
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準	24	25	26
		単位	年度			
	間伐済みの面積率	%	19	6.15	8.76	9.42
	(目標)					
	・間伐、枝打ちなど森林施策が効率的に実施するとともに、林業全般の活性化を進めます。					
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	
	林業者(地権者)説明会	説明会	説明会			
	測量設計	設計	設計			
	林道工事	工事	工事			
	予定開設延長()内事業の進捗率	360m(68%)	180m(71%)			

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	47,209 千円	24,196 千円	千円	
		市 債	25,400 千円	13,300 千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	20,476 千円	9,063 千円	千円	
事 業 費 計	93,085 千円	46,559 千円	千円			

総合計画実施計画

事業名	農道保全対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>金川曾根広域農道は、完成後かなりの年数が経過し、施設の改修を必要とする箇所があるので、部分的な改修工事を県営事業で行います。市は事業費の25%を負担いたします。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) ・本事業を整備することにより、農産物を市外に短時間で出荷できるように整備するとともに、消費の拡大を促進します。 (手段) ・農道の整備が円滑に実施できるよう山梨県、地元関係者、工事請負業者等連携を図ります。 ・事業説明会の開催及び契約内容の理解を求めます。</p>																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手 段</th> <th style="width: 25%;">平成24年度</th> <th style="width: 25%;">平成25年度</th> <th style="width: 25%;">平成26年度</th> <th style="width: 10%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業説明会</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事契約会</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 事</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備 考	事業説明会	←→				工事契約会		←→			工 事			←→	
手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備 考																	
事業説明会	←→																				
工事契約会		←→																			
工 事			←→																		

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		2,300 千円	千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般 財 源		200 千円	千円	千円	
事 業 費 計		2,500 千円	千円	千円			

総合計画実施計画

事業名	芦川農産物直売所管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	芦川農産物直売所管理

当該事業の概要	<p>芦川農産物直売所の管理運営を、指定管理者に委託します。</p> <p>直売所利用者の「食」に対する関心が高まるにつれ、「安心・安全」な農産物を提供することを目的に、適切な指導・助言を行なうとともに、市内の直売所とも連携を図り「食」の地産地消事業にも取り組みます。</p> <p>また、加工施設を併設し加工品を提供しているため、「食のイベント」等を実施し新たな直売所の推進を図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>【目 標】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>直売所での売上高</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>(平成23年度：65百万円)</td> <td>67百万円</td> <td>70百万円</td> <td>75百万円</td> </tr> </table> <p>直売所での「食のイベント」の開催 年間2回</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導・助言</td> <td colspan="3">—————▶</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地産地消事業</td> <td colspan="3">—————▶</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食のイベント 開 催</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	直売所での売上高	平成24年度	平成25年度	平成26年度	(平成23年度：65百万円)	67百万円	70百万円	75百万円	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	指導・助言	—————▶				地産地消事業	—————▶				食のイベント 開 催	○ ○	○ ○	○ ○	
直売所での売上高	平成24年度	平成25年度	平成26年度																										
(平成23年度：65百万円)	67百万円	70百万円	75百万円																										
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																									
指導・助言	—————▶																												
地産地消事業	—————▶																												
食のイベント 開 催	○ ○	○ ○	○ ○																										

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財 源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	
	事業費計	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	特産品開発事業(芦川ブランド化推進事業)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々が集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>地域特産農産物等の開発及び生産について補助金を交付します。 山間地域などの生産条件不利地域でのそばや山菜、椎茸等の少量希少農産物の生産拡大推進及びほうれん草のブランド化推進に係る助成を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の生産拡大にむけて、指導・助言を行います。 ・ブランド化の推進を図るため、情報の収集・助言を行います。 															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手段</th> <th style="width: 25%;">平成24年度</th> <th style="width: 25%;">平成25年度</th> <th style="width: 25%;">平成26年度</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産拡大</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブランド化支援</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	生産拡大	→				ブランド化支援	→			
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考												
生産拡大	→															
ブランド化支援	→															

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
	市 債		千円	千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		1,454 千円	1,500 千円	1,500 千円	
	事業費計		1,454 千円	1,500 千円	1,500 千円	

総合計画実施計画

事業名	新規就農者支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>農業従事者の高齢化及び後継者不足が進む中、将来に渡り、新たな農業の担い手を確保し、地域農業の振興を図り、「桃・ぶどう日本一の郷」を堅持する為に、新規就農者に対し、支援金を交付する。この事業により、新規に農業を始める者や農業を継ぐ者が増えることを期待する。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>◇新規就農農業後継者支援事業 ・30才未満の新規就農農業後継者に対し、支援として、一世帯あたり月額30,000円以内(30歳になる月の前月まで)を月単位で最大5年間交付する。</p> <p>◇新規就農者支援補助金 ・45才未満の新規就農者に対して補助金を交付する。 ・Uターンによる就農者に対し一世帯あたり年額1,000,000円を2年間交付する。 ・Uターン、新規学卒及び転職による就農者に対し一世帯あたり年額500,000円を2年間交付する。</p>																						
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規就農者数</td> <td>人</td> <td>23</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>新規就農農業後継者数</td> <td>人</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	新規就農者数	人	23	8	8	8	新規就農農業後継者数	人	23	33	30	30	30
基本計画の指標	単位			基準																			
		年度	24	25	26																		
新規就農者数	人	23	8	8	8																		
新規就農農業後継者数	人	23	33	30	30	30																	

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		15,850 千円	15,850 千円		15,850 千円
	事 業 費 計		15,850 千円	15,850 千円	15,850 千円		

総合計画実施計画

事業名	農産物等消費拡大宣伝事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	桃・ぶどう日本一を誇る郷づくり
	具体的な施策	桃・ぶどうの販路拡大

当該事業の概要	<p>笛吹市で生産された農産物を首都圏を中心に、さらには海外市場も視野において各種イベント事業の開催や大手スーパー、百貨店、などに出店し、消費及び販路の拡大を目的に果実等の消費拡大宣伝を実施いたします。</p> <p>また、旅館組合、JAなど各種団体などとも連携を図りながら桃、ぶどうの消費拡大宣伝を通して本市の紹介を行うとともに、観光客、宿泊客の増加にも繋げていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	年度	基準	24	25	26
	桃の収穫量	t	18	22,900	22,900	22,900	22,900
	ぶどうの収穫量	t	18	14,400	14,400	14,400	14,400
	桃等の海外出荷量	t	18	70	150	160	170
	<ul style="list-style-type: none"> ・消費宣伝箇所の開拓 ・関係機関等協議 ・消費宣伝の実施 						
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考		
	消費宣伝事業の開催	開催 ↔	開催 ↔	開催 ↔			
	イベントの準備	準備 ↔	準備 ↔	準備 ↔			

財源	実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
	市 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般 財 源	4,803 千円	6,000 千円	6,000 千円	
	事業費計	4,803 千円	6,000 千円	6,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	地域ブランド化推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	桃・ぶどう日本一を誇る郷づくり
	具体的な施策	桃・ぶどうの販路拡大

当該事業の概要	<p>JAなど関係諸団体と連携し、既存の地域ブランドを活かしつつ「笛吹ブランド」を確立し、本市で生産されている農産物のPR活動を展開するとともに、「桃、ぶどう日本一の郷」を象徴できるような事業展開と農産物に付加価値をつけるため、加工品の開発に取り組みます。</p> <p>また、新たな特産品の発掘、開発、研究を進め、農産物のブランド化を推進します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桃の収穫量</td> <td>t</td> <td>18</td> <td>22,900</td> <td>22,900</td> <td>22,900</td> </tr> <tr> <td>ぶどうの収穫量</td> <td>t</td> <td>18</td> <td>14,400</td> <td>14,400</td> <td>14,400</td> </tr> <tr> <td>桃の海外出荷量</td> <td>t</td> <td>18</td> <td>70</td> <td>150</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table> <p>・消費宣伝箇所の開拓 ・関係機関等協議 ・消費宣伝の実施</p>	基本計画の指標	単位	基準				年度	24	25	26	桃の収穫量	t	18	22,900	22,900	22,900	ぶどうの収穫量	t	18	14,400	14,400	14,400	桃の海外出荷量	t	18	70	150	170
基本計画の指標	単位			基準																									
		年度	24	25	26																								
桃の収穫量	t	18	22,900	22,900	22,900																								
ぶどうの収穫量	t	18	14,400	14,400	14,400																								
桃の海外出荷量	t	18	70	150	170																								

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		645 千円	1,000 千円		1,000 千円
事業費計			645 千円	1,000 千円	1,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	企業立地推進助成金事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	活力ある地域経済づくり
	具体的な施策	優良企業の誘致

当該事業の概要	農用地との調整を図りながら、農工団地を活用した産業用地を確保し、企業立地促進助成に該当する優良な企業の誘致を進めます。また、市内において製造業等の立地事業を行う企業に対して助成することにより、企業立地を促進し、雇用機会の拡大を図り、就業環境の整備と地域経済の活性化を進めます。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	基準 年度	24	25	26
	農工団地入居企業数	企業	18	23	26	28
	平成20年5月29日変更した笛吹市農村地域工業団地等導入実施計画に基づき、製造業等の優良企業の誘致を進めます。					
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	
	優良企業誘致促進	誘致				
	企業決定、入居	入居				

財源	実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
	市 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般 財 源	千円	20,000 千円	20,000 千円	
事業費計		千円	20,000 千円	20,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	商工業活性化事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	活力ある地域経済づくり
	具体的な施策	中小企業の自立促進

当該事業の概要	<p>笛吹市の根幹を担う企業と行政が、現状の課題や理想のまちづくりについての情報を共有することで、市民に開かれた行政の実現と、企業と行政による協働のまちづくりを推進するとともに、企業相互の連携を促進することを目的に、企業との意見交換会を実施します。</p> <p>また、企業訪問等の実施により、企業の意見や要望等を施策に反映するとともに、笛吹市商工会等の関係機関と連携し、事業者の人材確保や雇用機会の拡大、人材育成、融資制度の運営等を行い商工業の振興を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>経済状況雅厳しい中、企業の事業継続と事業拡大を支援することにより、事業者の経営安定を図り、商工業の活性化につなげていきます。</p> <p>企業との意見交換を開催することにより、企業間の情報交換の場を設けます。 企業訪問の実施により、現状の課題や理想のまちづくりについて、意見・要望等を聴取し、施策に反映させます。</p>															
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意見交換会</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業訪問</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	意見交換会	●	●	●		企業訪問	←→	←→	←→	
手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考												
意見交換会	●	●	●													
企業訪問	←→	←→	←→													

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		235 千円	235 千円		235 千円
事業費計			235 千円	235 千円	235 千円		

総合計画実施計画

事業名	小規模企業者小口資金融資促進事業		
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり	
	施 策	活力ある地域経済づくり	
	具体的な施策	中小企業の自立促進	

当該事業の概要	<p>小規模企業者に対する小口資金融資促進のための利子補助を支援する事により小規模企業者の自立促進を図るとともに、商工業の振興に寄与する事業です。</p> <p><小規模企業者小口資金融資促進事業> 従業員20名以下(商業及びサービス業5名以下)の小規模企業者を対象とした限度額750万円の無担保無保証の融資制度で、保証金及び利子の補助金のほか、損失補償金、審査委員会経費、保証業務を行う信用保証協会の運営の補助を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">基本計画の指標</td> <td rowspan="2">単位</td> <td colspan="3">基準</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小口資金融資件数</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>広報紙等により、融資制度の周知をします。年4回の小口資金審査委員会を開催する中で融資関係書類を山梨県信用保証協会に提出するとともに、融資を受けた小規模企業者に1.5%を上限として利子補給を行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th colspan="4">平成24年度</th> <th colspan="4">平成25年度</th> <th colspan="4">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小口資金融資申請、決定</td> <td colspan="4">申請、決定</td> <td colspan="4">申請、決定</td> <td colspan="4">申請、決定</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">審査委員会開催</td> <td colspan="4">開催</td> <td colspan="4">開催</td> <td colspan="4">開催</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小口資金融資利子補給</td> <td colspan="4">利子補給</td> <td colspan="4">利子補給</td> <td colspan="4">利子補給</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>○</td> <td></td><td></td><td></td><td>○</td> <td></td><td></td><td></td><td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基本計画の指標	単位	基準			24	25	26	年度						小口資金融資件数	件	18	14	5	5	5	手段	平成24年度				平成25年度				平成26年度				備考	小口資金融資申請、決定	申請、決定				申請、決定				申請、決定					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	審査委員会開催	開催				開催				開催					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小口資金融資利子補給	利子補給				利子補給				利子補給								○				○				○
基本計画の指標	単位			基準			24	25	26																																																																																																									
		年度																																																																																																																
小口資金融資件数	件	18	14	5	5	5																																																																																																												
手段	平成24年度				平成25年度				平成26年度				備考																																																																																																					
小口資金融資申請、決定	申請、決定				申請、決定				申請、決定																																																																																																									
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																						
審査委員会開催	開催				開催				開催																																																																																																									
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																						
小口資金融資利子補給	利子補給				利子補給				利子補給																																																																																																									
				○				○				○																																																																																																						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		2,254 千円	2,254 千円		2,254 千円
事業費計			2,254 千円	2,254 千円	2,254 千円		

総合計画実施計画

事業名	中小企業者東北太平洋沖地震対策資金利子補給事業		
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり	
	施策	活力ある地域経済づくり	
	具体的な施策	中小企業の自立促進	

当該事業の概要	<p>平成23年3月の東日本大震災を受け、笛吹市内の中小企業者(中小企業基本法第2条に規定する中小企業者)を対象として、笛吹市商工会と協力し、融資資金に対する利子補給を行います。</p> <p>内容は、平成23年3月11日から平成23年9月30日までの間に実行された融資(笛吹市中小企業者緊急経済対策資金利子補給規程第4条に定める融資)に対し、支払った利子の50パーセントを限度に3年間利子補給をします。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>経済状況が厳しい中、中小企業者の事業継続と事業拡大のための融資に対し、補助を行うことにより事業者の経営安定を図るとともに「活力ある地域経済づくり」につなげていきます。</p>																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th colspan="4">平成24年度</th> <th colspan="4">平成25年度</th> <th colspan="4">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議・打合せ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業者の調査・周知</td> <td colspan="4">←————→</td> <td colspan="4">←————→</td> <td colspan="4">←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金交付</td> <td></td><td></td><td></td><td>●</td> <td></td><td></td><td></td><td>●</td> <td></td><td></td><td></td><td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度				平成25年度				平成26年度				備考	会議・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		事業者の調査・周知	←————→				←————→				←————→					補助金交付				●				●				●	
手段	平成24年度				平成25年度				平成26年度				備考																																												
会議・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																													
事業者の調査・周知	←————→				←————→				←————→																																																
補助金交付				●				●				●																																													

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国	県支出金	千円	千円		千円
		市	債	千円	千円		千円
		そ	の他	千円	千円		千円
		一	般財源	30,000 千円	30,000 千円		30,000 千円
事業費計		30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	シルバー人材センター負担金事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	安定した就業環境づくり
	具体的な施策	安定した就業への支援

当該事業の概要	<p>雇用就業機会の充実のため、健康で働く意欲のある高齢者に臨時的、短期的な就労の場を提供するシルバー人材センター事業を支援し、生きがいの充実、社会参加の促進を図ります。</p> <p>また、地域の特色を生かした就業の確保のため、農作業援農システムの積極的な取り組みや福祉、家事援助事業を推進するための支援を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">基本計画の指標</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">基準 年度</th> <th style="text-align: center;">24</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">シルバー人材センターへの登録者数</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">423</td> <td style="text-align: center;">467</td> <td style="text-align: center;">490</td> </tr> </tbody> </table> <p>高齢者の雇用就業機会の充実や地域の特色を生かした就業の確保などを推進するためシルバー人材センターを支援します。</p>	基本計画の指標	単位	基準 年度	24	25	26	シルバー人材センターへの登録者数	人	18	423	467	490
基本計画の指標	単位	基準 年度	24	25	26								
シルバー人材センターへの登録者数	人	18	423	467	490								

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		12,000 千円	12,000 千円		12,000 千円
事業費計			12,000 千円	12,000 千円	12,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	労働総務事務(就職ガイダンスの開催)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	安定した就業環境づくり
	具体的な施策	安定した就業への支援

当該事業の概要	<p>平成21年度から雇用対策の一環として、ハローワークと共催で笛吹市内の未就職者・就職希望者を対象に「笛吹市就職ガイダンス」を実施しています。</p> <p>社員・職員を募集している市内の企業と就職希望者を就職ガイダンスという形式で引き合わせ、就職活動・求人活動の一助とします。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>雇用情勢が非常に厳しい現在、市内に就職希望の新卒者・離職者に就職活動の機会を提供することにより、市内労働者数の増加が見込まれます。</p> <p>また、笛吹市内で就職ガイダンスを実施することにより、市内企業の人材確保を図ることもでき、地域と企業が一体となり、「安定した就業環境づくり」が期待できます。</p> <p>平成21年度から実施している「就職ガイダンス」は、市内企業や就職希望者からも大変好評を得ていることから、平成24年度も企業・就職希望者とも満足していただける就職ガイダンスを開催します。</p> <p>開催にあたっては、就職ガイダンスに参加していただいた、求職者及び参加企業のアンケート結果を取り入れて改善を行います。</p> <p>また、笛吹市内で就職ガイダンスを実施することにより、市内企業の人材確保を図ることもでき、地域と企業が一体となり、「安定した就業環境づくり」が期待できます。</p>																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th colspan="3">平成24年度</th> <th colspan="3">平成25年度</th> <th colspan="3">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議・打合せ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広報・企業訪問</td> <td colspan="3">←→</td> <td colspan="3">←→</td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガイダンス実施</td> <td></td><td></td><td>●</td> <td></td><td></td><td>●</td> <td></td><td></td><td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンケートの集計・検証</td> <td></td><td></td><td>←→</td> <td></td><td></td><td>←→</td> <td></td><td></td><td>←→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考	会議・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		広報・企業訪問	←→			←→			←→				ガイダンス実施			●			●			●		アンケートの集計・検証			←→			←→			←→	
手 段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考																																														
会議・打合せ	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																															
広報・企業訪問	←→			←→			←→																																																	
ガイダンス実施			●			●			●																																															
アンケートの集計・検証			←→			←→			←→																																															

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		689 千円	871 千円		871 千円
事業費計			689 千円	871 千円	871 千円		

第2節

環境にやさしく、 安心して健やかに 暮らせるまちづくり

安全・安心なまちづくり、自然環境と生活環境の調和のとれた快適に過ごせるまちづくり、保険や医療、福祉の連携などの各施策が有機的に結びつき、安心して健やかに暮らせるまちをつくります。

のばす Develop

やすらぎ つなぐ
Network

きらめきのある子ども達が育つ環境づくり、生涯学習活動や生涯スポーツ活動、文化の伝承や創造などの各施策につなげ、相乗効果を高めます。

支える
Assist

にぎわいと魅力ある産業や活力ある地域経済を支えます。

総合計画実施計画

事業名	防災体制整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	東日本大震災やこれまでの災害を教訓として、本市においても、地震や台風などの自然災害への対策をより一層強化・充実のための整備を進める。山梨県地域防災計画の見直しを受けて、本市においても地域防災計画の見直しを行います。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	○笛吹市地域防災計画の見直しを行います。															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手段</th> <th style="width: 25%;">平成24年度</th> <th style="width: 25%;">平成25年度</th> <th style="width: 25%;">平成26年度</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見直し作業</td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防災会議</td> <td style="text-align: center;">● ●</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	見直し作業	←→	←→			防災会議	● ●	●	●	
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考												
見直し作業	←→	←→														
防災会議	● ●	●	●													

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		7,778 千円	7,778 千円		7,778 千円
事業費計			7,778 千円	7,778 千円	7,778 千円		

総合計画実施計画

事業名	本庁舎耐震改修事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安心・安全のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>本庁舎北側部分は、昭和42年の建築で新耐震基準施行以前のため、平成21年度に耐震診断業務を行っていませんでしたが、目標とする耐震指標判定基準の50%程度の診断結果となりました。</p> <p>本庁舎は災害発生時には、災害対策本部を設置するなど拠点施設となるため、高い耐震性能が求められます。さらに、市民の皆様が安心、安全に来庁していただくため、耐震補強と合わせ電気・機械設備の改修、エレベーター設置等の工事を行いません。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <p>耐震指標判定基準Is値=0.75 (防災拠点建物は、一般建物Is値0.6×1.25以上) 災害時にも防災拠点として機能し、併せて来庁者の利便性の向上を目指します。</p> <p>(手段)</p> <p>耐震補強は、本庁舎の増築部分、屋上突起物の撤去、屋上防水保護コンクリート撤去改修による形状改善及び重量軽減、耐震フレーム・耐震壁の挿入により目標耐震指標値となります。</p> <p>(スケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇平成23年度より本庁舎の耐震補強改修設計(繰越事業) ◇平成24年度関連施設の整備 仮庁舎改修(春日居支所)、分室建築(観音寺前駐車場)、公用車駐車場用地購入(観音寺前) ◇平成25年度本庁舎の耐震補強及び改修工事
---------------------	---

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	156,800 千円	548,700 千円	千円	
		そ の 他	91,455 千円	89,450 千円	千円	
		一 般	千円	千円	千円	
		事業費計	248,255 千円	638,150 千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	火災予防啓発事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>火災予防運動等あらゆる機会をとらえて、市民に対し防火意識と防火対策の必要性を認識させ、火災予防の推進を図ります。</p> <p>また、住宅用火災警報器の設置を促進させ、急増している住宅火災による被害の軽減を図り、市民の生命、財産を守ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">年度</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">指標</td> <td style="border: none;">単位</td> <td style="border: none;">24</td> <td style="border: none;">25</td> <td style="border: none;">26</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">広報等による広報回数</td> <td style="border: none;">回</td> <td style="border: none;">10</td> <td style="border: none;">10</td> <td style="border: none;">10</td> </tr> </table>		年度				指標	単位	24	25	26	広報等による広報回数	回	10	10	10
	年度															
指標	単位	24	25	26												
広報等による広報回数	回	10	10	10												
	<p>広報ふえふき、笛吹市ホームページ等を活用し、火災予防や住宅用火災警報器の設置を呼びかけるとともに、住宅用火災警報器の設置促進用の、のぼり旗を事業所等へ配布します。</p> <p>また、火災予防運動中には、事業所あてに自衛消防訓練の実施を促す通知を発送したり、防災無線放送や大型物品販売店舗での店内放送を活用した広報活動を実施します。</p>															

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	713 千円	700 千円	700 千円	
	事業費計	713 千円	700 千円	700 千円		

総合計画実施計画

事業名	備蓄品整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	災害発生時における災害救急体制について、消防本部や警察署等関係機関と連携を図りながら万全を期するとともに、大規模地震災害時に備え、備蓄食糧を購入します。
	○備蓄食糧:アルファー米(10,000食)、長期保存(5年間)が可能であり、年次計画で備蓄していく必要があります。大規模災害に備え、緊急時の食糧を備蓄します。
	○備蓄毛布:予定枚数を備蓄済み。
	○備蓄トイレ(便袋):年次計画に基づき備蓄します。便袋は水を使わず、焼却可能な物で、避難所等の既存トイレ便器に被せて使用ができます。
	○避難所用発電機・灯光器:指定避難所35箇所に配備

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度		H24	H25	H26
	地域防災訓練参加延べ人数	人	23	11,697	12,500	13,000	13,500
	年度、目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目 標		
	備蓄品						
	食 料	56,000食	56,000食	56,000食	56,000食		
	毛 布	11,900枚	11,900枚	11,900枚	11,900枚		
	トイレ(便袋)	30,000枚	36,000枚	40,000枚	60,000枚		
	※備蓄食糧は賞味期限に基づき、年次ごとに入替をしていきます。						

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		市 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	千円	千円	千円		
		一 般 財 源	10,720 千円	3,600 千円	3,600 千円		
事業費計		10,720 千円	3,600 千円	3,600 千円			

総合計画実施計画

事業名	耐震性貯水槽施設整備事業(消防施設整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>水利事情の悪い地域や山林を背後に抱える地域の消防水利を確保するため、地域の要望により耐震性貯水の設置を計画し、整備していく事業です。</p> <p>地域要望を調査しながら、計画的に整備するとともに、耐震性貯水槽設備40トン2基以上の整備をすることにより、市民のかけがえのない生命、財産を守り、安全で安心な生活が営まれるよう整備を進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <p>耐震性貯水槽設置件数2基/年 6月～8月 設計 10月～2月 工事 H24年度～H26年度整備計画 H24年度は耐震性貯水槽3基を設置予定。 H25年度以降・・・地区要望に基づき、事業を実施していきます。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度、目標</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貯水槽 耐震性貯水槽 (40t)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	年度、目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標	貯水槽 耐震性貯水槽 (40t)	3	2	2	4
年度、目標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標							
貯水槽 耐震性貯水槽 (40t)	3	2	2	4							

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		11,781 千円	7,854 千円		7,854 千円
		市 債		13,800 千円	9,160 千円		9,160 千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		819 千円	486 千円		486 千円
	事 業 費 計		26,400 千円	17,500 千円	17,500 千円	消防防災施設整備費補助事業	

総合計画実施計画

事業名	消防団施設管理事業(消防施設整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>本市消防団詰所は91箇所ありますが、耐用年数をはるかに経過した建築物が多く、その更新を計画的に進めます。また、本市では115台(指揮車含む)の消防車両を保有していますが、年次計画に沿って整備を進めます。</p> <p>また、それぞれ年次計画に沿って事業を進めていきますが、消防団詰所、消防車両などは分団内部統合なども視野に入れながら整備を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>詰所・車庫整備 2棟/年 消防車両整備3台/年</p> <p>平成24年度整備計画 ○消防車両(3台) ○消防団員待機所(詰所)2棟(御坂分団1、八代分団1) 6月～8月 設計 10月～2月 建設</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	市 債	76,000 千円	76,000 千円	76,000 千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	4,200 千円	4,200 千円	4,200 千円	
		事業費計	80,200 千円	80,200 千円	80,200 千円	

総合計画実施計画

事業名	青色防犯パトロールカー事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>地域犯罪を未然に防止し、市民が快適に生活できるよう2台のパトロールカーが各2名のパトロール員の編成により巡回するとともに、犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めます。</p> <p>また、市内の環境美化を推進するため、市内の不法投棄防止のパトロールを実施し、ゴミのない美しい住みやすいまちづくりを進めます。</p> <p>平成23年7月から市内9箇所の環境放射能測定作業を実施する。</p> <p>○予算 人件費 6,064千円 燃料費 643千円 修繕費 400千円</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>青色安全パトロールカー2台により、週4日間(月・火・木・金)の巡回を計画しています。</p> <p>○不法投棄監視パトロール ・監視エリア:街路、中央道側道、山間部及び林道、河川、公共施設(公園含む) ・青色防犯パトロールによる不法投棄防止パトロール時間:午前8時30分～正午</p> <p>○青色防犯パトロール ・青色防犯パトロールは、教育委員会、警察署と連携を図り、防犯に努めます。 ・青色防犯パトロールによる防犯防止パトロール時間:午後1時～午後5時</p>																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">種別 地域</th> <th>不法投棄防止パトロール回数(午前)</th> <th>防犯防止パトロール回数(午後)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>石 和</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>御 坂</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>一 宮</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>八 代</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>境 川</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>春日居</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>芦 川</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>	種別 地域	不法投棄防止パトロール回数(午前)	防犯防止パトロール回数(午後)	計	石 和	2	4	6	御 坂	2	4	6	一 宮	2	4	6	八 代	2	4	6	境 川	2	3	5	春日居	2	3	5	芦 川	2	2	4
種別 地域	不法投棄防止パトロール回数(午前)	防犯防止パトロール回数(午後)	計																														
石 和	2	4	6																														
御 坂	2	4	6																														
一 宮	2	4	6																														
八 代	2	4	6																														
境 川	2	3	5																														
春日居	2	3	5																														
芦 川	2	2	4																														

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	7,107 千円	7,107 千円	7,107 千円	
事業費計		7,107 千円	7,107 千円	7,107 千円		

総合計画実施計画

事業名	通信施設管理事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>消防通信指令業務は、119番通報受付から出動指令、現場活動の支援情報提供、事案終了(事案処理)までのあらゆる業務において、迅速かつ的確に処理を行い、災害・被害の軽減、救命率の向上を図り、住民の安心と安全を支えるシステムです。</p> <p>このシステムを円滑に運用するため、通信指令施設・装置・機器(無線基地局、移動局、119番専用電話・一般回線電話・携帯電話・IP電話など)の保守点検及び管理・運用を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>【目標】</p> <p>無線基地局・移動局・携帯保守管理事業・専用電話・IP電話保守管理事業・携帯電話119保守管理事業・他通信司令室機器・施設・装置・点検を行い正常な機能を維持させ、業務の円滑な運用を図っていきます。</p> <p>【手段】</p> <p>関連機器を保守業者による定期点検及び毎日実施する無線通信試験等を実施し機能保持に努めます。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>関連機器を保守業者による定期点検は、6月と11月の年2回であり、施設の管理は年間を通じて行います。</p>
---------------------	---

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	7,719 千円	6,800 千円	6,800 千円	
		事業費計	7,719 千円	6,800 千円	6,800 千円	

総合計画実施計画

事業名	非常備消防支援事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>消防協会は消防団相互の連絡協調を目的に、防火思想の普及徹底、消防に関する研修及び調査研究、消防功労者の具申及び表彰、その他支部の運営に必要な事業を行います。</p> <p>さらに、消防協力は消防組織の充実を目指し、親睦を深め各関係機関と連携を密にし協力の輪を広げ常に研修会、見学会を通じて資質の向上を図るとともに、自己啓発に努めます。</p> <p>また、消防団員への各種訓練指導等を通じて、基礎消防技術及び災害対応能力のレベルアップを図り地域防災力の向上を目指します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>【目標】</p> <p>消防協会は、消防団相互の連絡協調事業、防火思想の普及徹底、消防に関する研修及び調査研究、消防功労者の具申及び表彰、その他支部の運営に必要な事業等の補助を行います。</p> <p>消防協力は、市民の安全・安心を確保するため常備消防と協力の輪を広げ常に資質の向上を図るための研修等を行います。</p> <p>【手段】</p> <p>定期的に消防団員への訓練指導及び合同訓練を実施するとともに、消防協会防火広報パレード・操法大会指導を通じて地域消防力を高めるため、団員の士気向上を図るとともに市民の安心安全の確保を行います。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>消防協会及び消防協力はともに年間を通じて事業等を実施していきます。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	284 千円	284 千円	284 千円	
		事業費計	284 千円	284 千円	284 千円	

総合計画実施計画

事業名	交通安全対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	防犯・交通安全対策

当該事業の概要	<p>高齢化の進行は、全国的な問題であり、65歳以上の高齢者が関与する交通事故が増加傾向にあります。</p> <p>高齢者の交通事故防止への取り組みとして、安全かつ安心して外出等ができるよう、交通安全教室を開催します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基 準</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者交通安全教室開催数</td> <td>回</td> <td>19</td> <td>36</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>高齢者参加実践型教室開催数</td> <td>回</td> <td>20</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>①社会福祉協議会等と連携して、高齢者の事故が居住地の近くで発生することが多いことから、地域の公民館等、又はふれあいサロンにおいて、交通安全教室の開催いたします。(年/60回)</p> <p>②身体機能の変化を認識してもらい、安全行動を実践するため、参加実践型(実技)高齢者交通安全教室を開催します。(年/4回)</p>	基本計画の指標	単位	基 準			24	25	26	年度						高齢者交通安全教室開催数	回	19	36	60	65	70	高齢者参加実践型教室開催数	回	20	2	4	5	6
基本計画の指標	単位			基 準			24	25	26																				
		年度																											
高齢者交通安全教室開催数	回	19	36	60	65	70																							
高齢者参加実践型教室開催数	回	20	2	4	5	6																							

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		892 千円	892 千円		892 千円
事 業 費 計			892 千円	892 千円	892 千円		

総合計画実施計画

事業名	救急隊研修事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	救急医療体制の整備

当該事業の概要	<p>現在、管内4隊の救急隊に対して、すべて高規格救急車とするとともに、常時救急救命士が搭乗できる体制を整えています。</p> <p>18人います救急救命士の資格取得者が、平成23年度に研修所に1人派遣しているため、平成24年4月には救急救命士が19人になる予定でしたが、平成24年度に救急救命士資格取得見込者が新採用となったため、従前計画より1人増員となりますので、平成24年度には救急救命士20人体制が整備されます。</p> <p>なお、9月から研修所に1人派遣するため合格見込者を含め21人となります。</p> <p>上記、体制整備によって各種研修及び実習出向時の補勤要員の充実が図れるなど、救急活動のさらなる発展が期待できます。</p> <p>また、救急救命士による通信指令室での口頭指導(テレフォンCPR)の充実など、効果的な救急救命士の運用を行うために、計画的に救急救命士を養成し、市民が安心・安全な生活を送ることができるよう努めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">指標</td> <td style="text-align: center;">単位</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">救急救命士数</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> </table>			年度			24	25	26	指標	単位				救急救命士数	人	21	21	21
				年度															
		24	25	26															
指標	単位																		
救急救命士数	人	21	21	21															
	<p>救急救命士の資格取得には、厚生労働省公認の救急救命研修所にて最低7カ月間の研修があり、年度末である3月に国家試験を受験、翌月4月が合格発表となります。</p> <p>また、資格取得後は3カ月間の就業前病院実習を行い必要な技術習得後現場復帰となりますが、資格取得後の技術維持向上等のため、生涯実習等の定期的な病院実習が義務づけられています。</p> <p>長期にわたる研修期間中、通常業務への影響を考慮し養成計画を立案するとともに、資格取得後の生涯実習及び各種研修出向時における補勤要員の確保を踏まえた計画を立案します。</p> <p>なお、21人体制が確保された後は、年齢及び役職を考慮し、資格者の中から順を追って救急実務を包括する立場として業務を行わせることで、以後、計画的に資格者の新規養成を進めていきます。</p>																		

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	3,571 千円	3,600 千円	3,600 千円	
	事業費計	3,571 千円	3,600 千円	3,600 千円		

総合計画実施計画

事業名	救急通信事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	救急医療体制の整備

当該事業の概要	<p>救急隊が現場へ到着する前に適切な応急手当が行なわれることが、傷病者の「救命率」向上に大きく作用することから、その場に居合わせた市民の一人ひとりが適切な「応急処置」ができるよう、応急手当の普及活動に努めます。併せて「自動対外式除細動器」通称AEDの普及並びに救急医療そのものの高度化も踏まえ、講習・指導に当たる職員の知識及び技能の向上に努めます。</p> <p>また、救急出動が増加傾向にある中、搬送患者の多くが軽症であることから救急車の適正利用の普及啓発にも取り組みます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">年度</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">指標</td> <td style="border: none;">単位</td> <td style="border: none;">24</td> <td style="border: none;">25</td> <td style="border: none;">26</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">応急手当講習会受講者(普通救命講習会)</td> <td style="border: none;">人</td> <td style="border: none;">3,300</td> <td style="border: none;">3,400</td> <td style="border: none;">3,500</td> </tr> </table>		年度				指標	単位	24	25	26	応急手当講習会受講者(普通救命講習会)	人	3,300	3,400	3,500
	年度															
指標	単位	24	25	26												
応急手当講習会受講者(普通救命講習会)	人	3,300	3,400	3,500												
	<p>年間を通して、計画的に応急手当講習会が開催できるよう管内各事業所、自主防災組織等の各種団体を中心に講習会開催の働きかけや広報活動を積極的に展開します。</p> <p>また、昨年度より継続して市関係部局と連携を密にし、各種イベントの中に「応急手当講習会」を取り入れてもらい事業効率を上げます。</p> <p>開催の目標値としては、市民を対象とした3時間の普通救命講習会と一般的な応急手当講習会を定期的に実施するほか、各種団体の要望に応じ、随時講習を開催します。</p>															

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	4,443 千円	3,500 千円	3,500 千円	
		一 般	2,140 千円	5,150 千円	5,150 千円	
	事業費計		6,583 千円	8,650 千円	8,650 千円	

総合計画実施計画

事業名	消防職員研修事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>災害現場においては高度な技術技能が必要とされ、安全安心での確な対応が求められます。この技術技能は常に変化し進歩しているため、消防職員は日頃からその情報の収集及び技術技能を修得するための研修、訓練を行っています。</p> <p>また、この事業のなかでは、消防活動に必要とされる各種資格の取得についても積極的に取り組み、更なる消防活動の向上を目指しています。</p> <p>このように、研修への参加や各種資格の取得に伴う手続き等の事務を行っています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>【目標】 消防職員の技術技能及び資質が向上されることにより消防力の強化が図られ、その結果、市民が安心して暮らせることにつながると考えます。</p> <p>【手段】 消防職員における一般教養、初任者研修、幹部候補者研修、消防長研修、大型車両運転免許・玉掛けクレーン操作技術等にかかる事務及び積極的な参加の促進、また研修等情報の提供などを行います。</p> <p>【スケジュール】 年間を通じて、業務に支障がでないよう十分に配慮し、研修等への参加を実施します。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	3,186 千円	3,200 千円	3,200 千円	
		事業費計	3,186 千円	3,200 千円	3,200 千円	

総合計画実施計画

事業名	浸水対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・笛吹川からの逆流による浸水を防止していきます。 ・地区内の雨水による浸水を防止していきます。

目標・手段・スケジュール	(目標) ・台風、ゲリラ豪雨時に起こる道路冠水や家屋の浸水などの被害を防ぎ道路利用者等の安全を確保していきます。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th></th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">境川町大坪地内浸水対策</td> <td>委託・用地・補償</td> <td>積算・工事・検査</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度		備考	境川町大坪地内浸水対策	委託・用地・補償	積算・工事・検査			←→	←→		
	手 段	平成24年度	平成25年度		備考										
境川町大坪地内浸水対策	委託・用地・補償	積算・工事・検査													
	←→	←→													

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	
市 債			133,000 千円	256,500 千円	千円
そ の 他			千円	千円	千円
一 般 財 源			7,000 千円	13,500 千円	千円
事 業 費 計			140,000 千円	270,000 千円	千円

総合計画実施計画

事業名	上水道総務事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>水道水の安定供給が図れるように、効率的な施設整備や水道施設の管理体制の強化に努め、サービス供給コストの節減合理化を図り、事業の効率的な運営を推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備計画により適切な建設投資を検討し実施します。 ・企業債の抑制を検討します。 ・料金の徴収体制を強化し、安定した経営の運営をします。 ・経営情報の公開と透明化を進めます。
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	
市 債	千円			千円	千円	
そ の 他	千円			千円	千円	
一 般 財 源	20,735 千円			20,708 千円	20,708 千円	
事業費計	20,735 千円		20,708 千円	20,708 千円		

総合計画実施計画

事業名	水道使用料徴収事業(水道・下水道温泉使用料徴収事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	・便利で暮らしやすい生活環境づくり ・快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>笛吹市水道事業給水条例及び笛吹市公共下水道使用料等徴収条例に基づき、水道使用者から水道使用料と下水道使用料金を徴収する事業です。</p> <p>下水道使用料金の算定は特別な場合を除くほかは水道の使用量を基に算定し、同時検針、同時調定及び同時徴収です。上下水道使用料金は、上水道事業及び下水道事業の企業債の償還金、維持管理費、施設建設等に充てます。</p> <p>本来は独立採算制を建前とするが現状は一般会計からの繰り入れに頼っています。公共サービスの対価に対する負担の公平性及び財源の確保を図り、新たな未収金を発生させないように努めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">基準</th> <th rowspan="2">24</th> <th rowspan="2">25</th> <th rowspan="2">26</th> </tr> <tr> <th colspan="2">年度(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度上水道使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>95.5</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>過年度上水道使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>19.5</td> <td>21.5</td> <td>21.5</td> <td>21.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">基準</th> <th rowspan="2">24</th> <th rowspan="2">25</th> <th rowspan="2">26</th> </tr> <tr> <th colspan="2">年度(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度下水道使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>95.5</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>過年度下水道使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>9.5</td> <td>9.7</td> <td>9.9</td> <td>10.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・毎週火曜日を給水停止執行日として収納率向上に努める。 ・給水停止件数：給水停止執行通知書毎月 60件～80件 当日停止件数 10件</p>	基本計画の指標	単位	基準		24	25	26	年度(見込み)		現年度上水道使用料金収納率	%	23	95.5	96.0	96.0	96.0	過年度上水道使用料金収納率	%	23	19.5	21.5	21.5	21.5	基本計画の指標	単位	基準		24	25	26	年度(見込み)		現年度下水道使用料金収納率	%	23	95.5	96.0	96.0	96.0	過年度下水道使用料金収納率	%	23	9.5	9.7	9.9	10.3
基本計画の指標	単位			基準					24	25	26																																				
		年度(見込み)																																													
現年度上水道使用料金収納率	%	23	95.5	96.0	96.0	96.0																																									
過年度上水道使用料金収納率	%	23	19.5	21.5	21.5	21.5																																									
基本計画の指標	単位	基準		24	25	26																																									
		年度(見込み)																																													
現年度下水道使用料金収納率	%	23	95.5	96.0	96.0	96.0																																									
過年度下水道使用料金収納率	%	23	9.5	9.7	9.9	10.3																																									

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		71,284 千円	70,710 千円		70,710 千円
事業費計		71,284 千円	70,710 千円	70,710 千円			

総合計画実施計画

事業名	使用料徴収事業(農業集落排水事業・簡易水道使用料金徴収事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	芦川町における、水道事業及び汚水処理施設の利用者から使用料金を徴収する事業です。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>◇農業集落排水事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">基準年度(見込み)</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> <tr> <th>23</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>99.0</td> <td>99.0</td> <td>99.0</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>過年度使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇簡易水道事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">基準年度(見込み)</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> <tr> <th>23</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>過年度使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>23</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table>	基本計画の指標	単位	基準年度(見込み)		24	25	26	23	23	24	25	26	現年度使用料金収納率	%	23	99.0	99.0	99.0	99.0	過年度使用料金収納率	%	23	1.9	1.9	1.9	1.9	基本計画の指標	単位	基準年度(見込み)		24	25	26	23	23	24	25	26	現年度使用料金収納率	%	23	98.0	98.0	98.0	98.0	過年度使用料金収納率	%	23	90.0	90.0	90.0	90.0
基本計画の指標	単位			基準年度(見込み)		24	25	26																																													
		23	23	24	25	26																																															
現年度使用料金収納率	%	23	99.0	99.0	99.0	99.0																																															
過年度使用料金収納率	%	23	1.9	1.9	1.9	1.9																																															
基本計画の指標	単位	基準年度(見込み)		24	25	26																																															
		23	23	24	25	26																																															
現年度使用料金収納率	%	23	98.0	98.0	98.0	98.0																																															
過年度使用料金収納率	%	23	90.0	90.0	90.0	90.0																																															

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		1,584 千円	1,500 千円		1,500 千円
事業費計			1,584 千円	1,500 千円	1,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	上水道第一次拡張事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>笛吹市水道事業基本計画に基づき、新たに確保した広瀬ダム用水を水源とする浄水場を建設し、併せて送水管を布設して、安全で安心な水道水の供給を目指します。</p> <p>御坂浄水場建設事業　平成22年度～平成25年度 御坂町下黒駒地内に8,090tの水を処理する浄水場を建設します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>平成23年度から進めている御坂浄水場建設の実施設計を完了して、平成24年度に建設工事に着手、継続事業として平成25年度完成を目指します。 併せて、送配水管の整備を進めます。</p>																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手段</th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> <th style="width: 20%;">平成25年度</th> <th style="width: 30%;">平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>御坂浄水場実施設計</td> <td style="text-align: center;">完成 →</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>御坂浄水場建設工事</td> <td style="text-align: center;">← 着工</td> <td style="text-align: center;">→ 完成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送配水管整備工事</td> <td style="text-align: center;">← 着工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">→ 完成</td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	御坂浄水場実施設計	完成 →			御坂浄水場建設工事	← 着工	→ 完成		送配水管整備工事	← 着工		→ 完成
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度														
御坂浄水場実施設計	完成 →																
御坂浄水場建設工事	← 着工	→ 完成															
送配水管整備工事	← 着工		→ 完成														

財源	実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	327,600 千円	327,600 千円	
	市 債	813,200 千円	764,600 千円	120,900 千円	
	そ の 他	813,200 千円	764,600 千円	120,900 千円	
	一 般 財 源	110 千円	15 千円	10 千円	
事業費計		1,954,110 千円	1,856,815 千円	241,810 千円	

総合計画実施計画

事業名	簡易水道事業総務事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>芦川町簡易水道事業の水道水の安定供給が図れるように、効率的な施設整備や水道施設の管理体制の強化に努め、サービス供給コストの節減合理化を図り、事業の効率的な運営を推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・料金の収入が300万円程度の為、一般会計からの繰り入れで運営しています。 ・経費の削減に努め、一般会計からの繰入金の削減に努めます。
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	2,001 千円	500 千円	500 千円	
	事業費計	2,001 千円	500 千円	500 千円		

総合計画実施計画

事業名	上水道配水管布設事業(上水道施設整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>配水管のうち更新の必要な石綿セメント管や老朽化した配水管があり、限られた水源のため漏水の削減や効率的な配水が必要になっています。このため水道配水管布設替えや新規布設を実施し、水道事業の維持管理の効率化を図り、安定した水道水を供給します。</p> <p>また、安全で安心な水道とするため、笛吹市上水道事業創設認可・基本計画に基づいた、旧町を結ぶ連絡管の整備を進めます。</p> <p>石綿セメント管布設替延長 L=3,000m 旧町間を結ぶ連絡管延長 L=2,000m</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>利用水量や送水流量の確認や漏水調査などにより、連絡管布設と石綿管布設替を行い、安定供給を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石綿セメント管3,000mを3カ年で布設替えをします。 ・旧町間の連絡管2,000mを2カ年で整備をします。
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	市 債	120,000 千円	120,000 千円	120,000 千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	15,000 千円	15,000 千円	15,000 千円	
		事業費計	135,000 千円	135,000 千円	135,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	道路・水路維持管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市道・水路の維持管理(トンネル、橋梁照明等設備)、修繕(安全施設、道路側溝)を行います。 ・道路管理者以外が行う工事の施工承認申請審査、検収を行います。 ・各区から提出のあった要望を、支所で取りまとめ、現地確認し、優先順位をつけ、本庁に報告します。本庁では、予算の範囲内で、緊急度や危険度を加味した上で事業の優先度を決定し、最適な工法を検討設計積算、適正な施工管理、検査し、引き受けます。本事業は、地区からの要望(道路新設・拡幅等)と、軽微な補修(舗装の穴埋め等)を対象としています。 ・市道橋の長寿命化修繕計画を策定し修繕計画にもとづき補修及び改修を行います。 ・水路の維持修繕、改修工事 ・河川のしゅんせつ
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 市道・水路の維持修繕を行い市民が安全で快適な市民生活が営まれる維持管理、修繕、改修を進めます。</p> <p>(手段) <ul style="list-style-type: none"> ・市道維持管理(トンネル、橋梁照明等設備)、修繕(安全施設、道路側溝) ・市道施工承認申請審査、検収 ・要望箇所現地確認、精査、協議 ・関係部局との調整、地元協議 ・地区要望箇所改修工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) ・緊急維持・舗装修繕業務(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) ・水路の維持修繕、改修工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) ・河川のしゅんせつ </p>
---------------------	--

財源	実施年度			補助事業名	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	50,050 千円	5,500 千円	27,500 千円	社会資本整備総合交付金
	市 債	38,300 千円	千円	千円	
	そ の 他	16,822 千円	千円	千円	
	一 般 財 源	368,245 千円	394,500 千円	422,500 千円	
事業費計	473,417 千円	400,000 千円	450,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	道路新設改良事業(合併特例事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>新設・改良市道の用地取得、改良工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)、工事施工に当たり関係部局との調整を行うとともに、地区要望箇所(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)の精査、協議を進めます。</p> <p>各地区から市道道路改良の要望を受け精査し事業計画を立て整備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事施工に当たり関係部局との調整 ・新設・改良市道の用地取得、改良工事 ・地区要望箇所の精査、協議 ・地区要望箇所工事
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	市道舗装率	%	23	90.0	90.2	90.5	91.0
	市道歩道設置率	%	23	3.8	4.0	4.2	4.5
	<p>市道の拡幅改良により安全かつ円滑に通行できるよう整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事施工に当たり関係部局との調整 ・新設・改良市道の用地取得、改良工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) ・地区要望箇所の精査、協議 ・地区要望箇所工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	449,100 千円	466,400 千円	309,700 千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	24,000 千円	24,600 千円	16,300 千円	
事業費計		473,100 千円	491,000 千円	326,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	道路境界線境界調査事業(用地管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	道路は、市民の行政財産として安全に安心して通行できるものでなければならないことにより、未登記の解消を実施するため、市町村合併以前に寄付行為又は原材料支給で道路拡幅された道路部分について未登記道路の現地調査を実施します。
	19年度において、建設部土木課及び産業観光部農林土木課と協働し、道路台帳及び航空写真と公図等の資料からのデータ収集が終了したので、20年度より旧町村単位で現地調査を行っています。

目標・手段・スケジュール	20年度春日居町、21年度一宮町、22年度御坂町、23年度八代町地区を実施、24年度には境川町地区、25年度は石和町・芦川町地区を実施する予定です。 現地調査 市内全体で約6,500箇所															
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>手段</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>現地調査</td> <td>調査</td> <td></td> <td>調査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	手段	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考	現地調査	調査		調査			
手段	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考									
現地調査	調査		調査													

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		8,190 千円	3,000 千円		千円
事業費計			8,190 千円	3,000 千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	下水道受益者負担金徴収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>笛吹市都市計画下水道事業・受益者負担に関する条例に基づき、受益者から負担金を徴収するものです。</p> <p>単年度の管渠布設路線に接する土地に応じて、土地面積から算出して受益者負担金を徴収するものであるため、賦課金額は年度によりばらつきが生じます。</p> <p>平成24年度より、施工した次の年に賦課する方法に切り換えます。</p> <p>平成22年度決算額では、111,359千円を徴収しており、平成23年度は67,000千円の収入を見込んでいます</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>施工年度の事業量により、受益者負担金徴収の賦課面積等が定まってきます。そのため、現在整備計画の見直しを図っている段階においての年度見込は立てにくいとため、平成24年度についてのみ、当初予算計上額を記載します。</p> <p>更に負担金の滞納に関しては、臨時徴収員を雇用して滞納を整理します。</p> <p>受益者負担金・歳入(平成24年度)</p> <p>現年度分: 62,000千円</p> <p>過年度分: 3,000千円</p> <p>以降、未定</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		19,768 千円	17,000 千円		17,000 千円
		一 般		千円	千円		千円
事業費計			19,768 千円	17,000 千円	17,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	公共下水道整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>下水道計画は、昭和52年に基本計画が策定され「峡東流域下水道計画」の関連公共下水道として計画が進められてきました。</p> <p>今現在の管吹市全体計画は3,299.2ha、事業認可面積は2,512.8haです。</p> <p>平成23年度末累計で約1,945 haの整備を完了し、普及率は59.0%を予定しています。</p> <p>現計画に於ける完了年次は平成32年度を予定していますが、計画書通りの事業を継続することは財政的に厳しいため、整備計画の見直しを図っております。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水道普及率</td> <td>%</td> <td>51.0</td> <td>59.4</td> <td>59.8</td> <td>60.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>本市の公共用水域に於ける汚濁は、依然として進みつつあり、水質保全や生活環境の改善などの対策としての生活排水を処理するために、市街地を中心に事業推進を図ってきています。</p> <p>さらに汚水処理人口普及率の向上を目指すため、公共下水道事業と併せて個人住宅の合併浄化槽の設置に対する一部補助がセットで推進できる汚水処理施設整備交付金事業を、平成23年から25年までの3年間において実施するものであります。</p>	基本計画の指標	単位	基準				18年度	24年度	25年度	26年度	下水道普及率	%	51.0	59.4	59.8	60.2
基本計画の指標	単位			基準													
		18年度	24年度	25年度	26年度												
下水道普及率	%	51.0	59.4	59.8	60.2												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		110,000 千円	130,000 千円		130,000 千円
		地 方 債		268,100 千円	365,500 千円	312,500 千円	
		そ の 他		50,742 千円	44,500 千円	97,500 千円	
		一 般		千円	千円	千円	社会資本整備総合交付金事業
	事業費計		428,842 千円	540,000 千円	540,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	下水道維持管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>公共下水道は、昭和54年度から整備が行われているため、既に30年を経過した老朽管もあります。平成23年度末の整備済み下水道管渠延長は約372kmとなる予定であり、早期に整備された地域では平成元年から供用開始となっています。</p> <p>施設維持を行っていくうえでは民間業者に管理を委託する必要もあり、また施設が異常時にシグナルを送る通報装置の維持費等も必要としています。</p> <p>(平成24年度単年施工延長 : 6km予定)</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>下水道管渠の布設は自然勾配により配管され、汚水はその管の中を流れ下っているため、地形により自然勾配の排水が出来ない場合などは、ポンプ等を設置して強制的に圧送している箇所があります。また、これらの下水道施設は定期的に点検、修理等の維持管理及び水質検査などを行っていて、機械対応をせざるを得ないマンホールポンプなどは、電気代などの経費を必要としています。</p> <p>計画的に下水道管の清掃作業や侵入水防止工事等を実施し、さらに下水道施設の状況を的確に把握し、快適・安全に下水道を利用できるように万全な維持を行っていきます。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	
地 方 債	千円			千円	千円	
そ の 他	34,120 千円			33,000 千円	33,000 千円	
一 般	千円			千円	千円	
事業費計			34,120 千円	33,000 千円	33,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	合併処理浄化槽設置促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、交付要綱で定める機能を有する浄化槽を整備します。 BOD除去率90%以上、放流水20mg/L(日間平均値)以下の国庫補助指針適合型合併処理浄化槽の整備を図ります。 当該事業は、平成24年度から3か年の計画を考えております。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>現在、本市を流れる河川においては水質汚濁が進んでおり、その主な原因は生活雑排水と考えられます。 その対策として、公共下水道の整備が進められていますが、公共下水道供用開始区域以外では、生活排水は未処理のまま排出されており、この対策が必要となっています。 生活排水を適正に処理し河川等の水質を改善することを基本方針とし、整備を進めます。 浄化槽の整備状況は平成23年度17基を予定しています。</p>
---------------------	--

財源	実施年度			補助事業名	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	4,378 千円	4,378 千円	4,378 千円	汚水処理施設整備 交付金 ※H23から年間17 基を予定
	地 方 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般	3,210 千円	2,210 千円	2,210 千円	
事業費計	7,588 千円	6,588 千円	6,588 千円		

総合計画実施計画

事業名	下水道加入促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>笛吹市下水道全体計画は3,299.2haであり、事業認可面積は2,512.8haです。そのうち平成23年度末で約1,945haの整備を終え、普及率は59.0%及び水洗化率は82.8%の予定となっています。</p> <p>水洗化を促進するための啓発用品・パンフレットの作成費用及び融資斡旋補助金・宅内工事補助金(御坂限定)の事業費が組まれています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普及啓発の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・未接続世帯を訪問し、接続依頼を行う。また、未接続の汚水ますの点検も併せて行う。 ・下水道事業の必要性・有益性の周知 ・地域の水環境保全のため、環境改善効果 ・浄化槽と比較した場合の、維持管理及び管理費用の優位性 ○既存制度の改善及び周知徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道工事資金の融資・斡旋などの周知徹底・内容改善策の検討 ○加入促進の突破口となる、新たな制度を創設できるよう先進事例を調査・研究するなかで検討する。
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
		地 方 債	千円	千円	千円
		そ の 他	1,710 千円	2,000 千円	2,000 千円
		一 般	千円	千円	千円
	事業費計		1,710 千円	2,000 千円	2,000 千円

総合計画実施計画

事業名	環境美化事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	公害対策と環境美化

当該事業の概要	<p>騒音、公害、悪臭等に対する環境保全対策の強化や環境意識の啓発等により、衛生的な生活環境の維持、向上を図るとともに、美化運動など市民と事業者と行政が一体となった取り組みを推進します。本事業は、アダプトプログラム他、各種団体のボランティア清掃活動などの地域美化活動協力事業に取り組めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アダプトプログラム登録者数</td> <td>人</td> <td>18</td> <td>520</td> <td>540</td> <td>550</td> <td>560</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・広報、ホームページによるアダプトプログラム活動団体及びボランティア活動団体の啓発・募集 ・地域住民やアパート、マンションの住民、及び事業者への環境美化の啓発と意識改革を推進する。(分別説明会時での啓発と広報・ホームページの活用) ・市内全域の地域美化活動推進 	基本計画の指標	単位	基準				18年度	24年度	25年度	26年度	アダプトプログラム登録者数	人	18	520	540	550	560
基本計画の指標	単位			基準														
		18年度	24年度	25年度	26年度													
アダプトプログラム登録者数	人	18	520	540	550	560												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
	市 債		千円	千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		261 千円	263 千円	265 千円	
	事 業 費 計		261 千円	263 千円	265 千円	

総合計画実施計画

事業名	ごみ減量化推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>ごみの減量推進を図ることを目的とします。</p> <p>特に可燃ごみの組成割合の高い生ごみを資源化(堆肥化)するため、家庭用生ごみ処理機等の購入者に対して補助金の交付、ボカシ製造団体に対し原材料費の購入助成、ダンボール箱で作る生ごみの堆肥化などを行い、可燃ごみの減量を推進して地球温暖化等の環境問題に対応します。</p> <p>また、バイオマスタウン構想に基づくバイオマスセンター建設に向け、生ごみの排出・収集体制づくりを進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系可燃ごみの減量率</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹協業組合と連携) ・廃棄物処理実績の把握 ・地区公民館等での分別説明会やアパート、マンションの住民、及び経営者への分別説明会の開催 ・市内大型店舗での分別推進キャンペーンの開催 ・ごみ減量協働プラン(アクションプラン)による、ごみ減量の推進 ・生ごみリサイクルの推進 ①生ごみ処理機等の購入補助制度及び家庭生ごみ堆肥化の推進 ②ぼかし製造団体への支援 ③ダンボール箱による堆肥づくりの推進 ④バイオマスセンターへの生ごみ収集運搬方法の検討 ⑤住民への啓発及び意識改革(広報・ホームページの活用) ⑥市内大型店舗でのコンテナ設置による資源物の回収推進 ⑦「ごみの分け方・出し方」DVDの活用による周知活動 	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	24	25	26												
生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		3,471 千円	3,471 千円		3,471 千円
事業費計			3,471 千円	3,471 千円	3,471 千円		

総合計画実施計画

事業名	資源物回収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>家庭より排出される、その他プラスチック、ガラスビン、ペットボトルなどの資源物を分別回収し、一時保管の後再商品化委託をおこないます。回収量に応じ、資源物回収団体に対して、リサイクル報償金を交付します。</p> <p>資源物をリサイクルし、循環型社会の構築を図り、もって地球環境の保全を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系可燃ごみの減量率</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹協業組合と連携) ・地域住民やアパート、マンションの住民、及び経営者への分別回収の啓発とリサイクルの意識改革を推進する。(分別説明会時での啓発と広報・ホームページの活用) ・資源物回収に伴うリサイクル報償金の交付 	基本計画の指標	単位	基準			18年度	24年度	25年度	26年度	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47
基本計画の指標	単位			基準													
		18年度	24年度	25年度	26年度												
生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名			
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円		
		市 債		千円	千円		千円		
		そ の 他	18,000	千円	17,800		千円	17,600	千円
		一 般 財 源	20,567	千円	20,267		千円	19,967	千円
事業費計		38,567	千円	38,067	千円	37,567	千円		

総合計画実施計画

事業名	ミックスペーパー・その他プラ回収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	可燃ごみに混入しているミックスペーパーとその他プラスチックを分別排出することで、可燃ごみの減量を行い、環境への負担の軽減と処理コストの低額を進めます。ミックスペーパー、その他プラスチックの回収を推進し、回収したミックスペーパー・その他プラスチックの活用状況についての説明を行い、理解を求めるとともに市民のリサイクル意識高揚を図り、循環型社会の構築をもって地球環境の保全を推進します。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系可燃ごみの減量率</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇ミックスペーパー・その他プラの分別排出の推進と可燃ごみの減量 ①排出場所や回収方法をチェックし、利便性を考えた分別排出を推進 ②排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹と連携) ③地区における分別説明会を継続的に開催する。主婦層を対象とした分別説明会の開催や、児童・生徒への環境教育を実施する。ミックスペーパー・その他プラスチックの回収後のリサイクル状況について、フローチャートを用い説明し、理解と協力を求めていく。 ④市内大型店舗における分別キャンペーンの開催 ⑤市内大型店舗における分別キャンペーン時の、ミックスペーパー・その他プラスチックの回収</p>	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	24	25	26												
生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		13,797 千円	14,112 千円		14,427 千円
事業費計			13,797 千円	14,112 千円	14,427 千円		

総合計画実施計画

事業名	ごみ収集事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>ごみ収集体系の整備や排出者の利便性を考慮した体制づくりを推進します。</p> <p>平成18年度から実施している生活系可燃ごみの減量は、目標の53%減量には至らず、29%にとどまりました。平成23年度からは、新たな、ごみ減量協働プラン(アクションプラン)により、生活系可燃ごみを53%減量する「やってみるじゃん53減量」をスローガンとし、継続して取り組むこととし、分別の徹底や発生・排出抑制に重点を置き、資源化(量・率)の向上を図り平成27年度までの5年間に生活系可燃ごみの減量化率53%を目指します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47
	<ul style="list-style-type: none"> ・排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹と連携) ・地域住民、アパート、マンションの住民及び経営者への分別説明会の開催を強化し、啓発と意識改革を促進する。(広報・ホームページの活用) ・地区環境委員との連携強化 ・バイオマスセンターへの生ごみ収集運搬方法検討 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	96 千円	262 千円	96 千円	
		一 般 財 源	208,561 千円	208,061 千円	207,561 千円	
	事 業 費 計	208,657 千円	208,323 千円	207,657 千円		

総合計画実施計画

事業名	ごみ処理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>笛吹市ごみ減量協働プランに基づき、今後さらに、ごみの発生抑制、再使用、再生利用を推進し「資源循環型社会」の構築に向け市民や事業者が自主的にごみの減量に取り組むことや、行政が率先してごみ減量を推進することが必要であり、またこの取り組みを実効するため、市民・事業者・行政が適切な役割分担とパートナーシップのもとにごみ減量を推進して行きます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系可燃ごみの減量率</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみリサイクルの推進(バイオマス構想との連携) ・地域住民、アパート、マンションの住民及び経営者への分別説明会の開催を強化し、啓発と意識改革を促進する。(広報・ホームページの活用) ・地区環境指導員との連携強化 	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	24	25	26												
生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	32	34	47											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名			
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円		
		市 債		千円	千円		千円		
		そ の 他	35,013	千円	35,013		千円	35,013	千円
		一 般 財 源	337,395	千円	336,395		千円	335,395	千円
事 業 費 計		372,408	千円	371,408	千円	370,408	千円		

総合計画実施計画

事業名	バイオディーゼル事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	温室効果ガスの削減

当該事業の概要	<p>市内の一般家庭や保育所・学校給食及びホテル・旅館等から排出される廃食油の収集を行い、廃食用油精製プラントによりBDF燃料として再生し、ごみ収集車や重機の燃料として使用することで循環型社会の形成と地球温暖化防止を図ります。</p> <p>また、収集量や精製量の増量を図るため、「BDF燃料は大気中の二酸化炭素を増加させない特性をもつ」ことを理解してもらえよう広報やホームページによる啓発活動を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイオディーゼル燃料製造量</td> <td>ℓ/年</td> <td>18</td> <td>1,400</td> <td>9,000</td> <td>9,300</td> <td>9,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>・BDF燃料の需要拡大の方策検討 ・廃食油回収事業者の拡大 ・各地区資源物収集場所での回収</p>	基本計画の指標	単位	基準			18年度	24年度	25年度	26年度	バイオディーゼル燃料製造量	ℓ/年	18	1,400	9,000	9,300	9,500
基本計画の指標	単位			基準													
		18年度	24年度	25年度	26年度												
バイオディーゼル燃料製造量	ℓ/年	18	1,400	9,000	9,300	9,500											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		810 千円	830 千円		850 千円
		一 般 財 源		1,118 千円	1,148 千円		1,178 千円
事業費計			1,928 千円	1,978 千円	2,028 千円		

総合計画実施計画

事業名	バイオマスセンター建設事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>笛吹市バイオマスタウン構想(平成19年度策定)におけるバイオマスセンターについては、笛吹市大型施設整備構想に位置づけられています。平成21年度において策定したバイオマスの変換技術、施設整備等に関する事業化計画に基づき、せん定枝や生ゴミ等の再生可能な有機資源の利活用を図るための基幹施設として、平成26年度の完成を目指してバイオマスセンター建設事業に取り組むものです。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	◇建設予定地関係地区等における説明会の開催
	◇用地測量等・各種事前協議手続き
	◇用地買収
	◇施設建設

手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
関係地区等説明会	開催 ←→			
用地測量等・各種事前協議手続き	各種手続き・測量等 ←→			
用地買収		買収 ←→		
施設建設			建設 ←→	

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		35,800 千円	332,500 千円		332,500 千円
		そ の 他		11,400 千円	千円		千円
		一 般 財 源		千円	17,500 千円		17,500 千円
事業費計			47,200 千円	350,000 千円	350,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	緑化推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	「森林環境の保全」

事業概要	<p>緑や森林に対する関心が高まる中で、緑をつくり、育て、守る意識を啓発するとともに、市民参加による緑づくりを行うことにより、森林の持つ多面的な機能とその大切さについて理解を深め、豊かな自然を未来に引き継ぐことを目的に平成19年度には笛吹市緑化推進会議と共催で第1回笛吹市植樹祭をおおむね200名の参加者のもと御坂町上黒駒で開催したことを皮切りに、平成23年度までに毎年会場を変え植樹祭を開催してきました。</p> <p>平成24年度には、県内各地の緑化団体や一般参加者及び市関係者200名ほどを招き、石和町松本の大蔵経寺山において、通算6回目となる笛吹市植樹祭を計画する。また、育樹、育林思想の高揚を図るため、峡東地区育樹祭と共催で隔年に笛吹市育樹祭を計画します。</p>

目標・手段・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林環境保全ボランティア団体数</td> <td>団体</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	森林環境保全ボランティア団体数	団体	19	1	1	1
	基本計画の指標			単位	基準											
年度		24	25		26											
森林環境保全ボランティア団体数	団体	19	1	1	1											
<p>平成24年度笛吹市植樹祭 主催：笛吹市緑化推進会議、笛吹市 開催場所：記念式典及び植樹運動（石和町松本 大蔵経寺山）約1.0ha 開催日時：平成24年4月27日 植栽本数：1,500本（山桜、ヤマモミジ等） 参加人数：200人 笛吹市育樹祭は峡東地区育樹祭と共催で行う。</p>																

財源	実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
市 債		千円	千円	千円	
そ の 他		117 千円	117 千円	117 千円	
一 般 財 源		270 千円	270 千円	270 千円	
事 業 費 計	387 千円	387 千円	387 千円		

総合計画実施計画

事業名	花のまちづくり推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	身近な自然環境の整備

当該事業の概要	<p>市内に点在する憩いの場、道路河川、公園、公共施設等への花木の植栽を進めます。また、その管理や育成を行うボランティア、NPO団体に対して花苗を配布し、植栽することにより花のある美しいまちづくりを推進します。</p>
----------------	---

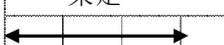
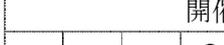
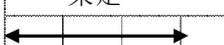
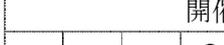
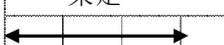
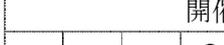
目標・手段・スケジュール	<p>市花のまちづくり花苗配布要綱に基づいて、予算の範囲内で、年間を通して管理育成ができる団体を決定して、花苗を配布し、周囲景観の美化等に努めていただき、憩いと癒しの空間を確保を進めます。また、市広報及び市のホームページ等を利用し、活動内容等を紹介します。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	
市 債	千円			千円	千円	
そ の 他	千円			千円	千円	
一 般 財 源	3,345 千円			3,345 千円	3,345 千円	
事業費計	3,345 千円		3,345 千円	3,345 千円		

総合計画実施計画

事業名	景観計画策定事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	身近な自然環境の整備

当該事業の概要	<p>笛吹市は、良好な景観の形成を図るため、山梨県知事の同意を受け、平成21年5月から県内12番目の景観行政団体になりました。農業と観光を標榜する笛吹市には、賑わい、自然、農村、眺望、歴史的・文化的など様々な景観があります。これらの景観を保全し、ふさわしい景観づくりと地域の特性を活かした景観形成を推進するため、景観計画を策定していくものであります。</p> <p>平成21年度～23年度事業</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○計画の調製と計画策定、公表 ○景観条例等の制定(景観審議会等の設置含む) ○市民への周知PR(地域審議会、パブリックコメント、広報・HP掲載) 																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">手段</th> <th style="width: 25%;">平成24年度</th> <th style="width: 25%;">平成25年度</th> <th style="width: 25%;">平成26年度</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民への説明会(地域審議会)等</td> <td> ●:議会説明 ○:パブリックコメント  </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形成方針・計画書策定</td> <td> 策定  </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>景観条例等の検討・制定</td> <td></td> <td> 開催  </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	市民への説明会(地域審議会)等	●:議会説明 ○:パブリックコメント 				形成方針・計画書策定	策定 				景観条例等の検討・制定		開催 		
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																	
市民への説明会(地域審議会)等	●:議会説明 ○:パブリックコメント 																				
形成方針・計画書策定	策定 																				
景観条例等の検討・制定		開催 																			

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
	市 債		千円	千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		3,700 千円	千円	千円	
	事業費計		3,700 千円	千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	八代ふるさと公園拡張整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	公園機能の充実

当該事業の概要	平成22年度から『八代ふるさと公園拡張整備事業』を進めており、みやさか道(第2広域農道)の全面開通に併せ、隣接する八代ふるさと公園を整備するものです。
	具体的には、駐車場やトイレ、遊具、遊歩道を増設しつつ、「岡・銚子塚古墳」周辺を整備するとともに、災害時の物資輸送中継点としての防災機能も充実させるものです。 平成22年度～平成25年度事業

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度: 測量、設計、事業説明会 平成23～24年度: 事業説明会、事業認定、用地取得 平成24～25年度: 造成及び基盤工事、植栽工事、遊具設置工事、舗装工事 																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>埋蔵文化財等調査</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地交渉</td> <td>←→→→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第1工区工事</td> <td></td> <td>←→→→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2工区工事</td> <td></td> <td></td> <td>←→→→</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	埋蔵文化財等調査	←→				用地交渉	←→→→				第1工区工事		←→→→			第2工区工事			←→→→						
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																										
	埋蔵文化財等調査	←→																													
	用地交渉	←→→→																													
	第1工区工事		←→→→																												
第2工区工事			←→→→																												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	110,000 千円	55,000 千円	
市		債	144,500 千円	42,750 千円	千円	
そ		の他	7,470 千円	千円	千円	
一		般財源	2,411 千円	2,250 千円	千円	
事		業費計	264,381 千円	100,000 千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	過疎対策事業 花・木植栽事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と、人々の集うまちづくり
	施 策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	交流機会の充実(魅力ある景観づくり)

当該事業の概要	モミジや芝桜等の苗木を町内に植栽し、兜造りの古民家や石垣造りの段々畑等の地域資源のさらなる魅力アップを図り、地域活性化に繋げるものです。将来的には街道として散策できるように整備をしていきます。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>花の苗(芝桜等)やモミジを地域内に定植し、魅力ある景観づくりを行ないます。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苗木植栽</td> <td>配布・植栽</td> <td>配布・植栽</td> <td>配布・植栽</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備 考	苗木植栽	配布・植栽	配布・植栽	配布・植栽			→	→	→	
手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備 考												
苗木植栽	配布・植栽	配布・植栽	配布・植栽													
	→	→	→													

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		2,500 千円	500 千円		500 千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		20 千円	千円		千円
	事業費計		2,520 千円	500 千円	500 千円		

総合計画実施計画

事業名	食育推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>国では平成17年「食育基本法」を制定。笛吹市においては市民との協働による「笛吹市健康増進計画」が策定され、そのなかに各世代ごとの「食」についての取り組みの方向性が示されました。平成20年度には、それを踏まえた「笛吹市食育実施計画」が策定され、関係部署と連携をはかり、平成21年度からは食育実施計画に基づいた食を通じた健康づくりを推進しています。</p> <p>乳幼児健診時の栄養指導、健診結果説明会、地区活動組織の養成と育成支援、介護予防事業での栄養教室、保育所・学校での食育、農産物直売所での地産地消の取組などの事業を実施推進することによって、市民が自らの健康に関心を持ち、生涯を通じて健康な生活が送れることをめざします。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>1.「笛吹市版食事バランスガイド」の普及啓発活動と笛吹の食材を使った料理の普及活動</p> <p>目標：「笛吹市版食事バランスガイド」を知っている市民の割合 50% (平成28年度)をめざします。</p> <p>手段：「笛吹市版食事バランスガイド」を全戸配布し、各種の健康教室や子ども料理教室など食育事業や食生活改善推進員の活動で活用方法を普及していく。</p> <p>レシピの広報への掲載、保育所や学校給食へのレシピ提供、商工会・旅館組合への普及など。</p> <p>スケジュール：4月～ 保育所や学校給食へのレシピ提供 広報レシピ掲載、イベントでの普及啓発活動 8月 子ども料理教室 9月 食生活改善推進員養成講習会 2月 すだちの教室(高校生)</p> <p>2.食育の日の推進</p> <p>目標：毎月19日の食育の日を推進し、家族と一緒に食事を食べる子供の割合100% 毎日朝食を食べる子供の割合100% (平成28年度)をめざします。</p> <p>手段：料理教室、食育関係事業、市内公共施設で「食育の日」のティッシュ配布。 広報への掲載、料理教室や食育講座で啓発</p> <p>スケジュール：6月歯の祭典、広報掲載、8月子ども料理教室、9月～食生活改善推進員地区活動での普及</p>
---------------------	---

財源	実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	市 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般 財 源	537 千円	540 千円	540 千円	
	事業費計	537 千円	540 千円	540 千円	

総合計画実施計画

事業名	特定健康診査等事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病を引き起こす大きな要因が内臓脂肪の蓄積であることが明らかになり、男女とも40歳を境に内臓脂肪型症候群が増加していることから、国の医療制度改革により40歳から74歳の被保険者を対象とした「特定健診・特定保健指導」が各保険者に義務付けられました。</p> <p>○特定健診内容 ①質問表 ②身体測定 ③理化学検査 ④血圧測定 ⑤検尿 ⑥血糖検査 ⑦血清尿酸、クレアチニン検査</p> <p>○特定保健指導 メタボリックシンドロームの危険性のある方を健診によって抽出し、健康生活を送るための食事、運動、禁煙等、生活習慣の改善に役立つ情報や支援を行います。</p> <p>①動機付け支援(リスクが出現し始めた段階) ②積極的支援(リスクが重なりだした段階) ③情報提供(健診受診者全員)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査受診率</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table> <p>笛吹市国民健康保険における、40～74歳の被保険者数・・・16,000人</p> <p>○特定健康診査受診率 ○特定保健指導実施率(指導対象者の45%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別健診の実施(市内22ヶ所:市外4ヶ所) ・特定健診の実施 ・特定保健指導の実施 ・健康づくり課との連絡調整 ・次年度健診希望事前調査の実施 ・未受診者対策の実施 		平成24年度	特定健康診査受診率	65%	特定保健指導実施率	45%
	平成24年度						
特定健康診査受診率	65%						
特定保健指導実施率	45%						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	29,056 千円	25,000 千円	
	市	債	千円	千円	千円	
	そ	の	4,301 千円	4,500 千円	5,000 千円	
	一	般	18,303 千円	23,500 千円	24,000 千円	
事業費計			51,660 千円	53,000 千円	55,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	がん検診事業(女性特有のがん検診推進事業、働く世代の大腸がん検診推進事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>健康増進法に基づくがん検診を実施し、がんの早期発見、健康の保持及び増進を図ります。がん検診受診率50%を目標に、特に女性特有のがん(子宮がん、乳がん)については、検診受診率が低いことから、「がん検診無料クーポン」を配布します。</p> <p>「子宮頸がん」20歳、25歳、30歳、35歳、40歳は無料クーポン、それ以外は、自己負担1,000円です。</p> <p>「乳がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳は無料クーポン、それ以外は、集団は500円、医療機関では検査料から3,500円を引いた額が自己負担です。</p> <p>「大腸がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳は無料クーポン、それ以外は、集団は200円、医療機関では検査料から1,610円引いた額が自己負担です。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>がん検診無料クーポン 平成24年度対象者</p> <table border="0"> <tr> <td>「子宮頸がん」20歳、25歳、30歳、35歳、40歳</td> <td>2,077人</td> </tr> <tr> <td>「乳がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳</td> <td>2,402人</td> </tr> <tr> <td>「大腸がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳</td> <td>4,795人</td> </tr> </table> <p>(目標) 子宮頸がん、乳がん検診、大腸がんの受診率を50%以上にします。</p> <p>(手段) 1、検診希望調査を全戸に通知し検診の希望をとります。 2、対象者に「がん検診無料クーポン」「検診手帳」を発送します。 3、随時希望者には、受診券を発行します。 4、広報、ホームページ等により本事業を周知します。</p> <p>(スケジュール) 2月希望調査、「無料クーポン券」、「検診手帳」を発送します。</p>	「子宮頸がん」20歳、25歳、30歳、35歳、40歳	2,077人	「乳がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳	2,402人	「大腸がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳	4,795人
「子宮頸がん」20歳、25歳、30歳、35歳、40歳	2,077人						
「乳がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳	2,402人						
「大腸がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳	4,795人						

財源	実施年度			補助事業名	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	8,445 千円	8,400 千円	8,400 千円	がん検診推進事業
	市 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般 財 源	101,394 千円	101,600 千円	101,600 千円	
	事 業 費 計	109,839 千円	110,000 千円	110,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	温泉活用健康づくり事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>市内の温泉を活用した健康増進事業を行い、市民が健康と生きがいを持つ活力ある街づくりをめざすため、平成18年度から概ね40歳以上を対象に市内の公営温泉施設と健康増進施設を利用し、約3ヶ月の期間内に、温泉の入り方、運動、食事、こころの健康など健康に関する実技や講義を組み入れ実施しました。平成20年度からは、産後6ヵ月以上経過している産婦を対象にした講座も開始しました。</p> <p>平成24年度 5講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 温泉を活用した健康づくりをしたい市民 ・講師 水中運動指導士、健康運動指導士、社会体育指導員、保健師、栄養士他 ・実施回数 産後ママの骨盤エクササイズコース2クール、クアロビクスコース2クール、健康増進コース1クール ・会場 産後ママの骨盤エクササイズコース:公営温泉施設なごみの湯、健康増進コース:石和保健福祉センター、クアロビクスコース:健康増進施設クアハウス石和 ・内容 温泉と健康、バランスのよい食事、こころの健康づくり等の講話と有酸素運動を組み合わせた講座を1クール5回～8回実施。クアロビクスコースと健康増進コースの希望者には、講座開始時と終了時血液検査を行い血中脂質、血糖などの状態について説明します。産後ママの骨盤エクササイズコースでは講座の間、託児を行い受講者は温泉に入浴して帰ることができます。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	①目標 市内の温泉施設等を利用し体力の保持増進、生活習慣病予防、骨格系疾患の予防、女性特有の疾患の理解と予防、心の健康づくり等をめざします。
	②手段 広報、ポスターの掲示等による募集を行います。
	③講座の種類とスケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進コース (10月～12月、1月～3月) ・クアロビクスコース (10月～12月、1月～3月) ・産後ママの骨盤エクササイズコース (10月～12月、1月～3月)

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国	県支出金	千円	千円		千円
		市	債	千円	千円		千円
		そ	の他	390 千円	390 千円		390 千円
		一	般財源	2,077 千円	2,100 千円		2,100 千円
事業費計		2,467 千円	2,490 千円	2,490 千円			

総合計画実施計画

事業名	シルバー体操指導員養成事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>高齢者を対象に、シルバー体操指導員を養成し、高齢者に体操指導をすることにより、市民の健康増進を図ります。平成18年度から自らの健康づくりを目的とした、概ね60歳以上の方々を対象とし、シルバー体操指導員の養成を開始しました。平成23年度現在、127名がシルバー体操指導員養成講座を修了し、終了期ごとに5つ、町単位で1つの自主活動グループを立ち上げ、各地域において活動しています。</p>	
	<p>①対象者 概ね60歳以上の健康な市民 ②講師 健康運動指導士 ③内容 初級・・運動生理と実技講習(基礎)・・・12回 実施 中級・・運動生理と実技講習(応用Ⅰ)・・・12回 実施 上級・・運動生理と実技講習(応用Ⅱ)・・・12回 実施 講座終了後、スキルアップ研修会(先進地視察、普通救急講習会、交流会運動の実技)の開催 ④地域活動の実践 初級者に対しては自主活動グループづくりの支援 中・上級者に対しては地域活動実践上のアドバイス及び報告会の開催</p>	

目標・手段・スケジュール	(目標)	
	<p>平成23年度から平成25年度にかけ指導員60人を養成します。 シルバー体操指導員の運動習慣の継続、地域活動の実践を目指します。</p>	
	(手段)	
	<p>広報等による募集 シルバー体操指導員初級養成講座 12回 シルバー体操指導員中級養成講座 12回 シルバー体操指導員上級養成講座 12回 シルバー体操指導員スキルアップ研修会 3回</p>	
<p>シルバー体操指導員養成講座の講義及び運動実技を健康運動指導士を有する事業所に委託します。講座は、初級、中級、上級養成講座を設定し、各級の修了証を交付し上位講座の受講資格ができます。</p>		
(スケジュール)		
<p>中級・上級養成講座 4月～12月 初級養成講座 9月～12月 スキルアップ研修会 5月、9月、1月</p>		

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		2,034 千円	2,050 千円		2,050 千円
事業費計			2,034 千円	2,050 千円	2,050 千円		

総合計画実施計画

事業名	歯周疾患検診事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	健康を支援する環境づくりの推進

当該事業の概要	<p>歯周疾患は、歯を失う原因の第1位であり、歯を失うことによる心身への影響が大きいばかりでなく、肺炎、動脈硬化や糖尿病、心筋梗塞などの全身の病気と関連性もあることから、早期発見・早期治療が必要となります。</p> <p>そこで、歯周疾患健診を拡充して実施し、定期的に検診を受けることやセルフケアの意識付けの機会に結びつける。</p> <p>対象者：20.25.30.35.40.45.50.55.60.65.70才の市民 実施時期：6月～12月 実施機関：山梨県歯科医師会に加入している医療機関 自己負担金を無くし、全額公費負担とする。</p>
	<p>(目標) 歯周疾患検診受診者を500人にする。</p> <p>(手段) 無料クーポン方式で実施。 山梨県歯科医師会に加入している医療機関において検診を受ける。</p> <p>(スケジュール) 1. 対象者抽出 2. 受診勧奨通知及び無料クーポン券発送 3. 未受診者勧奨通知</p>

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 歯周疾患検診受診者を500人にする。</p> <p>(手段) 無料クーポン方式で実施。 山梨県歯科医師会に加入している医療機関において検診を受ける。</p> <p>(スケジュール) 1. 対象者抽出 2. 受診勧奨通知及び無料クーポン券発送 3. 未受診者勧奨通知</p>

財源	実施年度			補助事業名	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	1,408 千円	1,400 千円	1,400 千円	健康増進事業
	市 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般 財 源	956 千円	1,000 千円	1,000 千円	
	事業費計	2,364 千円	2,400 千円	2,400 千円	

総合計画実施計画

事業名	保育所運営事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	安心してあずけられる保育

当該事業の概要	<p>児童福祉法並びに保育所ビジョンに基づき、公立保育所14施設および市内私立保育園10施設で保育所の事業及び運営を進めます。延長保育は、保護者のニーズに応えながら19か所の保育所で実施が可能となることを目標とするとともに、一時預かり事業についても利用者の利便性を考慮し市内への適正な配置を図ります。</p> <p>公立保育所への指定管理者制度導入については、保護者等に十分な説明を行い、導入を進めます。また、安心安全な保育環境づくりのため、公立保育所の施設整備や私立保育所の施設整備に対する支援も行ないます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	一時預かり保育利用児童数(月間)	人	19	20	160	170	180
	<ul style="list-style-type: none"> ○平成24年度 特別保育実施施設数 <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育(公立10か所・私立5か所) ・一時預かり事業(公立3か所・私立1か所) ○私立保育所施設整備事業 						

手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
延長保育・一時預かり事業	実施			
指定管理者制度説明会	導入 開催	導入 開催	導入 開催	
保育所ビジョンの展開	実施			

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		341,581 千円	341,581 千円	
	市 債		117,800 千円	119,200 千円	千円	
	そ の 他		498,596 千円	498,596 千円	498,596 千円	
	一 般 財 源		1,065,924 千円	1,090,900 千円	1,090,900 千円	
	事業費計		2,023,901 千円	2,050,277 千円	1,931,077 千円	

総合計画実施計画

事業名	石和第五保育所建設事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	安心してあずけられる保育

当該事業の概要	<p>石和温泉駅周辺整備事業にあたり、現在の石和第五保育所がある土地をロータリーとして整備するため、施設の移転建設を行います。施設建設にあたっては、未満児保育や延長保育、一時預かり事業、病児・病後児保育などの特別保育、また子育て支援センターなど保護者のニーズに対応できる施設を目指します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>○平成24年9月の完成を目指し、次のとおり事業を実施する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事管理</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建 設</td> <td>←→ 工事 開園</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	工事管理	←→				建 設	←→ 工事 開園			
手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考												
工事管理	←→															
建 設	←→ 工事 開園															

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		250 千円	千円		千円
事業費計			250 千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	地域子育て支援センター事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>核家族化の進行や共働き世帯が増加する中、少子化対策として子育て支援の充実が求められています。安心して子育てができるまちづくりをめざして、子育て家庭に対する相談・支援を強化するとともに、児童の健全育成を推進するため、地域における子育て支援の拠点施設として、子育て支援センターの充実を図ります。</p> <p>子育て支援センターは、親子が気軽に利用できるセンターとして専任職員を2名配置し、0歳児から就学前の子ども達を対象に、親子の交流の場や相談業務(電話・面接)、子育てサークルへの支援、情報の提供、子育て講座などを開催します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
	単位	年度	24	25	26		
	地域子育て支援施設数	数	19	2	4	4	4
	<p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域子育て支援センターを効率的な運営 ・専門職員の資質の向上 ・子育て相談の強化 ・地域イベントの開催 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	14,331 千円	14,331 千円	14,331 千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	14,471 千円	14,471 千円	14,471 千円	
	事業費計	28,802 千円	28,802 千円	28,802 千円	子育て支援交付金	

総合計画実施計画

事業名	地域ぐるみ子育て支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>地域における子育て親子の交流等を促進するための子育て支援事業(イベント)を開催します。子どもと親のふれあう楽しい時間を通して子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ち、児童の健全育成を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) ・移動動物園の開催/対象:子育て親子200組</p> <p>(手段) ・子どもと親のふれあう楽しい時間、機会をつくる事また地域における子育て親子の交流を促進するための子育て支援事業(移動動物園)を関係機関や地域の子育て団体と協働し実施する。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	417 千円	417 千円	417 千円	
	事業費計	417 千円	417 千円	417 千円		

総合計画実施計画

事業名	ファミリーサポートセンター事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てできるように育児の手助けをして欲しい方(依頼会員)と育児のお手伝いをしていただける方(協力会員)が会員に登録し、互いに助け合いながら育児の援助活動を地域において会員組織で事業を展開しています。平成19年4月から「笛吹市ファミリーサポートセンター」を開設し笛吹市ふれあいの家内で実施している。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	24	25	26
	ファミリーサポートセンター登録会員数	人	19	75	350	360
	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サポーター養成講座、交流会の開催(年/4回) ・事業のPRを進め、会員登録数と利用者の増加を図ります。 <p>(手段)</p> <p>一時的、緊急的に子どもの送迎、預かり等を必要とする家庭へ会員組織の相互援助によるサポート体制の強化・充実を図り、ネットワーク作りと安心して子育てできる環境を整えます。</p>					

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	2,673 千円	2,673 千円	2,673 千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	4,173 千円	4,173 千円	4,173 千円	
事 業 費 計	6,846 千円	6,846 千円	6,846 千円			

総合計画実施計画

事業名	放課後児童健全育成事業(放課後の子どもの居場所づくり)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>次世代育成支援行動計画書に基づき『放課後児童健全育成事業』として、小学校1年生～3年生を対象にした学童保育事業を市内17ヵ所の公共施設や小学校の空教室等を利用して運営をしています。</p> <p>今後は、放課後における児童の安心安全な居場所の拡充を図るために「放課後対策事業検討委員会(仮称)」を設置し、学童保育室事業のみでなく、放課後子ども教室事業並びに児童館運営事業を含める中、放課後における子どもの居場所づくりについて検討を進めてまいります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会の設置 5回開催 ・学童指導員の研修 2回開催 <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童の健康管理、安心・安全な運営を図る。 学童保育室17教室運営 定員844名 ・学童指導員の研修 学童指導員45名の資質向上を図る。 ・仮称 放課後対策事業検討委員会の設置 放課後の子どもの居場所づくりを検討するため
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	21,660 千円	21,660 千円	21,660 千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	放課後児童健全育成事業
		そ の 他	12,223 千円	12,223 千円	12,223 千円	
		一 般 財 源	35,199 千円	35,199 千円	35,199 千円	
		事 業 費 計	69,082 千円	69,082 千円	69,082 千円	

総合計画実施計画

事業名	妊婦一般健康診査(妊婦・乳幼児委託健診事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	妊産婦への支援

当該事業の概要	<p>健診費用の公費助成することにより、妊娠・出産にかかる経済的不安を軽減し、少子化解消の一助にします。妊娠初期から出産まで、安全に過ごし、健全な出産・育児ができるよう、健康管理に適した時期に医療受診し、妊娠期の母と子の健康保持・異常の早期発見をします。</p> <p>妊娠中、国が示した望ましいとされる健診数14回分の費用を助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠者の定期受診が必要とされている時期 妊娠初期より妊娠23週(6ヶ月前):4週に1回 妊娠24週(7ヶ月)～妊娠35週(9ヶ月):2週に1回 妊娠36週以上(10ヶ月)～分娩まで:1週間に1回 ・平成23年4月より、HTLV-1およびクラミジア検査の追加
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>妊娠届出 毎年 700人程度が見込まれます。</p> <p>(目標)</p> <p>1・妊婦は国で示された必要な定期健診回数14回を全員が受けられるようにします。 2・転入妊婦及び里帰り分娩者も漏れなく利用できるようにします。</p> <p>(手段)</p> <p>1・妊娠届出時に保健師が健康相談を受けながら母子手帳発行と同時に定期受診の勧奨をします。 2・転入時に市のサービスが受けられるよう戸籍住民課窓口と連携します。 3・里帰り分娩でも利用できるようにします。 4・広報・母子愛育会などで制度の周知を図ります。</p> <p>(スケジュール)</p> <p>妊娠届出時より随時</p>
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名	
	国	県	支出金		
財源内訳	国	17,463	千円	妊婦健康診査支援事業	
	県		千円		
	その他		千円		
	一般財源	45,353	千円		
事業費計	62,816	千円	63,000	千円	

総合計画実施計画

事業名	不妊治療費支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	妊産婦への支援

当該事業の概要	<p>夫婦の10～15%が不妊であると言われ、誰もが安心して子どもを生むことができる環境づくりを進め、子どもに恵まれない夫婦に対して不妊治療の支援をすることにより、少子化対策の一翼を担います。本事業は平成19年度より事業が開始され、少子化の解消を推進していきます。</p> <p>補助金の交付額は、不妊治療に要した医療費の自己負担額(医療保険各法又は他の制度による療養費の給付を受けた場合は、その受けた額を控除した額)の1/2を乗じた額とし、10万円を限度とします。また、年度当たり2回を限度として、通算5年間助成を受けることができます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 少子化対策に対応するため、本事業の啓発を図るとともに、毎年度30組の活用を目標とします。</p> <p>(手段) ・広報紙・ホームページ等により本事業の周知をします。</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国	県支出金	千円	千円		千円
		市	債	千円	千円		千円
		そ	の他	千円	千円		千円
		一	般財源	6,000 千円	6,000 千円		6,000 千円
事業費計		6,000 千円	6,000 千円	6,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	マタニティ・スクール事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子育て情報の共有

当該事業の概要	<p>安心して生み育てられる環境づくりとして、妊婦及びその夫に対し、出産・育児に関する正しい知識の普及により、育児不安を軽減し、夫婦そろって協力して育児に臨むところを育てます。</p> <p>少子化・核家族化が進む中、赤ちゃんを1度も抱いたことが無い母親が、初めての出産後、心身ともに不安定になることも多く、母親とともに育児に向かい合い支える父親の役割が重要になっています。</p> <p>近年、母親学級の受講者からも両親学級の開催希望が多く聞かれるようになりました。</p> <p>このため、平成22年度に、育児不安の軽減と夫婦で協力して育児ができることを目指して、土曜日・日曜日にパパママスクールを開催しました。その結果、参加希望者も多く、参加者からも好評だったため、23年度は、母親学級を見直し、『マタニティスクール』『1.パパといっしょに楽しい育児』『2.歯の健康』『3.お産の経過と体の準備』の3回1コースを年6回実施することになりました。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>妊娠届出が毎年700人見込まれ、そのうち、初産が約300人見込まれます。</p> <p>(目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 正しい知識を普及することにより、育児不安を軽減できます。 夫婦で学級を受講することにより、協力して育児ができます。 参加者同士の交流の場とします。 <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出産予定日で区切り、安定期の妊婦とその夫に案内通知を発送します。 夫婦ともに参加しやすいよう、土曜日に日程を調整・企画しました。 <p>(スケジュール)</p> <p>4月～3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 「パパといっしょに楽しい育児」 「歯と健康」 「お産の経過と体の準備」
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
		市 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般 財 源	50 千円	50 千円	50 千円
	事業費計		50 千円	50 千円	50 千円

総合計画実施計画

事業名	子どもの予防接種事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	任意の予防接種のうち、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3つのワクチンの接種費用を、公費負担します。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん(中1) 接種率70% ・ヒブ 接種率80% ・小児用肺炎球菌 接種率80% <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん 3回接種 ・ヒブ 1～4回接種 ・小児用肺炎球菌 1～4回接種
---------------------	---

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	34,293 千円	30,000 千円	30,000 千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	子宮頸がん等ワクチン接種促進事業
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	172,630 千円	150,000 千円	150,000 千円	
		事 業 費 計	206,923 千円	180,000 千円	180,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	子どもすこやか医療費助成事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>子どもの健康増進、疾病の早期発見及び早期治療を促進するとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るために子供の保険診療に係わる一部負担金を助成する。助成対象年齢を小学校就学前から小学校6年生(12歳到達する以後の最初の3月31日)までに拡大して子どものすこやかな成長を支援している。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
	単位	年度	24	25	26	
	助成件数	件	22	105,000	100,000	100,000
	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受給者数 7,200人 ・助成件数 100,000件 <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者に受給者証を交付し保険診療に係わる一部負担金を助成 					

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	59,588 千円	59,588 千円	
市		債	千円	千円	千円	
そ		の他	千円	千円	千円	
一		般財源	195,643 千円	195,643 千円	195,643 千円	
	事業費計		255,231 千円	255,231 千円	255,231 千円	

総合計画実施計画

事業名	二次予防事業対象者把握事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	<p>要介護者・要支援者を除く65歳以上の高齢者で、基本チェックリストによる生活機能等に関する調査を実施し、生活機能の低下により要介護状態等となるおそれの高い状態にあると認められる人を二次予防事業の対象者として把握を行います。なお、この調査は3年に1度悉皆で行う予定で、平成23年度に実施しました。24・25年度は新たに65歳となる人、転入者等を対象におこないます。把握された高齢者は次回の調査まで二次予防事業の対象者となり、市で行なっている介護予防事業への勧奨を行いません。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次予防事業の対象者把握事業(基本チェックリストによる)
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	二次予防事業の対象者把握数	人	18	178	3,962	3,762	5,295
	<p>(目標)</p> <p>○二次予防事業の対象者の把握数 年間 3,962人</p> <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護者・要支援者を除く65歳以上の高齢者に生活機能調査を郵送方式により実施し、未回答者にははがきによる勧奨、訪問による回収を行います。 ・調査票の郵送 (4月) ・調査票の回収 (5月) ・訪問による回収 (6月～3月) 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	872 千円	872 千円	5,949 千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	965 千円	965 千円	6,741 千円	
		一 般 財 源	489 千円	489 千円	3,172 千円	
事業費計	2,326 千円	2,326 千円	15,862 千円			

総合計画実施計画

事業名	通所型介護予防事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	生活機能に関する調査により把握された二次予防事業(介護予防)の対象者に、通所型介護予防事業の4事業である運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防・支援の教室に参加することにより、介護予防事業を行います。
	《事業内容》 ・運動機能向上事業(貯筋塾) ・栄養改善事業(かまど塾) ・口腔機能向上事業(かむかむ塾) ・認知症予防・支援事業(きらめき塾)

目標・手段・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th rowspan="2">24</th> <th rowspan="2">25</th> <th rowspan="2">26</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防(二次予防)事業の延べ参加者数</td> <td>人</td> <td>18</td> <td>170</td> <td>2,301</td> <td>2,424</td> <td>2,546</td> </tr> </tbody> </table>						基本計画の指標	単位	基準			24	25	26	年度			介護予防(二次予防)事業の延べ参加者数	人	18	170	2,301	2,424	2,546
	基本計画の指標	単位	基準			24			25	26														
年度																								
介護予防(二次予防)事業の延べ参加者数	人	18	170	2,301	2,424	2,546																		
	基本チェックリストに基づく調査から二次予防事業の対象者を把握し、地区での事業説明会を開催し、自分の目標をたて介護予防事業に参加することにより、生活機能の維持・改善、向上に努められるよう支援していく。 (目標) ・運動機能向上事業24教室 年延べ1,958人 運動指導士による教室を3ヶ月を1クールとし開催 ・栄養改善事業 2教室 年延べ51人 管理栄養士による教室を5ヶ月を1クールとし開催 ・口腔機能向上事業 4教室 年延べ170人 歯科衛生士による教室を3ヶ月を1クールとし開催 ・認知症予防・支援事業 3教室 年延べ122人 保健師等による教室を4ヶ月間を1クールとし実施																							

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	4,759 千円	4,893 千円	
市		債	千円	千円	千円	
そ		の他	5,267 千円	5,415 千円	5,644 千円	
一		般財源	2,666 千円	2,740 千円	2,856 千円	
	事業費計		12,692 千円	13,048 千円	13,600 千円	

総合計画実施計画

事業名	地域介護予防活動支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	<p>一般高齢者を対象に各地区の福祉センターや地区公民館において「やってみるじゃん介護予防事業」を開催します。実施については市社会福祉協議会に委託し、各種介護予防メニューを実施します。中央開催は年間延べ229回、地区開催はほとんどの行政区において開催し、延べ1100回を予定しています。</p> <p>また、地域の自主開催を支援するため、協力員養成研修(地区での開催を協力する人)を実施し、介護予防活動の支援をしていきます。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみるじゃん介護予防事業(中央開催・地区開催) ・地区での自主開催をするための協力員の育成
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	24	25	26
	やってみるじゃん介護予防事業の延べ参加者数	人	18	16,627	15,100	15,100
	<p>(目標)</p> <p>やってみるじゃん介護予防事業 1,329回 年延べ 15,100人 (内、自主開催 50回)</p> <p>地区リーダー研修 7回、フォローアップ研修 2回</p> <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者が心身の機能を維持・向上できるよう、介護予防事業を推進します。 ・介護予防に関する理解を深め、地域の高齢者が自ら参加する介護予防活動を行ないます。 ・各地域の福祉センター等において介護予防である「運動機能向上教室」を開催します。健康運動指導士を中心に専門的に運動機能向上に取り組みます。 ・各地区の公民館において「運動機能向上」、「口腔ケア」、「栄養」、「認知症とこころの健康」等の各種介護予防メニューを実施し、高齢者が身近な場所で気軽に参加できる教室を開催します。 ・地域での協力員養成講座を開催し、自主的な活動の支援をしていきます。 ・元気な高齢者が生きがいを持って事業の協力者となれる機会をつくっていきます。 					

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	12,736 千円	12,736 千円	12,736 千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	14,094 千円	14,094 千円	14,094 千円	
		一 般 財 源	7,133 千円	7,133 千円	7,133 千円	
事 業 費 計	33,963 千円	33,963 千円	33,963 千円			

総合計画実施計画

事業名	長寿敬老事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○行政区敬老事業助成金 高齢者の長寿を祝い、各行政区が実施する敬老事業に対し助成を行うことにより、市民の敬老思想を高揚し、老人福祉の増進を図ります。 ○長寿祝金 多年にわたり地域社会の発展に尽くしてきた満100歳の長寿者を敬愛し、その功をねぎらうため、祝金を支給します。 ○敬老祝金 老人の日及び老人週間の行事として、高齢者に祝金を支給し、その長寿を祝福するとともに、敬老思想を高め、併せて老人福祉の増進を図ります。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 高齢者が住みなれた自宅(地域)でいつまでも元気で生活できることへの喜びや生きがいを持って暮らせるよう、市民の敬老思想を高めて地域全体で高齢者を支える環境を整える。</p> <p>(手段・スケジュール) ○行政区敬老事業助成金 当該年度4月1日現在75歳以上で、本市の住民基本台帳又は外国人登録原票に登録されている者の数を基に算出した金額(当該区の対象者数に3,500円を乗じた金額)に、1行政区に対して20,000円を合算して助成金を決定し、申請のあった行政区に対して助成金を支給します。区長会において事業の説明をし、1行政区でも多く事業が行われるよう推進します。</p> <p>○長寿祝金 本市に引き続き10年以上住所を有する満100歳の長寿者に対して、祝金と記念品を贈呈します。</p> <p>○敬老祝金 9月15日において満77歳・満88歳及び満100歳以上の者で、8月1日現在市内に居住し、住民基本台帳又は外国人登録原票に登録された者に対し、祝金を9月15日から9月21日までの老人週間に支給します。 (ただし、満100歳については、当該年度中に100歳になる人です。)</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		42,035 千円	44,290 千円		42,546 千円
事業費計			42,035 千円	44,290 千円	42,546 千円		

総合計画実施計画

事業名	認知症高齢者対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	<p>高齢化の進展に伴い認知症高齢者は今後ますます増えることが予想されます。認知症についての正しい理解をもち、地域全体で支援していくことが必要となってきた背景を踏まえ、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症高齢者やその家族の支援・認知症予防活動の推進・普及啓発等に取り組みます。</p> <p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーターの養成 ○認知症予防プログラム活動の支援者養成と実践活動 ○認知症の理解や認知症予防法等の普及啓発 ○地域見守り体制の充実
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーター養成講座の開催 15回 ○認知症サポーター養成数 300人 ○認知症予防活動支援者養成講座の開催 1回 <p>(手段)</p> <p>1.『認知症サポーター養成講座』 所定の研修を受講した「キャラバン・メイト」が講師となって『認知症サポーター養成講座』を開催し、講座を受講した認知症サポーターには、認知症を支援する「目印」としてブレスレット(オレンジリング)を配布します。一般市民や企業・団体等を対象とした講座のほか、スコレー大学講座や小中学校での講座開催も実施していきます。 講師として活動していただく「キャラバン・メイト」は現在25名の登録があり、年度末にキャラバン・メイトと1年間の講座開催について検証し、翌年度の養成講座実施計画を作成します。</p> <p>2.『認知症予防活動支援者養成』 支援者(ファシリテーター)養成講座を開催して、地域の方と一緒に認知症予防活動を進めていく。</p>
---------------------	---

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	2,546 千円	3,009 千円	3,009 千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	地域支援事業交付金 認知症施策総合推進事業補助金
		そ の 他	110 千円	110 千円	110 千円	
		一 般 財 源	91 千円	91 千円	91 千円	
		事 業 費 計	2,747 千円	3,210 千円	3,210 千円	

総合計画実施計画

事業名	生きがいデイサービス事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	一人暮らしや日中独居等で家に閉じこもりがちな高齢者(介護保険の未認定者)に対し、社会的孤立感の解消や自立生活の助長を図るため、日常動作訓練やレクリエーション等の通所サービスを提供することで、閉じこもりや要介護状態となることへの予防及び自立した在宅生活の継続を支援します。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 在宅で自立して生活できている高齢者(介護保険未認定者)が要介護状態にならないための予防策とする。</p> <p>(手段) ○保健師等による高齢者の実態把握調査によって必要性を判断し、デイサービスセンター等において日常動作訓練やレクリエーション等の通所サービスを提供します。 ○事業を周知するため介護保険事業者連絡会・地区民生委員協議会等への事業説明や広報誌への掲載等おこない、また、地域包括支援センターの調査などから対象者を把握し、事業につなげることで自立高齢者の要介護状態への移行防止を図ります。</p>
---------------------	---

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
		市 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般 財 源	9,418 千円	9,418 千円	9,418 千円
	事業費計		9,418 千円	9,418 千円	9,418 千円

総合計画実施計画

事業名	介護相談員派遣事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	<p>介護相談員を、介護サービス提供の場に派遣し、サービス利用者の疑問や不安について受け付け、相談に応じる等の活動を行い、その解消を図るとともに、介護サービスの質的向上や介護保険事業の円滑な運営に寄与することを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護相談員を施設・事業所におおむね月に4～6回派遣します。 ・介護サービス利用者の話を聞いて相談に応じます。 ・施設等の行事に積極的に参加します。 ・介護サービスの現状の把握に努めます。 ・事業所の管理者や従事者と意見交換をします。 ・問題点を把握したうえで整理をし、解決方法を提言します。 ・必要に応じて足りないサービス創出に向けての提言をします。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護相談員数</td> <td>人</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4名の相談員が2班体制となり、おおむね月に4～6回の割合で介護サービス事業所を訪問します。 ・月2～3回×2班×12月(48回～72回) 	基本計画の指標	単位	基準			24	25	26	年度						介護相談員数	人	19	2	4	4	4
基本計画の指標	単位			基準			24	25	26													
		年度																				
介護相談員数	人	19	2	4	4	4																

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		318 千円	318 千円		318 千円
		市 債		千円	千円	千円	
		そ の 他		106 千円	106 千円	106 千円	
		一 般 財 源		106 千円	106 千円	106 千円	
事 業 費 計		530 千円	530 千円	530 千円			

総合計画実施計画

事業名	介護給付費適正化事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	<p>介護保険サービスが利用者に真に効果を上げているか、適正な介護保険サービスが提供されているかなどの観点から、介護給付費適正化事業を実施し、不適切な給付を削減する一方で、利用者に対する適切な介護サービスを確保することにより、介護給付費抑制及びサービスの質の向上を図っていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 要介護認定の適正化 2 ケアマネジメントの適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定調査時に、利用者からの満足度・適正度の聞き取り調査を行います。 ・不適切な請求等の疑義がある給付実績に対するケアプラン等のチェックを実施します。 3 介護費用の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・給付データ分析を専門調査員が行い、不適正事例について介護事業者へ指導を行います。 ・給付費通知を利用者に送付し、保険給付に対する意識啓発や、不適切な請求の確認の契機とします。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>介護サービスの利用者の立場に立った適切な介護給付の確保、介護事業者におけるサービスの質の向上を図り介護保険制度の的確な運営を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事業者に対して、調査指導の実施や情報提供の実施(事業者連絡会 年5回) ・サービス利用者へ認定調査訪問時の調査実施(対象 居宅サービス利用者全員) ・介護給付適正化システムの活用により、適切な給付がなされているかのチェックの実施(対象 サービス利用者全員) ・給付通知の実施(年3回 介護サービス利用明細のお知らせ)
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	798 千円	798 千円	798 千円	地域支援事業交付金
	市 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	266 千円	266 千円	266 千円	
	一 般 財 源	266 千円	266 千円	266 千円	
	事 業 費 計	1,330 千円	1,330 千円	1,330 千円	

総合計画実施計画

事業名	障害者地域生活支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	障害者の自立を支援する環境づくり
	具体的な施策	障害者の自立支援

当該事業の概要	<p>市内に居住する障がい者及び障がい児が、社会の一員として社会活動に参加し、地域で自立した日常生活が送れるよう、適切な支援を確保するため、相談支援事業をはじめコミュニケーション支援事業・社会参加促進事業等の各種福祉サービスの提供を行い、障がい者及び障がい児の社会生活を支援します。</p> <p>また、笛吹市地域自立支援協議会において、相談支援事業の運営評価と、障がい者及び障がい児福祉サービスの検証等を行い、課題の検討と解決の支援により、障がい者及び障がい児の自立に向けたサポート体制を整えます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">実施年度</td> <td style="text-align: center;">24年度</td> <td style="text-align: center;">25年度</td> <td style="text-align: center;">26年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">相談支援事業における相談回数</td> <td style="text-align: center;">5,100回</td> <td style="text-align: center;">5,200回</td> <td style="text-align: center;">5,300回</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業、社会参加支援事業では、相談支援や事業利用の実例を通じて笛吹市の障がい者の課題分析を行い、地域自立支援協議会に事例提供をする中で課題解決のためのケース検討や相談フローの整備に活用します。 ・地域自立支援協議会は、各部会の活動や取り組みを全体で共有できるようにすると共に、障がい者、家族への地域社会での理解が進むよう啓発活動に積極的に取り組みます。 	実施年度	24年度	25年度	26年度	相談支援事業における相談回数	5,100回	5,200回	5,300回
実施年度	24年度	25年度	26年度						
相談支援事業における相談回数	5,100回	5,200回	5,300回						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	60,856 千円	63,000 千円	63,000 千円	
	市 債	千円	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	千円	
	一 般 財 源	74,862 千円	76,000 千円	76,000 千円	76,000 千円	
事業費計		135,718 千円	139,000 千円	139,000 千円	139,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	発達障害支援体制サポート事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	障害者の自立を支援する環境づくり
	具体的な施策	障害者の自立支援

当該事業の概要	<p>障がい者が、社会の一員として地域で自立して生活が送れるようノーマライゼーション(ともに生きる社会)を実現するためには、行政の施策だけでなく、地域社会、住民一人ひとりが障がい者に対する理解と支援の輪を広げていくことが大切です。</p> <p>平成17年、発達障害者支援法が制定され、支援の必要性があっても知的障害に該当しないため福祉施策の対象外であった発達障害者に公的支援の責務が明らかにされたことを受け、平成22年には障害者自立支援法の一部が改正され障がい者の範囲に発達障害が加えられました。</p> <p>障害者自立支援法及び児童福祉法の一部改正により、平成24年4月からは、障害児のサービス体系は児童福祉法に基づいて実施されることとなり、サービス体系整備や相談支援体制の強化など新たな取り組みが始まるなかで、特に発達障害支援に関する取り組みの強化が求められています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>平成23年度から平成25年度までの3年間、山梨県と連携して実施する「モデル市町村支援体制サポート強化事業」を中心に、乳幼児から成人までのそれぞれのライフステージに沿った支援環境づくりを行うため、行政、保育所(園)、学校(小、中、高)等教育、地域関係者の知識の習得、認識の共有、支援意識の醸成に取り組みます。</p> <p>モデル事業終了後は、引き続き地域自立支援協議会を核に、支援システムの構築やネットワークづくりを推進し、「気づく・知る・つなぐ」ことのできる支援と環境づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モデル市町村支援体制サポート強化事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①支援関係機関連絡調整会議の開催(年4回) ②関係者の意識向上と学習機会として、スキルアップ研修会の開催(年1回) ●庁内連携会議の開催 庁内関係課による、支援体制の構築と支援ケース対応のための「発達支援連携会議」の開催(月1回) ●地域自立支援協議会(事業者部会)と連携した地域ネットワークづくり
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	
市 債	千円			千円	千円	
そ の 他	千円			千円	千円	
一 般 財 源	千円			千円	千円	
事業費計			千円	千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	・障害者介護給付・訓練等給付事業 ・障害児通所給付事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	障害者の自立を支援する環境づくり
	具体的な施策	障害者の自立支援

当該事業の概要	障害者自立支援法に基づくサービスの提供を行い、障がい児・者の自立を支援します。 サービスの内容は、以下のとおりです。
	【在宅生活の支援】 ・居宅介護(ホームヘルプ)・重度訪問介護・同行援護・行動援護・短期入所(ショートステイ)等
	【日中の活動支援】 ・生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援 等
	【住まいの場】 ・共同生活介護(ケアホーム)・共同生活援助(グループホーム)・施設入所支援
	障害児支援の強化を図るため、身近な地域で支援が受けられるよう、平成24年度から児童福祉法に基づく障害児通所支援事業を実施します。
	【障害児通所支援】 ・児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援

目標・手段・スケジュール	(平成24年度から平成26年度までに重点的に取り組む目標)
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の入所者の地域生活への移行:3人 ・入院中の退院可能精神障害者の減少目標値:3人 ・福祉施設から一般就労への移行目標値:2人 ・相談支援事業の関わりによる利用者への支援(障害者、障がい児)350人 ・居宅介護サービス:100人(月平均) 現在73人 ・就労支援:70人(月平均) 現在76人 ・施設入所支援:55人(月平均) 現在56人
	(手段)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に対し、障害者自立支援法指定手続を促進します。また、制度改正に伴う相談支援事業の充実も図って行きます。 ・障がい者は区分認定、障がい児は勘案事項聞き取り、その後支援内容及び市町村基準に基づき支援量を決定します。 ・平成24年度からは、相談支援事業を活用しサービス利用計画に基づく適切な支援を検討して行きます。

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		559,850 千円	573,704 千円		602,020 千円
		市 債		千円	千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般 財 源		186,618 千円	191,235 千円	200,674 千円	
事業費計		746,468 千円	764,939 千円	802,694 千円			

総合計画実施計画

事業名	障害者基本計画・障害福祉計画進行管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	障害者の自立を支援する環境づくり
	具体的な施策	障害者の自立支援

当該事業の概要	<p>障害者基本法に基づき平成18年度に策定した「障害者基本計画」(平成19年度～平成23年度)について、平成23年度に見直しを行い、計画期間を平成24年度から平成28年度までとする「第2次障害者基本計画」を策定しました。</p> <p>また、障害者自立支援法を根拠とする「第2期 障害福祉計画」(平成21年度～平成23年度)についても見直しを実施し、平成26年度の目標数値を設定した「第3期障害福祉計画」を策定しました。</p> <p>平成25年の障害者自立支援法の改正に向けた障害者制度改革の基本的方向や進め方を踏まえ、地域自立支援協議会との連携の下、相談支援事業の強化・障害児支援推進のための基盤整備・障害者虐待防止法の成立を踏まえた権利擁護体制の充実等障がい者の自立と社会参加を支援する環境づくりに向けた取り組みについて、現状把握・検証・評価等を行っていきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>「第2次障害者基本計画」に掲げた12の基本目標と目標達成のための主な施策や事業については、地域自立支援協議会や関係機関等の意見をもとに、庁内関係課との連携を図りながら実施し、年度ごとに実施状況確認や検証を行い地域自立支援協議会において評価していきます。</p> <p>「第3期障害福祉計画」に示す平成26年度の数値目標の達成及びサービス見込量の確保策については、地域自立支援協議会の事業者部会を中心に、相談支援の関わりやサービス提供体制の質及び量について検証し、地域資源としての環境整備や関係者間におけるネットワーク構築により目標達成できるよう取り組みます。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	千円	千円	1,000 千円	
		事業費計	千円	千円	1,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	国民健康保険賦課徴収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり
	具体的な施策	保険制度の円滑な運営

当該事業の概要	<p>国民健康保険事業の安定的な運営を図るため次の事業を実施します。</p> <p>①適正な賦課及び収納体制の整備。 ②加入者の納税意識向上のための啓発活動。 ③収納率の維持向上を図るための徴収強化対策。 ④各種の事業を実施し医療費の増嵩に歯止めをかけ、健全な運営を目指す。 ⑤ジェネリック医薬品の推進</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度		24	25	26
	国保税収納率(現年度)	%	22	89.89	90.50	91.00	91.50
	国保税収納率(過年度)	%	22	13.83	14.20	14.30	14.40
	医療費総額	百万円	22	5,143	5,499	5,600	5,700
	<p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門徴収員の採用 ・滞納者の実情把握 ・滞納者通知 ・強化月間での電話による催告 ・滞納世帯に対する戸別訪問の実施 ・社会保険加入者のうち未届出者への届出勧奨の実施及び職権による喪失管理 ・口座振替の推進(マルチペイメントの推進) ・医療費通知等による啓発 ・医療費適正化啓発事業の実施(広報定期掲載、国保新聞発行、健康教室) ・人間ドック補助 ・ジェネリック医薬品の希望カードの送付 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	3,075 千円	3,100 千円	3,100 千円	
		一 般 財 源	48,077 千円	50,000 千円	52,000 千円	
	事 業 費 計	51,152 千円	53,100 千円	55,100 千円		

総合計画実施計画

事業名	生活保護費支給事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり
	具体的な施策	権利擁護と自立生活への支援

当該事業の概要	生活に困窮する者で、その者が利用し得る資産、稼働能力その他あらゆるものを活用しても国の定める生活保護基準により判定される最低限度の生活が維持できない者に対して、生活を保障すると同時に、その者の自立を助長するという国の生活保護法の基本理念に基づき実施します。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者に対し生活の状況、困窮の程度に応じた保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立生活に向けた支援を行います。 ・本人または家族などからの申請(申請保護の原則)に基づき、申請受理後各種調査を行い世帯構成、年令など国の基準により収入、資産等を活用後も基準に満たない場合はその不足分を補う形で実施します。 <p>(手段/年間を通じて次の業務を実施します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請に基づき申請書受理後、各種調査により要否判定の実施。 ・生活保護受給者への保護費支給。 ・訪問調査活動による生活実態の把握。
---------------------	--

財源	実施年度			補助事業名	
	国 県 支 出 金	平成24年度	平成25年度		平成26年度
財源内訳	地 方 債	867,883 千円	914,914 千円	941,398 千円	生活保護費負担金事業
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	
	事 業 費 計	275,788 千円	260,638 千円	269,466 千円	
		1,145,171 千円	1,177,052 千円	1,212,364 千円	

総合計画実施計画

事業名	生活援護者就労促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり
	具体的な施策	権利擁護と自立生活への支援

当該事業の概要	<p>生活保護受給者や生活困窮者への日常生活等への援助活動として、就労可能な人に対して就労指導・支援を行います。</p> <p>具体的には、保護受給者のうち65歳未満で就労可能な人及び生活困窮者で就労意欲の高い人からの相談に応じ、就労支援員による就労指導・支援を行います。しかしながら厳しい雇用状況や経済状況を背景に、就労へのハードルが高くなっており今後、よりきめ細かな対応が必要となっています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	24	25	26
	生活保護受給者のうち仕事に就いた人の延べ数	人／年	21	6	10	10

・働くことが可能な保護受給者及び生活困窮者への就労指導・支援を行い就労の実現とともに、経済的に自立できるよう積極的な事業展開を行い、就労者の増加による保護費の抑制を図ります。

・年間を通じ次の取組みを行います。

- ①保護受給者、生活困窮者からの就労相談活動及び支援内容の検討
- ②就労支援員による対象者への求職援助、面接指導、関係機関へ同行等の実施
- ③市内企業等の求職情報の収集
- ④就労後のサポートの実施

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名 山梨県生活困窮者支援対策事業
	財源内訳	国 県 支 出 金	2,947 千円	2,947 千円	2,947 千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	2 千円	2 千円	2 千円	
事業費計		2,949 千円	2,949 千円	2,949 千円		

第3節

個性輝く人々が育ち、 活躍するまちづくり

次代を担う子どもたちの教育、生涯学習や生涯スポーツの振興、歴史・文化資源をはじめとした地域の文化の活性化などの各施策が有機的に結びつき、個性かがやく人が育ち活躍するまちをつくります。

のばす Develop

きらめき つなぐ
Network

にぎわいある魅力的なまちづくりや持続的で安定的な産業振興などの各施策につなげ、相乗効果を高めます。

支える
Assist

やすらぎのある生き生きとした暮らしを支えます。

総合計画実施計画

事業名	学校教育ビジョン具現化事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	学力向上と心身を育む学校教育

当該事業の概要	『笛吹市学校教育ビジョン』の具現化をめざし、「確かな学力」の定着化を図るとともに、教員の授業力の向上や保・幼一小一中一高の連携に取り組めます。
	<p>具体的には、指導主事と校長会、各小中学校代表者などで組織する「学力向上研究委員会」において、基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用力(思考力・判断力・表現力)の育成など、「知・徳・体」のバランスよい育成をめざした取り組みを検討し、日常の学習指導に生かします。</p> <p>平成23年度から「フッキー家庭学習3つの約束」として、毎日休まず、集中して、計画的に、家庭学習の取り組みを行っていますが、平成24年度も引き続き、学習習慣の定着と学習意欲の喚起を目指します。</p> <p>本事業は、教育委員と指導主事等が学校訪問をする中で評価・検証します。</p> <p>確かな学力の定着を図ること、教員の授業力を向上させること、保・幼一小一中一高連携を図ることなどにより「子どもたちの個性を尊重する学校づくり」が可能となります。</p>

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上研修会の開催 ○標準学力検査NRTテストの実施及び分析 ○市費負担教員配置及び研修会の開催 ○教育課程研修会の開催 ○保・幼一小一中一高連携会議の開催 ○家庭学習の定着を目指し、児童生徒や保護者への呼びかけやリーフレットの配布 																																											
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th colspan="3">平成24年度</th> <th colspan="3">平成25年度</th> <th colspan="3">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学力向上委員会</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市費負担講師研修会</td> <td></td><td>●</td><td></td> <td></td><td>●</td><td></td> <td></td><td>●</td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保・幼一小一中一高連携会議</td> <td>●</td><td>●</td><td></td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考	学力向上委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●		市費負担講師研修会		●			●			●			保・幼一小一中一高連携会議	●	●		●	●	●	●	●	●
手 段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考																																		
学力向上委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																			
市費負担講師研修会		●			●			●																																				
保・幼一小一中一高連携会議	●	●		●	●	●	●	●	●	●																																		

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		2,520 千円	2,520 千円		2,520 千円
事業費計			2,520 千円	2,520 千円	2,520 千円		

総合計画実施計画

事業名	小中学校市費負担教職員配置事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>市費負担講師を芦川小学校を除く小学校13校、中学校5校に配置し、本市小中学校児童生徒の確かな学力向上を目指します。</p> <p>また、年々増加しているLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症等の発達障害児への対応のため、小学校9校へ新たに「学校サポーター」を緊急雇用創出事業として配置し、本務教職員のサポートを行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>市費負担教職員数</td> <td>人</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </table> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校へ「講師」13人、「学校サポーター」12人を配置予定 58,416千円 ・中学校へ「講師」を5人配置予定 16,132千円 	基本計画の指標	単位	基準			24	25	26	年度						市費負担教職員数	人	19	25	35	35	35
基本計画の指標	単位			基準			24	25	26													
		年度																				
市費負担教職員数	人	19	25	35	35	35																

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		74,548 千円	74,548 千円		74,548 千円
事業費計			74,548 千円	74,548 千円	74,548 千円		

総合計画実施計画

事業名	教育相談事業		
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり	
	具体的な施策	教育環境の充実	

当該事業の概要	<p>教育委員会内にひまわり教育相談室を設置し、教育相談員と自立支援指導員が児童生徒、保護者、教職員の各種相談や問題を抱える子どもの様々な教育相談を受けて、早期解決に向けた指導及び支援を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>相談業務については、各関係機関と連携を図り、電話相談、来室相談、各所訪問を実施します。また、諸調査(知能検査、発達検査)、箱庭療法、遊戯療法等を実施します。</p> <p>また、暴力行為や問題行動(不登校、恐喝、無断外泊、深夜徘徊)等に対して、関係機関で取り組みを支援協力する体制の構築を図っていきます。また不安定な家庭環境が原因で問題行動を引き起こすため、対象の子どもばかりではなく、家庭(保護者)との連携強化をして支援します。</p> <p>具体的な支援については、いろいろなケースが考えられるため、本人の適正等について詳細に分析するなかで、将来に向けた自立と立ち直りに最適な支援プログラムを決定していきます。(社会的自立を目指す職場体験や福祉施設のボランティア活動への参加、体験活動への参加)</p>																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th colspan="3">平成24年度</th> <th colspan="3">平成25年度</th> <th colspan="3">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">運営委員会開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個人指導、各種体験活動を推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td></td> <td rowspan="2"> </td> </tr> <tr> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> </thead> </table>	手段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考	運営委員会開催	開催		○	○	○	○	○	○	○	○	○	個人指導、各種体験活動を推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進			←	←	←	←	←	←	←	←								
手段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考																																									
運営委員会開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催																																										
	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																										
個人指導、各種体験活動を推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進																																											
	←	←	←	←	←	←	←	←																																											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		500 千円	千円	
市 債		千円	千円	千円		
そ の 他		千円	千円	千円		
一 般 財 源		7,728 千円	8,228 千円	8,228 千円		
事業費計			8,228 千円	8,228 千円	8,228 千円	

総合計画実施計画

事業名	教育委員運営事業		
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり	
	具体的な施策	教育環境の充実	

当該事業の概要	<p>教育委員会は、地方教育行政の組織および運営に関する法律に規定されており、都道府県及び市町村におかれる行政委員会の1つです。</p> <p>教育委員会は合議制の執行機関で6人の教育委員をもって組織されていますが、国の法律の改正により、現在の教育委員の委員数を弾力化して、うち保護者を教育委員に新たに選任することが義務化されました。</p> <p>これら教育委員の合議により教育に関する基本的な方針等を決定し、その方針・決定を受けて教育長が事務局を指揮監督して執行する仕組みとなっています。</p> <p>教育委員会の開催・学校行事等へ参加をおこないます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th colspan="4">平成24年度</th> <th colspan="4">平成25年度</th> <th colspan="4">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">定例教育委員会</td> <td colspan="4">開催</td> <td colspan="4">開催</td> <td colspan="4">開催</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学校行事への参加</td> <td colspan="4">実施</td> <td colspan="4">実施</td> <td colspan="4">実施</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>毎月第1木曜日午前10時より定例教育委員会を開催いたします。 臨時会。小・中学校入学式、卒業式への出席、各種研修会への参加、年2回の学校訪問などへ出席をいたします。</p>	手段	平成24年度				平成25年度				平成26年度				備考	定例教育委員会	開催				開催				開催					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	学校行事への参加	実施				実施				実施					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手段	平成24年度				平成25年度				平成26年度				備考																																																						
定例教育委員会	開催				開催				開催																																																										
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							
学校行事への参加	実施				実施				実施																																																										
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
市 債			千円	千円	千円	
そ の 他			千円	千円	千円	
一 般 財 源			1,553 千円	1,553 千円	1,553 千円	
事業費計			1,553 千円	1,553 千円	1,553 千円	

総合計画実施計画

事業名	学校教育学生ボランティア活用事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>県内の大学生、特に教員志望の学生を市内の各学校で受入れ、授業や課外活動を支援してもらう事業であります。これにより、学校の活性化及び将来の教員志願者にも実務経験の機会を提供し、児童及び生徒の学力の向上を図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生ボランティア派遣回数</td> <td>回</td> <td>19</td> <td>265</td> <td>330</td> <td>330</td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔手段〕県内の各大学へ年度当初に事業内容の説明書を配布して、学生ボランティアを募る。尚、学生ボランティアの登録は随時可能にする。学生ボランティア活動が始める前に保険に加入する。謝礼として1回(日)1,500円(交通費相当)を支払う。学校より必要に応じて支援依頼を受け、学校に学生ボランティアを紹介する。</p> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアを各希望校に、延べ330回派遣予定 523千円 	基本計画の指標	単位	基準				年度	24	25	26	学生ボランティア派遣回数	回	19	265	330	330	330
基本計画の指標	単位			基準														
		年度	24	25	26													
学生ボランティア派遣回数	回	19	265	330	330	330												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		523 千円	523 千円		523 千円
事 業 費 計			523 千円	523 千円	523 千円		

総合計画実施計画

事業名	学校調理業務委託事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>①現在契約中の事業である石和西小学校調理業務委託事業を進めます。</p> <p>平成24年度・・・11,970千円 平成25年度・・・11,970千円 平成26年度・・・11,970千円</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 現在契約中の学校調理業務委託事業を検証し、今後の調理業務委託化の年次計画を検討します。</p> <p>(手段・スケジュール) ①石和西小学校調理業務委託事業を検証・継続・・・平成23年度8月～26年度7月まで。以後継続予定</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
	市 債		千円	千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		11,970 千円	11,970 千円	11,970 千円	
	事 業 費 計		11,970 千円	11,970 千円	11,970 千円	

総合計画実施計画

事業名	学校給食調理施設整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちに、安心安全で衛生的でおいしい給食を提供できるよう、給食施設や附属設備の修繕や整備を積極的に行い、食教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物及び設備の修繕や整備を、計画的に行ないます。 ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象で別事業) ・調理環境労働環境の向上のため、冷暖房設備や省エネルギー設備の整備を計画的に行います。 ・雨漏りの原因となる屋上や屋根の防水補修等を計画的に行います。 ・老朽化給食施設の今後の有り方について調査研究して方向性を出していきます。(石和地区及び境川小)
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>学校施設修繕課題表や関連施設修繕課題表などにより、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に修繕や整備を行なっていきます。</p> <p>◇H24予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕4,000千円 <p style="padding-left: 20px;">対象施設→自校方式8校:石和南小、石和東小、石和北小、富士見小、石和西小、石和中、境川小、芦川小</p> <p style="padding-left: 20px;">共同調理施設4:御坂学校給食センター、八代学校給食センター、春日居学校給食センター、一宮学校給食センター</p> <p>※耐震化等の課題→石和北小給食棟は補強箇所が出入口となり事実上不可能</p> <p>※石和中給食棟については、老朽化及び面積狭小等により平成25年度北館校舎改築とともにドライ方式に改築予定。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	
		事業費計	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	石和中学校校舎等改築事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>○石和中学校校舎 昭和53年に移転竣工して以来30年余が経過している。普通教室棟はバッテリー方式という特殊な構造になっており、デメリットが目立つ使いづらい形状のほか、施設設備全体の老朽化も著しい。文部科学省方針に沿う学力向上策を図るうえで生徒の教育環境として適切な施設とは言えない現状である。このため早急にリニューアルを図り適切な教育環境の整備を行う。</p> <p>○石和中給食棟 昭和49年に建設され現在800食強の調理を行っているが現状では限界の食数となっている。また施設設備の老朽化が加速的であり調理衛生環境や調理員等の作業環境の悪化から早急な対応が課題となっており、今後の学校給食の高い安全性や高効率性を考慮し「フルドライ&オール電化方式」への改築を行う。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>・子供たちの学習環境及び衛生環境の改善を図る為、学校側とも十分に協議調整を行い平成25年度事業での完成を目指します。</p> <p>◇石和中学校北館改築工事 H24→実施設計・地質調査、用途廃止、仮設校舎 H25→解体工事・工事監理、改築工事、引越</p> <p>◇石和中学校給食棟改築工事 H24→実施設計、工事期間中の給食に関する協議 H25→解体工事、改築工事</p>
---------------------	--

財源	実施年度			補助事業名
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源内訳	国 県 支 出 金	千円	77,500 千円	千円
	市 債	101,700 千円	1,505,794 千円	千円
	そ の 他	14,060 千円	千円	千円
	一 般 財 源	千円	110,447 千円	千円
事業費計	115,760 千円	1,693,741 千円	千円	学校施設環境改善 交付金

総合計画実施計画

事業名	小学校施設整備事業(小学校施設整備維持管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちが、安心安全に、又より良い環境で学べるよう、学校施設や設備の整備を積極的に行い、教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、プール、その他建物及び設備の修繕を、計画的に行います。 ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象で別事業) ・防犯設備(フェンス等)の設置を計画的に行います。 ・雨漏りの原因となる屋上や屋根の防水補修等を行います。 ・外壁改修等大規模な改修について調査及び計画を作成します。 ・避難所指定施設として設備の充実を推進します。(非常用発電設備など)
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>箇所</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校施設設備整備数</td> <td>カ所</td> <td>23</td> <td>190</td> <td>190</td> <td>190</td> <td>190</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇H24年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備修繕12,600千円(危険箇所解消、校舎内、体育館、プール、校庭、遊具等) ・各種点検手数料1,470千円 (プールろ過装置、遊具体育器具、受配電設備、受水槽高架水槽の点検) ・各種保守管理委託料6,205千円 (消防用設備、自家用電気工作物、浄化槽維持管理、エレベーター、給食用リフト、その他緊急点検) 	基本計画の指標	単位	基準			24	25	26	年度	箇所				小学校施設設備整備数	カ所	23	190	190	190	190
基本計画の指標	単位			基準			24	25	26												
		年度	箇所																		
小学校施設設備整備数	カ所	23	190	190	190	190															

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
	市 債		千円	千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		20,275 千円	20,275 千円	20,275 千円	
	事 業 費 計		20,275 千円	20,275 千円	20,275 千円	

総合計画実施計画

事業名	中学校施設整備事業(中学校施設整備維持管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちが、安心安全に、又より良い環境で学べるよう、学校施設や設備の整備を積極的に行い、教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、プール、その他建物及び設備の修繕を、計画的に行ないます。 ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象で別事業) ・防犯設備(フェンス等)の設置を計画的に行います。 ・雨漏りの原因となる屋上や屋根の防水補修等を行います。 ・外壁改修等大規模な改修について調査及び計画を作成します。 ・避難所指定施設として設備の充実を推進します。(非常用発電設備など)
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>箇所</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校施設設備整備数</td> <td>カ所</td> <td>23</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇H24年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備修繕6,800千円(危険箇所解消、校舎内、体育館、プール、校庭、遊具等) ・各種点検手数料619千円 (プールろ過装置、遊具体育器具、受配電設備、受水槽高架水槽の点検) ・各種保守管理委託料2,605千円 (消防用設備、自家用電気工作物、浄化槽維持管理、エレベーター、給食用リフト、その他緊急点検) 	基本計画の指標	単位	基準			24	25	26	年度	箇所				中学校施設設備整備数	カ所	23	115	115	115	115
基本計画の指標	単位			基準			24	25	26												
		年度	箇所																		
中学校施設設備整備数	カ所	23	115	115	115	115															

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源	10,024	千円	10,024		千円
事業費計		10,024	千円	10,024	千円	10,024	千円

総合計画実施計画

事業名	市内小中学校教室空調設備設置事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>近年の全国的な異常気象のため夏季の気温上昇が非常に激しく、昨年夏季には市内小中学校での教室温度が40度近くに上がるところもあり、児童生徒が校内で熱中症になり保健室に駆け込むケースや休みが多くみられた。</p> <p>このため、今後の児童生徒の健康管理上及び学習能率の向上を図るため、市内17小中学校(石和中、芦川小を除く)の普通教室へ新たに空調設備を新設置し、暑さ対策を実施したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校13校 189教室 ・中学校 4校 53教室
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>教育環境が改善されることにより、子供たちの学習意欲向上が期待できます。</p> <p>また、深夜電力を活用した氷蓄熱式エアコン「エコアイス」を導入することにより、すでに設置されている太陽光発電システムと併せ省エネ問題、環境問題についての意識向上も期待できます。</p> <p>* 小中学校普通教室 242基を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務 (18,820千円) 4月 ~ 6月 ・設備設置工事 (645,880千円) 7月 ~ 8月 ・工事管理業務 (6,150千円) 7月 ~ 8月 <p>* 平成23年度予算事業(24年度へ繰越)</p>
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
	市 債	千円	千円	千円
	そ の 他	千円	千円	千円
	一 般 財 源	千円	千円	千円
事業費計	千円	千円	千円	学校施設環境改善 交付金

総合計画実施計画

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	学校と地域との連携

当該事業の概要	<p>子どもたちが安心して教育が受けられるように、スクールガード・リーダー3名を市内に配置します。また、スクールガード・リーダーは家庭、地域、学校と連携して、通学路の安全性、不審者への対応をしております。小中学校の学校の安全に関する指導や巡回を強化することにより、子どもたちが安心して学ぶことのできる学校づくりのサポートを進めていきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・市内19校の児童、生徒の安全な登下校の指導。 ・学校の安全に関する児童、生徒、教職員、保護者に対する指導及び助言。 ・学校内及び通学路等の危険箇所の確認及び改善指導。
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	575 千円	575 千円	575 千円	
	事業費計	575 千円	575 千円	575 千円		

総合計画実施計画

事業名	芦川小学校屋内運動場等改築改修事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちが、安心安全に、又より良い環境で学べるよう、学校施設や設備の整備を積極的に行い、教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象) ・H23～26で、旧芦川中学校舎の解体、芦川小学校舎の改修、芦川小学校屋内運動場(体育館)の改築及び学校周辺の石積擁壁の改修を行ないます。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>学校施設耐震診断結果により、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に耐震化や改修を行なっていきます。</p> <p>◇H23実施 65,000千円 ・調査委託料 21,000千円 (小学校改修・中学校解体設計及び工事監理、地盤調査委託、擁壁改修工事設計等) ・工事請負費 44,000千円(小学校改修及び中学校解体工事、光幹線工事)</p> <p>◇H24予定 1,100千円 ・調査委託料 (屋内運動場改築工事実施設計、用地測量業務)</p> <p>◇H25予定 207,000千円 ・調査委託料 4,000千円(屋内運動場工事監理委託) ・工事請負費 203,000千円(屋内運動場解体及び建築工事、システム設置工事等)</p> <p>◇H26予定 140,000千円 ・工事請負費 (擁壁改修、グラウンド整備、その他付帯工事)</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名		
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	22,740 千円		千円	学校施設環境改善 交付金
		市 債		9,000 千円	180,260 千円		140,000 千円	
		そ の 他		2,000 千円	4,000 千円		千円	
		一 般 財 源		千円	千円		千円	
事業費計		11,000 千円	207,000 千円	140,000 千円				

総合計画実施計画

事業名	放課後子ども教室事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	こどもの健やかな成長を支える環境づくり
	具体的な施策	地域での健全育成

当該事業の概要	放課後等に子どもが安全で安心して活動できる場の確保と児童の健全育成を推進するために、登下校時の子どもたちの見守りや、長期休暇期間を含めた中で、児童生徒を対象にした体験活動を通して学習指導や生活指導などの地域における教育活動を支援し、住民との交流や学年を超えた活動のなかで、健康で心豊かに育まれる環境づくりを推進します。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>◇平成24年度 2校で実施 ・各校において、復習教室・体験教室を内容とする教室を年間1校180日 合計2校360日開催</p> <p>◇健全な環境づくり ◇関係団体との連携 ◇NPO法人に、業務を委託</p>
---------------------	--

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名		
	財源内訳	国 県 支 出 金		2,814 千円	2,814 千円		2,814 千円	放課後子ども教室 推進事業費補助金
		市 債		千円	千円		千円	
		そ の 他		千円	千円		千円	
		一 般 財 源		10,201 千円	10,201 千円		10,201 千円	
事業費計		13,015 千円	13,015 千円	13,015 千円				

総合計画実施計画

事業名	青少年育成事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	こどもの健やかな成長を支える環境づくり
	具体的な施策	社会での健全育成

当該事業の概要	<p>青少年の健全育成の推進を図るため、青少年育成コーディネーターが主軸となり、市及び各地区青少年育成推進協議会において、子どもクラブ球技大会や防犯パトロール、講演会等各種事業を実施します。また、家族の絆をキーワードに、各地区において家庭教育に関する講演会や研修会を開催し、家庭教育の支援の充実を図り、健全育成の推進に努めます。</p> <p>また、親子を対象とし、子どもや保護者、地域の大人達との相互の交流の場や各種体験の場を創出し、自然体験教室等を通して見識を広めるとともに、日常生活における実体験の充実を進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛のパトロール実施回数 (地区のパトロールを含む)</td> <td>回</td> <td>18</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>家庭教育学級開催数</td> <td>回</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>						基本計画の指標	単位	基準				年度	24	25	26	愛のパトロール実施回数 (地区のパトロールを含む)	回	18	90	100	100	100	家庭教育学級開催数	回	18	16	20	20	20
基本計画の指標	単位	基準																												
		年度	24	25	26																									
愛のパトロール実施回数 (地区のパトロールを含む)	回	18	90	100	100	100																								
家庭教育学級開催数	回	18	16	20	20	20																								

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		18,254 千円	18,254 千円		18,254 千円
事 業 費 計			18,254 千円	18,254 千円	18,254 千円		

総合計画実施計画

事業名	市民講座事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>市内の社会教育施設や社会体育施設等を会場に、一般成人、高齢者及び子供を対象とした市民講座を年間約190講座開催します。また、H24年度から、1年を通して深く学びたいというニーズに応じて、単位制の市民講座「スコレー大学」をスタートします(H23年度は試行)。</p> <p>【市民講座の種類】 A.市民講座(一般対象) B.スコレー大学(一般対象) C.地域高齢者学級 D.子供教室</p> <p>【講座の内容】 ①教養文化を高めるもの(文学、歴史、自然科学、芸術、音楽、地域文化、語学ほか) ②生活を豊かにするもの(手芸、工芸、園芸、料理、習い事、育児ほか) ③健康を増進するもの(体操、ダンスほか)、④小・中学生の課外学習(工作、軽スポーツ、体験学習)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	市民講座数	目標		基準				
			単位	年度		24	25	26
		市民講座(一般)	講座	22	105	105	105	105
		スコレー大学(一般)	講座	22	0	3	3	3
		地域高齢者学級	講座	22	45	42	42	42
		子供教室	講座	22	74	43	40	40
	市民講座受講者数	市民講座(一般)	人	22	1,910	1,800	1,800	1,800
		スコレー大学(一般)	人	22	0	60	60	60
		地域高齢者学級	人	22	753	800	800	800
		子供教室	人	22	1,642	1,200	1,000	1,000
【手順】講座の企画⇒受講者募集⇒受講者決定(抽選等)⇒開講								

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	16,426 千円	16,426 千円	16,426 千円	
事業費計		16,426 千円	16,426 千円	16,426 千円		

総合計画実施計画

事業名	俳句会事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>全国の小学生、中学生を対象にした俳句会の開催をとおして健全な青少年の育成や笛吹文化の礎を築きます。選者には、俳句結社白露にお願いし、文部科学大臣奨励賞等各種賞を設け参加者の励みとします。また、それらの投句作品による作品集を刊行します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目 標) ◇小中学生の多数の参加により俳句をとおしての交流などにより生涯学習活動の活性化を図ります。 ◇笛吹市の俳句文化風土を形成します。</p> <p>(手 段) ◇市内の全小中学校の参加を得るとともに、県内外の多くの小中学校の参加を得るようにします。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		財 源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	
市 債	千円			千円	千円	
そ の 他	千円			千円	千円	
一 般 財 源	3,661 千円			千円	3,661 千円	
事業費計			3,661 千円	千円	3,661 千円	

総合計画実施計画

事業名	社会教育施設整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>市民が、安心安全に、より良い環境で学べるよう、関連施設の建物及び付属設備の修繕や整備を積極的に行い、生涯学習環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物本体及び設備の修繕や整備を、計画的に進めます。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>関連施設修繕課題表により、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に修繕や整備を行なっていきます。</p> <p>◇対象施設→図書館(石和、御坂、一宮、八代、春日居)、八田家書院、八代郷土館、春日居郷土館・小川正子記念館、清楓美術館、芦川教員住宅4棟、御坂農村環境改善センター、学びの杜みさか、八代総合会館、若彦路ふれあいセンター、境川総合会館、芦川ふるさと総合センター、芦川グリーンロッジ、芦川やすらぎの里</p> <p>◇指定管理→八田御朱印公園、スコレーセンター、スコレーパリオ、御坂林業センター、御坂東部地区コミュニティセンター、いちのみや桃の里ふれあい文化館</p> <p>◇修繕3,110千円 (250千円×11施設) + (60千円×6施設) 危険箇所緊急解消、施設内各所修繕、附帯設備修繕、水路等敷地構造物修繕など</p>
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
		市 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般 財 源	3,110 千円	3,110 千円	3,110 千円
	事業費計		3,110 千円	3,110 千円	3,110 千円

総合計画実施計画

事業名	図書館事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・石和図書館・・・中央館として、市内全館の業務を統括します。図書資料の貸出、イベント、おはなし会をはじめ、子育て支援・ボランティア育成・生涯学習講座にかかわるサービスを行います。また、その母体となる司書の資質向上にも努めていくことで、住民のニーズに応えられる図書館を運営を目指します。 ・御坂図書館・・・木造建築のぬくもりに包まれた図書館環境の中で、本と人、人と人のつながりを広めていくことを目標とし、資料の充実した図書館サービスを行います。(地域の特産バラをテーマとした「ローズタイム」は大人を対象に、幼児・児童を対象のおはなし会「ぴよんぴよん」などを開催します。) ・一宮図書館・・・歴史ある地域の資料やDVD等の映像資料を特色として、桃畑の景観を背景に心安らぐ憩いの空間を提供します。図書館ボランティア・学校図書館司書と連携して、子どもの読書を推進します。 ・八代図書館・・・気軽に立ち寄れる図書館を目標に、地域の児童館や保育所などとの連携によりまずは図書館に親んでもらいます。(乳幼児親子が参加する「赤ちゃんまま」おはなし会、児童を対象の「バムケロ」おはなし会を毎週開催します。) ・境川図書室・・・飯田蛇笏・龍太氏の貴重な俳句資料を蔵書としています。少ないスペースでも市内館ネットワークを利用してニーズに対応していきます。(地域の子どもと高齢者のつながりを深める「さかいがわおばあちゃん」おはなし会の開催) ・春日居図書館・・・「図書館」のこれまでのイメージを変え、多くの住民に足を運んでもらうことを目標にします。農業関係資料をはじめ、医療・童謡などに関する資料を蔵書の特色としています。(男性ボランティアによる「パパとグランパのおはなし会」、乳幼児親子には「おはなしのへやもも」「さくらんぼのおはなし会」も開催します。)
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民一人当たりの図書館資料利用数</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>8.3</td> <td>7.4</td> <td>7.4</td> <td>7.4</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援、おはなし会を500回/年(全館合計)開催します。 ・大人を対象とした教室、講座を45回/年(全館合計)実施します。 ・地域資料、特色となる資料の蔵書を充実します。 ・ボランティア団体や関係部署(福祉課、文化財課、商工観光課、生涯学習課ほか)との共催事業を実施します。 	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	市民一人当たりの図書館資料利用数	件	18	8.3	7.4	7.4	7.4
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	24	25	26												
市民一人当たりの図書館資料利用数	件	18	8.3	7.4	7.4	7.4											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		145 千円	145 千円		145 千円
		一 般 財 源		134,089 千円	129,089 千円		129,089 千円
事業費計			134,234 千円	129,234 千円	129,234 千円		

総合計画実施計画

事業名	いちのみや桃の里ふれあい文化館管理運営事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>1. いちのみや桃の里ふれあい文化館を安全かつ衛生的に利用できるよう管理します。</p> <p>2. 市民が生涯学習に取り組むことができるよう施設を貸し出します。</p> <p>【用途/構造/延床面積等】公民館/RC/3階/H13年建築/3,335㎡(うち図書館858㎡)</p> <p>【施設、設備】多目的ホール/和室/会議室/創作活動室/調理実習室</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール			基準				
		単位	年度		24	25	26
	特殊建築物調査での指摘事項	項目	23	6	5	4	3
	防火対象物調査での指摘事項	人	23	0	0	0	0
	施設年間利用者数	人	22	63,766	65,000	65,000	65,000
	<p>【手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の貸出、清掃、警備、修繕、保守、点検等を実施します。 施設を使って生涯学習講座や芸術文化の催しを開催します。 <p>⇒一般社団法人管理プロやまなし(指定管理者)に委託⇒モニタリング</p>						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	33,915 千円	33,915 千円	33,915 千円	
事業費計		33,915 千円	33,915 千円	33,915 千円		

総合計画実施計画

事業名	スコレーセンター・パリオ管理運営事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>1.スコレーセンターとスコレーパリオを安全かつ衛生的に利用できるよう管理します。</p> <p>2.市民が生涯学習に取り組むことができるようスコレーセンターとスコレーパリオを貸し出します。</p> <p>【用途/構造/延床面積等】</p> <p>《スコレーセンター》公民館/RC/2階/S62年建築/3,860㎡(うち図書館1,887㎡)</p> <p>《スコレーパリオ》公民館/RC/2階/H4年建築/452㎡</p> <p>【施設、設備】</p> <p>《スコレーセンター》集会室/和室/研修室/会議室/資料展示室/調理実習室/アートギャラリー</p> <p>《スコレーパリオ》陶芸実習室/実習室/会議室</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール			基準				
		単位	年度		24	25	26
	特殊建築物調査での指摘事項	項目	22	10	8	6	4
	防火対象物調査での指摘事項	人	23	0	0	0	0
	施設年間利用者数	人	22	69,975	70,000	70,000	70,000
	【手段】	<p>・施設の貸出、清掃、警備、修繕、保守、点検等を実施します。</p> <p>⇒財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団(指定管理者)に委託、モニタリング</p> <p>※H22年10月から、毎月第1・3・5月曜日を閉館することとしました。</p>					

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	33,519 千円	33,519 千円	33,519 千円	
事業費計		33,519 千円	33,519 千円	33,519 千円		

総合計画実施計画

事業名	文化振興事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>◇文化協会の活動を支援し、市民の文化芸術への取り組みを促進します。</p> <p>◇毎年文化の日前後に文化祭(芸能発表や展示等)を開催し、市民の芸術文化活動の発表の機会を作ります。</p> <p>◇全国で活躍している音楽家の演奏会や著名人の講演会等を開催し、市民が質の高い文化に触れる機会をつくります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基準					
		単位	年度	24	25	26
	文化イベント開催回数	回	22	25	25	25
	文化協会会員数	人	23	2,431	2,400	2,370
	※文化イベント開催回数は、スローセンター及びいちのみや桃の里ふれあい文化館が主催するイベント					
	<p>【手段】</p> <p>◇笛吹市文化協会に補助金を交付し、文化活動の指導者を育成します。</p> <p>◇笛吹市太鼓連合に補助金を交付し、伝統芸能の伝承を支援します。</p> <p>◇(財)ふえふき文化・スポーツ振興財団に補助金を交付して、市民が質の高い芸術文化に触れる機会をつくります。</p> <p>◇文化協会に対して初心者向けの市民講座の開催を促します。</p>					

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	7,683 千円	7,683 千円	7,683 千円	
事業費計		7,683 千円	7,683 千円	7,683 千円		

総合計画実施計画

事業名	公民館管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>・条例公民館^{注1}及びこれに類する施設^{注2}を安全かつ衛生的に利用できるよう管理します。</p> <p>・地区住民が地区コミュニティ施設^{注3}等を拠点に公民館活動(教室の開催等)に取り組むよう促します。</p> <p>注1) 条例公民館：スコレーセンター、農村環境改善センター、いちのみや桃の里ふれあい文化館、八代総合会館、境川総合会館、春日居コミュニティセンター</p> <p>注2) 条例公民館に類する施設：学びの杜みさか、東部コミュニティ施設、花鳥児童館、林業センター、若彦路ふれあいセンター、働く婦人の家、芦川やすらぎの里、芦川ふるさと総合センター</p> <p>注3) 地区コミュニティ施設：各地区が管理している自治公民館</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基準						
		単位	年度	24	25	26	
	特殊建築物調査 ^{※1} で指摘のあった項目数	施設	22	43	30	20	10
	防火対象物調査 ^{※2} で指摘のあった項目数	施設	23	12	6	0	0
	スコニティ講座開催数	講座	22	42	45	50	55
	<p>※1 対象施設は、御坂農村環境改善センター、八代総合会館、境川総合会館、学びの杜みさか(H24～)、東部地区コミュニティ施設、御坂林業センター、若彦路ふれあいセンター、働く婦人の家、芦川やすらぎの里、芦川ふるさと総合センター</p> <p>※2 防火対象物調査の対象施設は、御坂農村環境改善センター、学びの杜みさか、八代総合会館、境川総合会館</p> <p>【手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の貸出・清掃・警備・修繕、光熱水費支払い、特殊建築物定期調査等を実施します。 ・地区が企画する教室へ講師を派遣したり講師料を補助します。(スコニティ講座) 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	4,457 千円	1,409 千円	4,457 千円	
	事 業 費 計	4,457 千円	1,409 千円	4,457 千円		

総合計画実施計画

事業名	国民文化祭事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>富士の国やまなし国民文化祭2013において、笛吹市として、『文芸祭俳句大会』『現代詩の祭典』『甲斐国千年の都の文化財巡り』『いさわ鶴飼』及び『いにしへの華-やまなしの縄文展』の5事業を開催します。</p> <p>具体的には、H23年度からH25年度まで、笛吹市国民文化祭実行委員会を設置して事業を進めていきます。さらに、『文芸祭俳句大会』『現代詩の祭典』の2事業については、実行委員会の下に、企画委員会を設置して事業の企画・運営を行っていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>【スケジュール等】</p> <p>◇H24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品募集要項の作成 ・催しの企画、プログラム作成、パンフレット作成 ・出演者及び審査員との交渉、宿泊所等の手配 ・プレ事業の開催 「NHK学園笛吹市俳句大会」(6月8日予定) ・広報宣伝、各種ボランティア団体への協力要請 <p>◇H25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の開催、大会会場の設営、運営マニュアル作成 ・出演者との交渉、広報宣伝 ・作品募集、作品受付、審査、表彰、作品集の発行 <p>【目標】</p> <p>俳句事前応募数(H25年度) 30,000句 現代詩事前応募数(H25年度) 1,000篇</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	6,384 千円	12,315 千円	千円	
	事業費計	6,384 千円	12,315 千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	社会体育団体支援事業(体育協会支援事業・スポーツ少年団支援事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	身近にスポーツを楽しめる環境づくり
	具体的な施策	社会体育の充実

当該事業の概要	<p>市民がいつでも、どこでも、誰でも、仲良く身近なところでスポーツを親しめる生涯スポーツの環境を推進するため、体育協会、スポーツ少年団など各種団体と連携し、子どもから高齢者まで幅広い市民のライフスタイルにあったスポーツ、軽スポーツや市民の健康づくり、体力づくりの場、或いは交流の機会の場としてスポーツの振興、普及を進めます。</p> <p>また、体を動かすことにより、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらす体力の向上や、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防等に貢献します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団)加入者数</td> <td>人</td> <td>18</td> <td>6,379</td> <td>6,224</td> <td>6,300</td> <td>6,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>市民のスポーツ活動を普及及び振興するとともに、スポーツ活動を通じて心身ともに健康で豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会を目指します。また、各地区において、軽スポーツ教室及び健康づくり教室を積極的に開催し、市民がスポーツに親しみ健康で明るく過ごせるような健康に溢れたまちづくりを目指します。</p>		単位	基準				年度	24	25	26	スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団)加入者数	人	18	6,379	6,224	6,300	6,300
	単位			基準														
		年度	24	25	26													
スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団)加入者数	人	18	6,379	6,224	6,300	6,300												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	千円	千円	
	市	債	千円	千円	千円	
	そ	の	千円	千円	千円	
	一	般財源	13,509 千円	13,509 千円	13,509 千円	
	事業費計		13,509 千円	13,509 千円	13,509 千円	

総合計画実施計画

事業名	身近なスポーツ推進事業(健康・体力づくり教室事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	身近にスポーツを楽しめる環境づくり
	具体的な施策	社会体育の充実

当該事業の概要	<p>近年、高齢化の急激な進展や生活が便利になること等による、体を動かす機会の減少が予想されており、これからの21世紀の社会において、生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かな「スポーツライフ」を送ることが望まれています。</p> <p>そこで、社会体育指導員を中心に市民を対象に広く呼びかけ、特に高齢者や婦人層を対象とした健康、体力づくり等を中心とした教室を開催し、保健福祉部健康づくり課や社会福祉協議会等関係機関との連携を図る中で、健康志向を高め病気予防及び医療費の削減につなげます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th rowspan="2">24</th> <th rowspan="2">25</th> <th rowspan="2">26</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽スポーツ教室数</td> <td>教室</td> <td>18</td> <td>65</td> <td>101</td> <td>105</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>体力・健康づくり教室数</td> <td>教室</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>45</td> <td>48</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>軽スポーツ、健康づくり教室を年間を通じて開催することにより、体力の向上はもとより、地域での人間関係及び世代を超えた交流の機会とし、スポーツを楽しめる環境づくりを進めます。</p> <p>また、教室開催については市民全体を対象とするため、各地域に出向き、公民館等を活用する中で、輪ゴムやタオル、踏み台等身近なものを使い、手軽に誰にもできる運動教室を実施していきます。</p>		単位	基準			24	25	26	年度			軽スポーツ教室数	教室	18	65	101	105	110	体力・健康づくり教室数	教室	18	21	45	48	51
	単位			基準						24	25	26														
		年度																								
軽スポーツ教室数	教室	18	65	101	105	110																				
体力・健康づくり教室数	教室	18	21	45	48	51																				

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	2,247 千円	2,247 千円	2,247 千円	
事業費計		2,247 千円	2,247 千円	2,247 千円		

総合計画実施計画

事業名	体育施設整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	身近にスポーツを楽しめる環境づくり
	具体的な施策	社会体育の充実

当該事業の概要	<p>市民が、安心安全に、又より良い環境でスポーツを楽しめるよう、関連施設の建物及び付属設備の修繕や整備を積極的に行い、社会体育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物本体及び設備の修繕や整備を、計画的に行います。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>関連施設修繕課題表により、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に修繕や整備を行なっていきます。</p> <p>◇対象施設→若彦路ふれあいスポーツ館、八代中央スポーツ広場、八代南部スポーツ広場、八代中央水泳プール、八代東部水泳プール、八代弓道場、境川スポーツセンター、境川弓道場、春日居スポーツ広場、春日居弓道場、春日居柔道場、芦川スポーツ広場、芦川テニスコート</p> <p>◇指定管理→石和中央テニスコート、農村スポーツ広場(石和)、いさわ清流館、花鳥の里スポーツ広場、御坂体育館、御坂テニスコート・キッズ広場、御坂弓道場、若彦路ふれあいスポーツ館、八代中央スポーツ広場、八代南部スポーツ広場、八代中央水泳プール、八代東部水泳プール、八代弓道場、いちのみや桃の里スポーツ広場、一宮スポーツ広場(テニスコート)</p> <p>◇修繕2,950千円(250千円×9施設) + (50千円×14施設) 危険箇所緊急解消、施設内各所修繕、附帯設備修繕、水路等敷地構造物修繕など</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	2,950 千円	2,950 千円	2,950 千円	
		事業費計	2,950 千円	2,950 千円	2,950 千円	

総合計画実施計画

事業名	文化財保護事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	文化財の保存・活用

当該事業の概要	<p>笛吹市は山梨県の中でも歴史の古い地域であり、多くの文化財が残されています。市では文化財の所有者と協力しながら、保存と活用を進めていきます。</p> <p>○仏像や建物など古い文化財のなかには傷みがひどく修理が必要なものがあります。国・県の補助金制度を活用して保存修理を進めていきます。</p> <p>○指定文化財の維持管理を、文化財の所有者と協力して進めていきます。</p> <p>○仏像など、貴重な文化財の盗難、寺社などの文化財建造物の被災を、所有者と協働して防ぎます。自動防災設備の設置・拡充に努めます。</p> <p>○神楽やお囃子など地域に伝えられてきた民俗芸能の保存・後継者育成などに協力し、民俗芸能の振興に努めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>◇国指定重要文化財(建物)一宮町・慈眼寺の本堂・庫裏・鐘楼門の保存修理 期間は平成21年度から5年間で、国・県の補助金を活用します。 総事業費:396,000千円 国補助金:336,600千円 県補助金:29,699千円 市補助金:14,850千円</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本堂の解体修理:平成21～25年度 2. 鐘楼門の解体修理:平成22～25年度 3. 庫裏の茅屋根の葺き替え:平成25年度 <p>◇国指定重要文化財(建物)一宮町・慈眼寺の本堂・庫裏・鐘楼門防災施設設置事業 一般財源5,040千円</p> <p>◇山梨県指定文化財(彫刻)八代町・瑜伽寺の木造十二神将像(12体)の保存修理 県指定文化財の十二神将像を平成21年度から3体ずつ4年間かけて、県の補助金を使い保存修理を行います。 総事業費:9,908千円 県補助金:3,714千円 市補助金:3,095千円</p>
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	6 千円	6 千円	6 千円	
		一 般 財 源	7,288 千円	7,647 千円	7,350 千円	
	事業費計	7,294 千円	7,653 千円	7,356 千円		

総合計画実施計画

事業名	文化財活用事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	文化財の保存・活用

当該事業の概要	<p>多数の重要な史跡・文化財を活用し、市民の豊かな個性づくりを推進します。</p> <p>○『甲斐国千年の都 笛吹市』にある多くの重要な文化財を活用し、市民が郷土の歴史に親しみ、個性ある文化に満ちた郷土づくりに参加できる環境を作ります。</p> <p>笛吹市は約1500年前から500年前までの間、甲斐の国の中心地でした。4世紀後半に造られた岡・銚子塚をはじめとして、東日本では一番大きな方墳の竜塚古墳、姥塚古墳、非常に珍しい八角形の経塚古墳など特色のある古墳が市内のあちこちにあります。</p> <p>7世紀後半、春日居町には山梨県内最古の寺院である寺本廃寺が建てられ、8世紀には一宮町に仏教文化の中心と言うべき甲斐国分寺・甲斐国分尼寺が造られました。</p> <p>さらに甲斐国の政治の中心である「国府」が春日居に、「国衙」が御坂町にあったと考えられています。鎌倉時代から戦国時代にかけても笛吹市は武田氏の活動拠点となりました。</p> <p>これら多様多種の歴史・文化財について調査し、得られた情報を市民に発信します。</p> <p>○全国的に有名な釈迦堂遺跡では約4,000年前の縄文文化を代表する土器・土偶が出土し、国の重要文化財に指定されています。境川町の一の沢遺跡からも国指定重要文化財になっている素晴らしい縄文土器のセットが発見されています。</p> <p>笛吹市には重要な縄文時代遺跡も多く、遠い祖先たちの自然と調和した生活を学ぶすぐれた資料を豊富に提供してくれています。発掘調査で明らかになった遺跡についての情報を現地見学会、調査報告書、展示など通じて公開していきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>◇『笛吹市歴史フォーラム』</p> <p>史跡・文化財の活用を進めるため、年度ごとにテーマを決め『笛吹市歴史フォーラム』を開催し、市民の文化財理解に役立てます。</p> <p>◇『古道めぐり』</p> <p>笛吹市には古代から人々や物がさかんに行きかたつた古道があり、古道を通して多くの文化がもたらされました。</p> <p>古道沿いには神社・寺院・石造物等、地域の歴史を伝えてきた文化財が残されています。そこで『古道めぐり』を開催し、地域に残された神社・寺院・石造物等に触れることにより、市民が「ふるさと笛吹市」を振り返り、見つめ直す手助けをします。</p> <p>◇『千年の都パンフ』</p> <p>史跡解説パンフを作成し、文化財めぐりをする市民や観光客に配布します。</p> <p>◇『笛吹市の自然』</p> <p>市内に残された貴重な自然を紹介する冊子を発行します。</p>
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	1,045 千円	1,044 千円	1,044 千円
		市 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般 財 源	1,299 千円	1,299 千円	1,299 千円
	事業費計		2,344 千円	2,343 千円	2,343 千円

総合計画実施計画

事業名	史跡甲斐国分寺跡整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	文化財の保存・活用

当該事業の概要	<p>甲斐国分寺跡・国分尼寺跡は奈良時代に聖武天皇の命令によって建てられた古代寺院跡で、国の史跡に指定されています。この国分寺跡・国分尼寺跡を保存し、歴史を体験できる公園として整備を進めます。</p> <p>○史跡保存のために指定地の買上を行います。指定地の総面積は73,884.68㎡です。買上は昭和58年度から開始し、平成23年度までに70.25%の指定地を買上げました(国分寺跡については69.82%、国分尼寺跡については70.97%)。今後も土地の買上を継続します。</p> <p>○史跡は大部分が地下に埋まっているので、発掘によってどのような建物があったのか調査する必要があります。発掘調査を計画的に進め、史跡の様子を明らかにしていきます。</p> <p>21～23年度には中心建物である金堂跡と講堂跡の発掘を行い、基礎の大きさと構造が解明されつつあります。このデータをもとに、今後建物の復元図を作成していきます。</p> <p>○発掘調査によって明らかになった史跡の様子をもとに復元整備を行っていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>◇甲斐国分寺跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復元整備のため史跡中心部の発掘調査を行います。 23年度には講堂跡と中門跡・回廊跡などの発掘調査を行いました。 ・発掘調査の結果をもとに、復元整備の基本計画を作成していきます。 ・指定地の買上を継続します。23年度には403㎡の買上を行い、公有化率は69.82%に達しました。 <p>◇甲斐国分尼寺跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定地の買上を継続します。23年度には1,082㎡の買上を行い、公有化率は70.97%に達しました。 ・発掘調査は、国分寺跡の調査終了後の24年度以降に開始する予定です。 																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲斐国分寺・国分尼寺跡史跡</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>41</td> <td>74</td> <td>76</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>指定地の土地公有化率</td> <td>㎡</td> <td></td> <td>30,334</td> <td>54,905</td> <td>56,058</td> <td>58,011</td> </tr> </tbody> </table>	基本計画の指標	単位	基準				18年度	24年度	25年度	26年度	甲斐国分寺・国分尼寺跡史跡	%	18	41	74	76	78	指定地の土地公有化率	㎡		30,334	54,905	56,058	58,011
基本計画の指標	単位			基準																					
		18年度	24年度	25年度	26年度																				
甲斐国分寺・国分尼寺跡史跡	%	18	41	74	76	78																			
指定地の土地公有化率	㎡		30,334	54,905	56,058	58,011																			

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	63,557 千円	62,252 千円	62,558 千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	12,687 千円	11,042 千円	11,153 千円	
事業費計		76,244 千円	73,294 千円	73,711 千円		

史跡等購入費補助金
国宝重要文化財等
保存整備費補助金
県文化財保存事業
費補助金

総合計画実施計画

事業名	博物館特別展開催事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	地域文化の育成・伝承

当該事業の概要	<p>春日居郷土館・八代郷土館での展示と催しを通じて市民文化を振興し、郷土の歴史への理解を深めます。</p> <p>特定の人物の芸術作品などによる特別展、郷土の文化財、歴史、伝統行事に焦点をあてた企画展を開催し、また教室を通じて、芸術・文化に親しむ機会を提供し、郷土史の理解を促し、ふるさとを愛する心をはぐくみます。</p> <p>○春日居郷土館では「特別展」、「企画展」(「わが町の8月15日展」(1119人の遺影展示)など)の開催と小川正子記念館の公開を行っています。</p> <p>○八代郷土館では七夕会、ワラ細工教室を指定文化財(建造物)の江戸中期民家を利用して開催します。旧大森銀行建物では民具を展示しています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	基準 年度	24	25	26
	文化イベント参加者数	人	18	5,050	2,200	2,500
	<p>市民が地域の歴史・文化に親しむために、故郷にゆかりのある芸術家等をテーマにした企画展や、江戸中期の民家で七夕会、竹細工教室、ワラ細工教室を開催します。</p>					
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	企画展等					
	春日居郷土館	「市内作家作品展」、 「わが町の8月15日展」	「市内作家作品展」、 「企画展」「わが町の8月15日展」	「市内作家作品展」、 「企画展」「わが町の8月15日展」		
	八代郷土館	七夕会 ワラ細工教室 安藤彩子卵殻モザイク展	七夕会 竹細工教室 ワラ細工教室	七夕会 竹細工教室 ワラ細工教室		

財源	実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
		市 債	千円	千円		千円
		そ の 他	140 千円	140 千円		140 千円
		一 般 財 源	810 千円	808 千円		808 千円
	事業費計	950 千円	948 千円	948 千円		

第4節

将来像実現に 向けた取り組み

総合計画実施計画

事業名	男女共同参画推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	市民の主体的な活動を支えるしくみづくり
	具体的な施策	男女共同参画社会の実現

当該事業の概要	<p>男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、責任を担う社会の実現のため、推進委員会の活動を支援します。また、男女共同参画社会の実現のための女性があらゆる社会的活動に参画することができるよう女性団体の活動を支援します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準		24	25	26
		単位	年度				
	審議会等女性委員の登用率	%	20	19.5	27.5	28	28
	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会を実現するための推進活動を促進します。また、あらゆる社会的活動に参画することができるような女性団体支援を目的として、連絡協議会活動を支援します。 男女共同参画推進委員会の活動支援。 笛吹市女性団体連絡協議会活動費の支援。 男女共同参画推進条例の啓発。 第二次男女共同参画プラン推進。 						
	手段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考		
男女共同参画推進委員会推進活動	委員会活動		改選 委員会活動	委員会活動			
男女共同参画フォーラム開催	実行委員会 開催		実行委員会 開催	実行委員会 開催			
第二次男女共同参画プラン推進			推進活動				
男女共同参画推進条例の啓発			啓発活動			宣言都市を目指す	

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	1,509 千円	1,509 千円	1,509 千円	
事業費計		1,509 千円	1,509 千円	1,509 千円		

総合計画実施計画

事業名	まちづくり推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	市民の主体的な活動を支えるしくみづくり
	具体的な施策	NPO・ボランティア団体の活動支援

当該事業の概要	<p>高齢化や核家族化、また生活意識や生活様式の多様化等により、地域社会の連帯感が希薄化しつつある一方で、市民の視点で市民自身が主体となった「新しい公共」を創り上げていくことが求められ、子どもの地域教育や高齢者同士の助け合い、地域の環境整備や犯罪の予防等、地域コミュニティの役割が重要であると考えます。こうした課題解決のためには、地域フレームや地域の様々な団体が一体となったアクションが必要であり、さらに積極的な市民活動の醸成が必要となります。</p> <p>本市では、そうした新しい公共をめざした「市民と行政との協働」の取り組みを実現していくために、市民の社会貢献活動を支援していくことをミッションとした「市民活動支援」を進めていきます。</p> <p>市民活動の基本は、市民の自主的、自発的な取り組みでなくてはなりません。ボランティア団体、NPO法人を育成し、地域、行政との有機的な連携体制を整え、市民自身が中心となって市民の連携による地域づくりの取り組みや行政との協働事業が実現できるように市民活動を支援していくものです。</p> <p>具体的には、地域振興基金運用益を活用した「市民ボランティア・NPO助成事業」「地域振興促進助成事業」の実施により、市民活動の活性化を図るとともに、市民活動のきっかけづくりとしてワークショップや市民協働講座などの取り組みを進めます。また、市民活動の活性化のための活動スペース「よっちゃばる広場」や「よっちゃばるネット」の活用による情報発信、情報共有、市民活動支援のしくみを市民協働の実践として、市民やボランティア、NPOの市民活動団体方たちとの協議を進めています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	24	25	26	
	地域活動実施団体数(地域振興促進助成事業交付団体)	団体	20	26	26	27	28
	NPO法人・市民ボランティア数	団体	20	72	110	115	120
	ポータルサイトに登録されたNPO法人・市民ボランティア団体等の数	団体	21	38	55	60	65
	<ul style="list-style-type: none"> ○市民協働・市民活動支援講座、市民協働視察、フォーラムの開催 ○市民活動促進のためのワークショップ、市民協働の取組みの開催 ○市民ボランティア・NPO助成事業、地域振興促進助成事業の実施 (市民ボランティア・NPO助成事業1,000,000円、地域振興促進助成事業9,000,000円) ○市民活動・地域づくり支援ポータルサイトの運用 ○市民協働ガイドブック(指針)作成の検討 						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	14,774 千円	14,774 千円	14,774 千円	
		一 般 財 源	千円	千円	千円	
事業費計		14,774 千円	14,774 千円	14,774 千円		

総合計画実施計画

事業名	市民ミーティング事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	市民と行政のパートナーシップづくり
	具体的な施策	協働のまちづくりの推進

当該事業の概要	市民に、現在の市の課題や事業への取り組み状況などの情報をお知らせするとともに、それぞれの団体・グループの抱える課題やまちづくりについて、市民と市長などが直接意見交換を行い、情報を共有することで、市民に開かれた行政の実現と市民と行政による協働のまちづくりを目指しています。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	年度	基準	24	25	26
	市民ミーティング開催数	件	18	7	10	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ・「対象限定型」又は「公募型」により開催します。 ・「対象限定型」は、市が設けたテーマ、開催地域等を考慮し市民又は団体、グループが対象となります。 ・「公募型」は、市行政関係団体、市民団体、行政区等自治組織、その他市内に在住、在学又は在勤の者で構成するグループが対象となります。 ・参加人数は、概ね10人以上50人以内(対象限定型は、50人以上も有)とします。 ・開催時間は、午前9時から午後10時までのうち2時間以内とします。 ・開催場所は、原則として笛吹市内です。 ・年間を通して、ホームページなどでPRしていきます。 							

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	千円	千円	千円	
	事 業 費 計	千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	市民活動支援事業(職員の意識改革)	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	市民と行政のパートナーシップづくり
	具体的な施策	協働のまちづくりの推進

当該事業の概要	<p>市民協働への取り組みを推進するに当たり、職員自身が協働のパートナーとしての専門職(公務員)であるという意識と、住民からの相談の受け皿であることの認識、取り組みへの姿勢を学ぶため、全職員を対象とした研修会を実施します。</p> <p>「職員のための市民との協働ハンドブック」を活用し、それぞれの部署に即した協働の形を考え実践するといった職員の意識改革を図ります。</p> <p>協働のまちづくりにおける市民のパートナーである職員の意識改革を進めることにより、第一次笛吹市総合計画に掲げる将来像実現に向けた各施策の積極的な展開が図られます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>○市民協働推進のための職員研修会の実施</p> <p>○「職員のための市民との協働ハンドブック」の有効活用</p> <p>○職員による協働推進会議や協働推進リーダー(各課)の設置による、事務事業に即した協働の研究及び実践に向けた検討(市民への行政情報の提供、共有化の推進。新しい公共における市民と行政の役割)</p>																				
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員研修会の実施</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員協働検討会議の開催</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員協働ハンドブックの活用指導</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	職員研修会の実施	●	●	●		職員協働検討会議の開催	←→	←→	←→		職員協働ハンドブックの活用指導	←→	←→	←→	
手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																	
職員研修会の実施	●	●	●																		
職員協働検討会議の開催	←→	←→	←→																		
職員協働ハンドブックの活用指導	←→	←→	←→																		

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		446 千円	446 千円		446 千円
事業費計			446 千円	446 千円	446 千円		

総合計画実施計画

事業名	広報発行事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	広報の充実と情報公開の推進

当該事業の概要	市民に、市役所からの行政情報及び地域での活動や日常生活に役立つ情報を分かりやすく提供するため、月1回広報紙を発行しています。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">24年度</td> <td style="text-align: center;">25年度</td> <td style="text-align: center;">26年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広報紙を読んでいる市民の割合</td> <td style="text-align: center;">86%</td> <td style="text-align: center;">87%</td> <td style="text-align: center;">88%</td> </tr> </table> <p>※ 広報紙を読んでいる市民の割合については、経営政策部財政課において集計している「まちづくり基礎調査票」の数値による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部局からの行政情報を取りまとめ広報ふえふきを毎月1回発行（発行部数年間26,300部） ・自治会を通して、市内全世帯に配布するとともに公共施設・金融機関に設置して市民が入手できるようにします。 ・希望する視覚障害者には、カセットテープに録音した「声の広報」を提供します。 ・年間を通して、各部局と連携を図り、広報原稿作成、編集、校正、発行を行います。 	目標	24年度	25年度	26年度	広報紙を読んでいる市民の割合	86%	87%	88%
目標	24年度	25年度	26年度						
広報紙を読んでいる市民の割合	86%	87%	88%						

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	17,043 千円	17,043 千円	17,043 千円	
	事 業 費 計	17,043 千円	17,043 千円	17,043 千円		

総合計画実施計画

事業名	ホームページ管理事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	広報の充実と情報公開の推進

当該事業の概要	<p>市政情報や市民に密着した情報、県内外からの笛吹市訪問者に対しての観光情報などを笛吹市公式ホームページを使い、各課と連携を取りながら、詳細かつ速やかに提供しています。 また、市内4箇所に設置してあるライブカメラの保守を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">基本計画の指標</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">単位</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">基準</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">24</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市ホームページアクセス件数(visits)</td> <td style="text-align: center;">千件</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">825</td> <td style="text-align: center;">1,463</td> <td style="text-align: center;">1,610</td> <td style="text-align: center;">1,770</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市政情報の更新を各課と連携を取りながら、新鮮な情報を提供します。 ・イベント情報を分かりやすく掲載することで、観光情報の充実を図ります。 ・制度改正の最新情報や生活関連情報を充実させることによって、市民生活の利便性が向上できるように取り組みます。 ・年間を通して、ホームページに掲載している情報を確認し、更新していきます。 	基本計画の指標	単位	基準			年度	24	25	26	市ホームページアクセス件数(visits)	千件	18	825	1,463	1,610	1,770
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	24	25	26												
市ホームページアクセス件数(visits)	千件	18	825	1,463	1,610	1,770											

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳					
財源	国	県	支	出	金	
	市	債				
	そ	の	他			
	一	般	財	源		
事業費計			1,429 千円	1,429 千円	1,429 千円	

総合計画実施計画

事業名	行政放送事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	広報の充実と情報公開の推進

当該事業の概要	<p>新たな広報媒体として、動画の利点を活かした分かりやすい行政情報番組を制作し、市内外に向けて、ホームページやCATVなどで放送することにより、行政からの情報発信に努めています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">24年度</td> <td style="text-align: center;">25年度</td> <td style="text-align: center;">26年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">動画による情報発信数</td> <td style="text-align: center;">21本</td> <td style="text-align: center;">23本</td> <td style="text-align: center;">25本</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「笛吹市この一年」などの行政情報番組の動画を制作し、ホームページや市内CATV局において情報発信します。 ・年間スケジュールとしては、「市長あいさつ」を春、夏、新年と年3回制作しており、また10月の市制祭に併せ「笛吹市この一年」を制作しています。 ・行政情報と地域に密着したリアルタイムな情報の提供、また、いつ起こるとも知れない災害時に、市民の皆様への迅速で正確な情報伝達の手段の確保を目的とした「コミュニティ放送局」の設立に向け、調査・研究を進めます。 	目標	24年度	25年度	26年度	動画による情報発信数	21本	23本	25本
目標	24年度	25年度	26年度						
動画による情報発信数	21本	23本	25本						

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		2,810 千円	2,810 千円		2,810 千円
事業費計			2,810 千円	2,810 千円	2,810 千円		

総合計画実施計画

事業名	情報セキュリティ対策事業		
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み	
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり	
	具体的な施策	信頼できる電子自治体の構築	

当該事業の概要	<p>市の取り扱う各情報システムには市民の個人情報等、外部への漏洩が発生した場合、極めて重大な結果を招く情報が数多く含まれています。本市における情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、笛吹市情報セキュリティポリシー基本方針、対策基準及び実施手順書に基づく物理的セキュリティ、人的セキュリティ、技術的セキュリティの対策を行うとともに、情報セキュリティ対策全般の実効性の評価・見直しを行う有効な手段として情報セキュリティ監査を実施し、情報資産が適切に管理、利用されるよう情報セキュリティの向上を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>情報通信技術を駆使した機能的な電子市役所を実現するため、サービス内容を工夫していくとともに個人情報の保護を徹底し、信頼できる情報システムを構築します。</p> <p>情報漏洩に関する事故は、人的ミスによるものが最も多いことから、職員研修を実施し、情報セキュリティに対する意識向上に努めるとともに、物理的な対策を施し、情報セキュリティポリシーの適切運用チェックの実施により、対策改善を図っていきます。</p> <p>○セキュリティ外部監査及び内部監査を実施し、脆弱個所のセキュリティ強化を図ります。併せて内部監査人の養成を継続し、内部監査の拡大を図っていきます。</p> <p>○インターネットを利用したeラーニングによる職員情報セキュリティ研修を継続して実施し、職員ひとり一人の意識・知識の向上を図っていきます。</p> <p>機密性: 許可された者だけが情報にアクセスできること。 完全性: 情報の正確性を常に維持すること。 情報が改ざん、または破壊されないようにすること。 可用性: 利用したいときに、確実に利用できること。</p>																				
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セキュリティ監査の実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セキュリティ研修の実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>物理的・技術的セキュリティ対策</td> <td colspan="3">→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	セキュリティ監査の実施	→	→	→		セキュリティ研修の実施	→	→	→		物理的・技術的セキュリティ対策	→			
手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																	
セキュリティ監査の実施	→	→	→																		
セキュリティ研修の実施	→	→	→																		
物理的・技術的セキュリティ対策	→																				

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		9,744 千円	9,500 千円		9,500 千円
事業費計			9,744 千円	9,500 千円	9,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	電子市役所構築事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	信頼できる電子自治体の構築

当該事業の概要	<p>高度情報化社会へ対応できる電子市役所の構築に向け、住民票の交付や施設予約等の申請がインターネット上でできる電子申請受付システムを県及び県内全市町村と共同で導入します。</p> <p>また、住基カードを使用した証明書自動交付機(広域交付)を甲州市と共同で導入し、本庁や支所、市内図書館など7か所に設置し、住民票や印鑑証明書が取得できるサービスに取り組んでおり、平成23年3月1日からは、全国のコンビニエンスストア(コンビニ交付:現状ではセブンイレブンのみ)でもサービスが受けられるようになりました。</p> <p>平成24年4月から、県内市町村と共同利用する財務会計システムが本稼働します。この他の業務においても共同化へのワーキンググループに取り組み、市民サービスの向上を図りつつコスト削減に向け事業を推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>情報通信技術(ICT)を駆使した親しみやすい機能的な市役所実現に向け、個人情報保護を徹底することで、行政サービスの向上と効率化を図り、高度情報社会において市民がICTの利便性を享受し快適な生活が営めるよう電子市役所の構築を推進します。</p> <p>○平成24年4月から共同利用財務会計システムを本稼働します。 ○新たなシステムの共同化についてワーキンググループで取り組みます。 ○コンビニ交付、広域交付の円滑な運用を支援し、市民サービスの向上を推進します。</p>																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同利用財務会計システム運用</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">—————▶</td> <td></td> </tr> <tr> <td>システム共同化ワーキンググループ</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">—————▶</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンビニ交付・広域交付支援</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">—————▶</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	共同利用財務会計システム運用	—————▶				システム共同化ワーキンググループ	—————▶				コンビニ交付・広域交付支援	—————▶			
手 段	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考																	
共同利用財務会計システム運用	—————▶																				
システム共同化ワーキンググループ	—————▶																				
コンビニ交付・広域交付支援	—————▶																				

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		市 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般 財 源		27,683 千円	30,000 千円		30,000 千円
事業費計			27,683 千円	30,000 千円	30,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	住基カード普及促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	信頼できる電子自治体の構築

当該事業の概要	<p>市民生活の利便性の向上を図るため証明書自動交付機を設置、平成23年3月にはコンビニの端末機での交付を開始、年末年始を除き、いつでも住基カードを利用して住民票の写しや印鑑登録証明書が取得でき、10月からは図書館利用カードとして業務サービスを実施して来ました。今後もさらに住基カードを利用した様々な住民サービスの提供を実施します。多くの市民の方々に利用をいただき、住基カードの利用を拡大し、市民にとっての利便性をお知らせし住基カードの取得推進を図ります。</p>
	<p>1 「住民基本台帳カードの周知活動」： 住民基本台帳カードについて市民の認知度を高める活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報への掲載、ホームページ上での動画の放映 ・窓口での啓発(来庁者への口頭勧誘、チラシの配付) ・各種団体への文書による啓発 ・公用車(共有車)への掲示 ・啓発推進強化月間での啓発(イベント、市民が多く集まる場所での啓発活動)
	<p>2 「住民基本台帳カードの取得環境の整備」： 住基カードを取得しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真付き本人確認資料と、もう一点健康保険証等を持っている取得希望者へ即日交付を行います。 ・運転免許証識別装置導入により本人確認を容易にし、申請者の負担軽減を行う。 ・毎月第1・第3日曜日の日曜窓口においてカードの交付を行ないます。また、他の日曜窓口においてもカードの交付申請受付を行ないます。 ・啓発推進強化月間中は全ての毎日曜窓口において即日交付を実施します。 ・写真付住基カードの普及を目指し証明写真の無料撮影サービスの実施します。 ・支所での交付の実施(持ち回り)
	<p>3 「利用サービスの拡大」： 住基カードに付加価値を付けるための研究・検討及び利用場所の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の電子自治体の基盤としての住民基本台帳カードの活用度を高めるため、独自利用領域サービスの拡大について他課と連携して検討します。

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標			基準			24	25	26				
	住基カードの普及率	単位	年度	8.6	32.1	35.6	39.1						
	手 段	スケジュール(H24~H26)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	窓口での啓発(口頭、チラシ配付)	(通年)											
	市HP掲載による啓発(動画放映)	(通年)											
	広報ふえふきによる啓発	(通年)											
	第1・第3日曜窓口での申請受付・交付	(通年)											
	啓発推進強化月間						●						●
	公用車への掲示による啓発	(通年)											
利用サービスの拡大の検討	(通年)												

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	7,121 千円	42,121 千円	7,121 千円	
事業費計		7,121 千円	42,121 千円	7,121 千円		

総合計画実施計画

事業名	公有財産管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	機能的なサービス体制の構築

当該事業の概要	<p>○未利用土地の売却 市が所有する土地は、旧町・村から引き継がれたものをはじめ、多くは行政が事務事業を行う上で必要とし取得してきたものです。「公共の福祉」のために利活用することが望ましいが、現実的には行政目的が喪失し、将来的な利用計画が定められていない財産や、社会情勢の変化等により長期にわたり事業着手されていない未利用財産が存在しています。このため、所有する未利用財産の有効な利活用が可能な財産が見極め、売却や貸付け等により歳入の増加や維持管理等による歳出の削減効果が見込まれます。</p> <p>○既存公共施設評価 公共施設の維持管理・修繕に係る経費は今後の財政を圧迫し計画的な再編管理が必要となります。そこで既存公共施設の評価をするため、施設の現状、管理運営経費、利用状況など把握し、公共施設の適正配置の検討を行ないます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇未利用土地の売却 ◇公共施設の適正配置
	<p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇未利用土地の現地調査等による状況把握 ◇個別物件の処分方法等検討 ◇公共施設白書作成
	<p>(スケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇平成24年度：未利用地の把握、公共施設白書作成 ◇平成25年度：処分方法等の検討、公共施設配置検討 ◇平成26年度：入札、公募及び随契による未利用地売却 <p>法廷外公共物または小面積の払下げ要望のある土地については随時対応します。</p>

財源	実施年度			補助事業名	
	国	県	支出金		
財源内訳	市	債		千円	
	その他			千円	
	一般財源			10,345 千円	
	事業費計			10,345 千円	
				千円	
				千円	
				千円	
				千円	

総合計画実施計画

事業名	南館改修事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	機能的なサービス体制の構築

当該事業の概要	<p>本庁耐震改修に伴い総合窓口化を併せて検討する中で、住民窓口担当部署を南館・保健福祉センターへ集中させます。</p> <p>平成19年度の耐震改修時に改修工事を行わなかった4階を事務スペースとして改修を行いません。</p> <p>また、窓口業務の集中により来庁者の増加が見込めるため、立体駐車場を整備し駐車スペースの確保を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目 標) 窓口サービスの向上、事務の効率的な執行を目指します。</p> <p>(手 段) 総合窓口化を検討する中で現在の本庁1階部署を南館2階へ移動することにより保健福祉センターと併せて住民窓口担当部署を集中させ、未改修だった4階を事務スペースとして改修を行いません。</p> <p>(スケジュール) ◇平成23年度より南館の改修他設計(繰越事業) ◇平成24年度南館他周辺の整備 ◇1,4階スペースの改修、2,3階の改装、立体駐車場建築</p>
---------------------	---

財 源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		207,500 千円	千円		千円
		そ の 他		45,978 千円	千円		千円
		一 般		千円	千円		千円
事業費計			253,478 千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	議会運営事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	安定した行政経営の実現

当該事業の概要	<p>市議会の運営は、本会議、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会で構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議(定例会、臨時会)委員会等の開催準備資料の作成と議員活動の支援業務及び執行部との連絡調整を行います。年4回開催される笛吹市議会定例会の内容を中心に、議会活動に関する諸事項及び市政に関する情報を広く市民に公開し、あわせて市議会に対する理解と認識を深めてもらうため、全世帯対象に 議会だよりを発行します。 ・常任委員会は、3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら専門的な審査調査を行っています。 ・議会運営委員会は、市議会を円滑に、かつ効率的に運営するため、各党派から選出された委員により構成されています。定例会、臨時会の会期や議案の取扱など、議会運営にかかわる事項について協議を行います。 ・特別委員会は特定の案件を審査・調査するために本会議の議決により必要に応じて、設定されます。その委員会を設置した目的が達成されると委員会の任務は終了します。 <p>その他議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場として、全員協議会、議会改革検討委員会、議会放映編集委員会、党派代表者会議、正副委員長会議が設けられています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な議会運営を進めます。 ・議会活動を広く市民に公開し、市議会に対する理解と認識を深めてもらいます。 ・研修等により、知識の習得に努めます。 ・議会だよりを、定例会の翌月年4回作成し、全世帯に配布します。
---------------------	---

		実施年度			補助事業名
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
		市 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般 財 源	30,114 千円	18,700 千円	18,700 千円
	事業費計		30,114 千円	18,700 千円	18,700 千円

総合計画実施計画

事業名	公平委員会事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	安定した行政経営の実現

当該事業の概要	<p>公平委員会は、地方公共団体において、職員の任免、懲戒等の人事権の行使を適正に行うために設けられた、各任命権者から独立した行政委員会であり、地方公務員法第7条によってその設置が義務付けられています。</p> <p>公平委員会の事務は、地方自治法第202条の2第2項及び地方公務員法により定められた、職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し、及び必要な措置を執ること。職員に対する不利益な処分についての不服申立てに対する裁決、または決定すること。職員からの苦情相談を行うこと。また、職員団体から団体の登録申請や管理職員等の範囲を定めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>◇職員からの要求や申立て及び相談により、随時対応します。</p> <p>◇審査に備え委員や職員の知識習得のための研修を行います。</p>
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
	市 債	千円	千円	千円
	そ の 他	千円	千円	千円
	一 般 財 源	554 千円	891 千円	891 千円
	事 業 費 計	554 千円	1,782 千円	891 千円

総合計画実施計画

事業名	監査委員事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	安定した行政経営の実現

当該事業の概要	<p>行財政の執行及び管理が効率的且つ適正、適法に執行されているかを監査します。 例月出納検査、定期監査(学校事務監査含む)、決算審査、財政援助団体監査、指定管理者監査、工事監査などを実施します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>◇監査計画に基づき各種監査を実施します。 ◇監査の内容を向上させるため、監査委員および職員の知識の習得のため研修を実施します。</p>																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手 段</th> <th style="width: 25%;">平成23年度</th> <th style="width: 25%;">平成24年度</th> <th style="width: 25%;">平成25年度</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>例月出納検査</td> <td>毎月20日に実施</td> <td>毎月20日に実施</td> <td>毎月20日に実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定期監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算審査</td> <td>審査 ○</td> <td>審査 ○</td> <td>審査 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財政援助団体監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理者監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事監査</td> <td>監査 ○ ○</td> <td>監査 ○ ○</td> <td>監査 ○ ○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	例月出納検査	毎月20日に実施	毎月20日に実施	毎月20日に実施		定期監査	監査	監査	監査		決算審査	審査 ○	審査 ○	審査 ○		財政援助団体監査	監査	監査	監査		指定管理者監査	監査	監査	監査		工事監査	監査 ○ ○	監査 ○ ○	監査 ○ ○	
手 段	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考																																
例月出納検査	毎月20日に実施	毎月20日に実施	毎月20日に実施																																	
定期監査	監査	監査	監査																																	
決算審査	審査 ○	審査 ○	審査 ○																																	
財政援助団体監査	監査	監査	監査																																	
指定管理者監査	監査	監査	監査																																	
工事監査	監査 ○ ○	監査 ○ ○	監査 ○ ○																																	

財 源	実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
	市 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
一 般 財 源	1,585 千円	1,699 千円	1,699 千円		
事 業 費 計	1,585 千円	1,699 千円	1,699 千円		

総合計画実施計画

事業名	行政改革推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	行政改革の推進

当該事業の概要	<p>[概要] 行政の制度・組織・運営を改めます。</p> <p>[目的] 市役所各部署が、自ら課題解決に向けた具体策を考え、計画的に改善改革に取り組むようになります。</p> <p>⇒結果 ①限られた経営資源の中で総合計画の将来像実現を目指します。 ②将来にわたって健全で安定した行財政運営の実現を目指します。</p> <p>[経緯]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H17～H21年度: 第1次行革大綱等に基づいて改革を実施しました。 ・H20下半期～H21年度: 第2次行革大綱を策定しました。 ・H22年度～: 第2次行革大綱・第2次行革実施計画に基づいて改革を推進していきます。 ・H23年度～: 第2次行革実施計画に基づいて改革を推進していきます。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	[目標=成果指標]	H24	H25	H26
	市税納税率(現年度)	96.3%	96.5%	96.8%
	職員数(翌年4月1日人数)	629	617	※策定中
	繰出金削減額	1.2億円	2.1億円	—
	[具体的な手段]	<p>①各課に対して行政改革実施計画の作成を促します。</p> <p>②行政改革実施計画の目標達成度や取り組みの進捗度を把握します。</p> <p>③庁内改革本部を開催して各課の改革を指導します。※平成26年度定員適正化計画を策定</p>		
	[H24～H26年度のスケジュール]	H24	H25	H26
	第3次行財政改革	改革(Do)→進捗管理(Check)→検証(Action)→計画(Plan)(平成26年度～)		

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳					
	国 県 支 出 金		千円	千円	千円	
	市 債		千円	千円	千円	
	そ の 他		千円	千円	千円	
	一 般 財 源		316 千円	316 千円	316 千円	
	事 業 費 計		316 千円	316 千円	316 千円	

総合計画実施計画

事業名	住民税管理事務(eLTAX活用による申告の推進)	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>eLTAXによる申告(給与支払報告書、法人市民税申告・届出、固定資産税(償却資産))は、納税者の利便性の向上として申告書の印刷、製本、送付作業が軽減でき、受付窓口がeLTAXに一本化(郵送料等のコスト削減)できます。また、平成21年10月から公的年金受給者の市・県民税を特別徴収の方法により徴収する制度に伴い、資格喪失・収納状況等の報告にeLTAXを活用しています。平成23年1月からは、e-TAXとの連携により確定申告書(住民税用)の内容が送信されます。賦課資料入力期間の短縮と保管場所の軽減が図れるものと期待できます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇給与支払報告書 固定資産税(償却資産)平成25年1月分は申告企業件数 1,600件 ◇法人市民税申告・届出 平成24年4月から1年間に申告企業件数1,000件 ◇平成24年分確定申告に伴う連携件数13,000件 <p>(手段)</p> <p>eLTAXの運用に関しては、地方税電子化協議会が行っており利用できる自治体を公表しています。引き続き、ホームページでの周知、法人市民税申告書送付時にeLTAXが利用できる旨通知等を行います。</p>
---------------------	---

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	3,650 千円	3,650 千円	3,650 千円	
		事業費計	3,650 千円	3,650 千円	3,650 千円	

総合計画実施計画

事業名	資産税管理事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>笛吹市内における、毎年1月1日（「賦課期日」という。）現在の固定資産（土地、家屋、償却資産）の所有者に、その固定資産の価格をもとに算定した税額を課する事業です。</p> <p>①固定資産を評価し、その価格を決定します。 ・土地と家屋は3年に一度評価替えが行われます。 ・償却資産は1月1日現在の所有の状況を申告する制度となっています。</p> <p>②土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧 ・4月1日から7月31日まで間、課税台帳をもとに作成する縦覧帳簿を縦覧に付します。</p> <p>③納税通知書を納税者あてに通知 ・7月1日に発送できるように準備します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>毎年1月1日（「賦課期日」という。）現在の固定資産（土地、家屋、償却資産）の所有者に、その固定資産の価格をもとに算定した税額を賦課します。</p> <p>◇課税台帳を整理補完 ・法務局からの税務通知書、農業委員会の転用許可情報、建築確認申請許可情報、住民からの連絡などの課税客体の異動情報をもとに現地調査を行い現況を確認して課税台帳を整備しています。</p> <p>◇評価替業務 ・3年に一度土地及び家屋について評価替えを行います。次回の評価替えは平成27年度です。そのための準備を平成24年度から行います。</p> <p>◇航空写真撮影業務 ・評価替えにあわせ航空写真を撮影し、固定資産税課税の基礎資料とします。</p>
---------------------	---

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	23,620 千円	49,000 千円	52,000 千円	
		事業費計	23,620 千円	49,000 千円	52,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	市税等徴収事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>市税等の収納率向上を図ることは、「税負担の公平性の確保」及び貴重な「自主財源の確保」の観点から、重要な課題であります。</p> <p>しかしながら、本市の市税の収納率はH22年度の現年分が95.8%であり、年々向上しているものの低い水準にあります。また、過年度分の徴収率は、平成22年度は15.4%の実績でしたが、平成23年度は2.5ポイント下がり12.9%が見込まれるなど依然低迷状態にあります。こうした状況を放置すれば、住民の税行政への信頼が揺らぎ、更なる収納率の低下が懸念されます。</p> <p>そのため、市税等の徴収体制を強化し、滞納額の縮減を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	(目標)						
			基準		24	25	26
		単位	年度	徴収率			
	市税収納率(現年度)	%	18	94.2	96.3	96.5	96.8
	市税収納率(過年度)	%	18	8.5	16.0	17.0	18.0
	(手段)						
	①現年度課税分の徴収強化。 徴収強化月間の実施。						
	②悪質滞納者への厳正な滞納処分の実施。 県及び県内市町村との不動産共同公売の実施。 動産・自動車の差押とインターネット公売の実施。 給与、預金、保険等の調査及び差押の実施						
	④無財産、生活困窮者、所在不明者等への調査及び執行停止処分。						
	③「山梨県地方税滞納整理推進機構」への職員派遣。						

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	1 千円	1 千円	1 千円	
		一 般 財 源	15,937 千円	11,107 千円	11,107 千円	
		事業費計	15,938 千円	11,108 千円	11,108 千円	

総合計画実施計画

事業名	指定選挙事業(開票事務の効率化を進める)	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	開票事務の効率化

当該事業の概要	<p>指定選挙における事務の効率化を進めることにより、経費の節減、職員の意識改革、市民サービスの向上に結び付けていく。</p> <p>平成24年度は、任期満了に伴う笛吹市長選挙、笛吹市議会議員一般選挙の執行が予定されている。選挙の適正な執行は勿論、開票事務の効率化、迅速化及び開票事務従事者の削減に取り組む。</p> <p>開票事務を迅速化することで開票結果を早く知らせることによる市民サービスの向上を図り、開票事務時間を短縮することで事務従事者の疲労を軽減し、事務の正確性の確保に努める。</p> <p>開票事務の効率化は、職員の意識改革、事務従事者削減による人件費の削減、他の事務に与える好影響が期待できる。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇市長選挙開票時間 60分 ◇議会議員選挙開票時間 120分 <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇選挙事務担当者会議の開催 ◇開票事務マニュアルの見直し ◇開票事務従事者説明会の開催 ◇開票立会人への事前説明会 <p>(スケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開票事務マニュアルの見直し 8月～10月 ・開票事務従事者説明会 10月 ・開票立会人説明会 10月 ・選挙執行 10月 ・検証 10月～11月
---------------------	--

		実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財 源 内 訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	74,774 千円	千円	千円	
		事業費計	74,774 千円	千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	契約事務		
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み	
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり	
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立	

当該事業の概要	事後審査特別簡易型総合評価条件付き一般競争入札
	<p>公共工事の品質確保のために、価格だけでなく技術的な評価を含めて受注者を決定する総合評価落札方式による競争入札が国、県で実施されてきました。国では、総合評価落札方式の普及推進について、都道府県を通じて市町村への導入を積極的に推進しています。</p> <p>本市では、総合評価落札方式について、現在実施している「事後審査型条件付一般競争入札」を基本とした一般競争入札により試行実施していきます。この総合評価落札方式による入札については、価格だけでなく技術的な評価を含めて受注者を決定することが望ましいと判断された案件について、学識経験者の意見を踏まえ試行していきます。</p>

目標・手段・スケジュール	平成24年度においても、引続き事後審査特別簡易型総合評価条件付き一般競争入札を実施予定。試行実施中につき、入札参加資格審査委員会において改善点等を検討します。																														
	<p>●事後審査一般競争入札実績</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">平成20年度</th> <th colspan="2">平成21年度</th> <th colspan="2">平成22年度</th> </tr> <tr> <td>委託</td> <td>43件</td> <td>委託</td> <td>52件</td> <td>委託</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>247件</td> <td>工事</td> <td>250件</td> <td>工事</td> <td>272件</td> </tr> <tr> <td>物品・役務</td> <td>39件</td> <td>物品・役務</td> <td>63件</td> <td>物品・役務</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>329件</td> <td>合計</td> <td>365件</td> <td>合計</td> <td>362件</td> </tr> </table>	平成20年度		平成21年度		平成22年度		委託	43件	委託	52件	委託	46件	工事	247件	工事	250件	工事	272件	物品・役務	39件	物品・役務	63件	物品・役務	44件	合計	329件	合計	365件	合計	362件
	平成20年度		平成21年度		平成22年度																										
	委託	43件	委託	52件	委託	46件																									
	工事	247件	工事	250件	工事	272件																									
物品・役務	39件	物品・役務	63件	物品・役務	44件																										
合計	329件	合計	365件	合計	362件																										
<p>●上記のうち 特別簡易型総合評価落札方式の入札</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">平成20年度</th> <th colspan="2">平成21年度</th> <th colspan="2">平成22年度</th> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>52件</td> <td>工事</td> <td>85件</td> <td>工事</td> <td>85件</td> </tr> </table>	平成20年度		平成21年度		平成22年度		工事	52件	工事	85件	工事	85件																			
平成20年度		平成21年度		平成22年度																											
工事	52件	工事	85件	工事	85件																										
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>手段</th> <th colspan="3">平成24年度</th> <th colspan="3">平成25年度</th> <th colspan="3">平成26年度</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">総合評価落札方式入札</td> <td>入札</td><td>入札</td><td>入札</td> <td>入札</td><td>入札</td><td>入札</td> <td>入札</td><td>入札</td><td>入札</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="3">←————→</td> <td colspan="3">←————→</td> <td colspan="3">←————→</td> </tr> </table>	手段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考	総合評価落札方式入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札		←————→			←————→			←————→		
手段	平成24年度			平成25年度			平成26年度			備考																					
総合評価落札方式入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札	入札																						
	←————→			←————→			←————→																								

財源	実施年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		市 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般 財 源	千円	千円	千円	
	事業費計		千円	千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	財務管理事業(財務統計事務)	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>市の行財政運営については、歳入歳出全般にわたる徹底した見直しを行いながら、財政健全化を進めるとともに、効率的な財政経営を進めるため、積極的に情報を開示していくことが求められています。</p> <p>本市においては、普通会計に加え、特別会計、公営事業会計等の経営状況も含めた総合的な財務諸表である連結財務書類の策定と財政健全化判断比率の公表を行っています。</p> <p>住民に対する開示による透明性の向上と説明責任の履行を図り、また行政経営への活用によりマネジメント力の向上と資産・債務の適切な管理を図るものであり、市が住民の理解と協力を得ながら、より広い範囲で健全な財政基盤を確立して行きます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>財務書類、財政健全化比率の算定結果を今後の財政経営に反映させ、健全な財政基盤の確立に取り組みます。</p> <p>◇地方財政状況調査表を作成します。</p> <p>◇「自治体財政健全化法」に基づく4つの健全化判断比率(実質公債費比率、将来負担比率、実質赤字比率、連結赤字比率)を算定し、公表します。</p> <p>◇国の進める「地方公会計改革」に沿って複式簿記、発生主義に基づいた連結財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書)を作成し、公表するとともに市の資産・債務の適切な管理に活用します。</p>
---------------------	---

財 源	実施年度			補助事業名
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
財 源 内 訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
	市 債	千円	千円	千円
	そ の 他	千円	千円	千円
	一 般 財 源	341 千円	341 千円	341 千円
	事 業 費 計	341 千円	341 千円	341 千円

施策の体系

基本構想

基本計画

将来像

まちづくりの方向

施策

具体的な施策

実り多い産業と、
人々の集うまちづくり

環境にやさしく、安心して
健やかに暮らせるまちづくり

個性輝く人々が育ち、
活躍するまちづくり

みんなが奏でる
“ごきわい・やすらぎ・きらびめき”のハーモニー

適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり	「調和のとれた土地利用の推進」「特色ある都市計画の推進」 「農林業地域の秩序ある土地利用の推進」
人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	「幹線道路網の整備」「公共交通網の整備」 「交通の拠点整備」
機能的で魅力ある市街地づくり	「市街地の整備」「魅力ある街並みの形成」
人々の交流を盛んにするしくみづくり	「内外の交流促進」「交流機会の充実」
もてなしの心があふれる観光地づくり	「資源を活かした観光メニューづくり」 「もてなしの心を持った人材の育成」「プロモーション活動の展開」
魅力的で安定性のある農林業づくり	「農業基盤の整備」「農業の担い手確保」 「農業経営の支援」「林業の新たな展開」
桃・ぶどう日本一を誇れる郷づくり	「笛吹ブランドの確立」「桃・ぶどうの販路拡大」 「付加価値の高い特産品の開発」
活力ある地域経済づくり	「優良企業の誘致」「中小企業の自立促進」 「特色ある商店街の形成」
安定した就業環境づくり	「安定した就業への支援」

安全・安心のための備えづくり	「災害への対策」「防犯・交通安全対策」 「救急医療体制の整備」
便利で暮らしやすい生活環境づくり	「生活上の基礎的な基盤整備」 「より便利な生活環境の整備」
快適で美しい都市づくり	「生活排水の処理」 「公害対策と環境美化」
限りある資源を大切にす循環型社会づくり	「ごみ資源の循環利用の推進」 「温室効果ガスの削減」
憩いと癒しの空間づくり	「森林環境の保全」「身近な自然環境の整備」 「公園機能の充実」
健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	「生涯を通じた健康づくりの推進」 「健康を支援する環境づくりの推進」
安心して生み育てられる環境づくり	「安心してあずけられる保育」「子どもの安全な環境整備」 「子育て情報の共有」「妊産婦への支援」
高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	「介護予防と社会参加の促進」 「介護サービスと在宅生活支援」
障害者の自立を支援する環境づくり	「障害者の自立支援」 「ノーマライゼーションの推進」
暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	「保険制度の円滑な運営」 「権利擁護と自立生活への支援」

子どもたちの個性を尊重する学校づくり	「学力向上と心身を育む学校教育」「教育環境の充実」 「学校と地域との連携」
子どもの健やかな成長を支える環境づくり	「地域での健全育成」「家庭での健全育成」 「社会での健全育成」
いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	「生涯学習の充実」
身近にスポーツを楽しめる環境づくり	「社会体育の充実」
地域の文化を育み伝える環境づくり	「文化財の保存・活用」 「地域文化の育成・伝承」

市民の主体的な活動を支えるしくみづくり	「主体的な地域活動の促進」「NPO・ボランティア団体の活動支援」 「男女共同参画社会の実現」
市民と行政のパートナーシップづくり	「協働のまちづくりの推進」
親しみやすく機能的な市役所づくり	「広報の充実と情報公開の推進」「市民の声が届く行政運営」 「信頼できる電子自治体の構築」「機能的なサービス体制の構築」
健全で安定した行財政基盤づくり	「安定した行政経営の実現」「健全な財政基盤の確立」 「行政評価制度の確立」「行政改革の推進」

将来像実現に向けた
取り組み